

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
1	利尻島湿地群（オタダマリ沼、沼浦湿原、南浜湿原）	北海道	利尻郡利尻富士町	中間湿原、 低層湿原	湿原植生	利尻島湿地群（オタダマリ沼、沼浦湿原、南浜湿原）	オタダマリ沼・沼浦湿原：ヨシ群落、ヨシ・ヌマガヤ群落、アカエゾマツ・クマイザサ群落。林床にイソツツジ、ハイイヌツゲ、ミツバオウレン、ツルコケモモ、モウセンゴケ、ムラサキミズゴケなど生育。南浜湿原：湿原生アカエゾマツ林、ワタスゲ・ミズゴケ群落、ヤマドリゼンマイ群落、ミツガシワ群落、ホロムイイチゴ、イソツツジ、ツルコケモモ、タチギボウシ、エゾゼンテイカなどが多い。
2	利尻島・礼文島周辺沿岸	北海道	利尻郡利尻町・利尻富士町、礼文郡礼文町	藻場	海藻	利尻島・礼文島沿岸	典型的なりシリコンブ群落が形成される。ワカメの北限域である。
3	大沼・メグマ沼湿原、声問川	北海道	稚内市	中間湿原、低層湿原、湖沼、河川	湿原植生	メグマ沼湿原	北海道最北の湿原として重要。ワタスゲ、エゾゼンテイカが優占する。ヨシ・イワノガリヤス群落。ハンノキ林。イソツツジ・チャミズゴケ群落など。ガンコウラン、ヒメシヤクナゲが生育する。
					ガン・カモ類	大沼	コハクチョウの渡来地。10年ほど前から人為的にコハクチョウを誘引した場所。現在3万～4万羽のコハクチョウが4月と10月に飛来する。
					淡水魚類	声問川	イトウの生息地。
4	サルフツ 猿払原野（ポロ沼、カムイト沼、猿骨沼、浅茅野湿原、モケウニ沼、猿払川など）	北海道	宗谷郡猿払村	高層湿原、中間湿原、低層湿原、汽水湖沼	湿原植生	浅茅野湿原（モケウニ沼、カムイト沼、瓢箪沼を含む）	北オホーツク沿岸湿原の原形を残す重要な湿原。湿原生アカエゾマツ林が特に貴重、湿原のケヤマハンノキ林も珍しい。ホロムイイチゴ・ムラサキミズゴケ群落、ヤチスゲ・サンカクミズゴケ群落、ヌマガヤ・ムジナスゲ群落、ヤチャナギ・ムジナスゲ群落、ヨシ・イワノガリヤス群落。ハンノキ林。オヒルムシロ、フトヒルムシロ、オオタヌキモ、タマミクリ、ヒメタヌキモ、イトモ、エビモ類など極めて多様な水生植物を産す。ミツガシワ群落、フトイ群落、マコモ群落、ミクリ群落、コウホネ群落など抽水植物群落。カキツバタ、ワタスゲ、コバイケイソウ、カラマツソウなどが多い。クリイロスゲ、ヒロハオゼヌマスゲ、ハクサンスゲなどスゲ類の希少種もある。カムイト沼にはタテヤママリモが生育。
					水草	猿払原野湖沼群（ポロ沼、カムイト沼他）	北海道北部の腐植栄養湖沼の植生の典型。
					ガン・カモ類	ポロ沼、猿骨沼	コハクチョウ、ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）の渡来地。毎年2000～3000羽のコハクチョウが日本に飛来、飛去する際にクッチャロ湖に立ち寄り、また、一時避難などにも利用しており、7000～8000羽が確認される場合がある。
					淡水魚類	猿払原野のイトウ生息地	知来別川、鬼志別川、猿骨川、猿払川など猿払原野のイトウの生息する大小河川と周辺湖沼群。カラフトマスの自然産卵も見られる。
					淡水貝類	猿払川	カワシンジュガイ（絶滅危惧類）、ミズシタダミ類、マメシジミ類。種の多様性が高い（北方系貝類要素）。
底生動物	猿払原野湖沼群（ポロ沼、モケウニ沼など）	ヤマトシジミ、ヒメシラトリガイなど汽水性ベントスの生息地。					

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
5	クッチャロ湖 ラムサール条約登録湿地	北海道	枝幸郡浜頓別町	低層湿原、潟湖干潟のある汽水湖沼	湿原植生	クッチャロ湖	ヨシ・イワノガリヤス群落、ヤチヤナギ・ムジナスゲ群落、ヤラメスゲ群落などの低層湿原植生と湿原生アカエゾマツ林およびハンノキ林。
					ガン・カモ類	クッチャロ湖	コハクチョウの渡来地。
					底生動物	クッチャロ湖	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地。
6	サロベツ原野（サロベツ湿原、長沼湖沼群、ペンケ沼、パンケ沼、兜沼）	北海道	天塩郡豊富町・幌延町・天塩町ほか	高層湿原など複合型の湿地、湖沼、河川	湿原植生	サロベツ原野（サロベツ湿原、長沼湖沼群、ペンケ沼、パンケ沼、兜沼）	サロベツ原野にはホロムイイチゴ・イボミズゴケ群落、ヌマガヤ・イボミズゴケ群落、ホロムイソウ・ミカヅキグサ群落、ナガバノモウセンゴケ・ウツクシミズゴケ群落、ヌマガヤ・ホロムイヌスゲ群落、ヨシ・イワノガリヤス群落、ハンノキ林。湖沼にはオヒルムシロ、ジュンサイ、ヒシなど多種の水生植物群落が分布。
					水草	サロベツ海岸湖沼群	稚咲内砂丘に成立した湖沼群。コウホネ類などが多産。
					ガン・カモ類	サロベツ原野（ペンケ沼、兜沼、旧天塩川）	ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)の渡来地。
					爬虫両生類	サロベツ原野	コモチカナヘビの生息地。
					淡水魚類	サロベツ原野のイトウ生息地	サロベツ川などサロベツ原野のイトウの生息する河川、湖沼。
					昆虫類	サロベツ原野	チャバネエンマコガネ、カラフトマルガタゲンゴロウ、イイジマルリボシヤンマの生息地。
					底生動物	天塩川（河口域）	ヤマトシジミなどの生息地。
					底生動物	サロベツ原野湖沼群（パンケ沼、ペンケ沼など）	ヤマトシジミなどの低塩分性ベントスの生息地。
7	テシオ天塩川	北海道	天塩郡天塩町・幌延町・豊富町、中川郡中川町・音威子府町・美深町、名寄市、上川郡下川町	河川	淡水魚類	天塩川	チョウザメ（遼上の記録は途絶えたが定置網で捕獲）、イトウの生息地。
8	松山湿原・ピヤシリ湿原	北海道	中川郡美深町、紋別郡雄武町	高層湿原	湿原植生	松山湿原・ピヤシリ湿原	松山湿原には、ミネハリイ・ワタミズゴケ群落、ミガエリスゲ・ムラサキミズゴケ群落、イソツツジ・チャミズゴケ群落、ミカヅキグサ・ワタミズゴケ群落、ヤチスゲ群落、湿原生アカエゾマツ林。ピヤシリ湿原は、3.5haの小規模な湿原。ホロムイソウ・ミカヅキグサ群落、ムラサキミズゴケ群落など。ホロムイイチゴ、エゾゴゼンタチバナ、ガンコウランなどを産す。
					昆虫類	松山湿原	トンボ類が豊富で、トリキンバエを産する。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
9	コムケ湖	北海道	紋別市	低層湿原、塩性湿地、瀉湖	湿原植生	コムケ湖	ハンノキ・ヨシ群落、オオカサスゲ群落、ガマ群落、フトイ群落、ミツガシワ群落、オニビシ群落。
					シギ・チドリ類	コムケ湖	春秋の渡り期の種数・個体数が多く、アカエリヒレアシギでは最小推定個体数の1%以上、メダイチドリ、チュウシャクシギ、ハマシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のヘラシギ、セイタカシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、オオジシギが記録されている。
					ガン・カモ類	コムケ湖・シブノツナイ湖	オオハクチョウ、オナガガモ、ヒドリガモの渡来地。
					底生動物	コムケ湖	カキ、ホッカイエビなどの生息地。
10	シブノツナイ湖	北海道	紋別市、紋別郡湧別町	瀉湖	ガン・カモ類	コムケ湖・シブノツナイ湖	オオハクチョウ、オナガガモ、ヒドリガモの渡来地。
					底生動物	シブノツナイ湖	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地。
11	サロマ湖	北海道	常呂郡常呂町、佐呂間町、紋別郡湧別町	塩性湿地及び瀉湖干潟のある汽水湖沼、藻場	湿原植生	サロマ湖	塩沼地植生（アッケシソウ、ウミミドリ、オオシバナ、ウシオツメクサ、ハマシオンの群落）。海岸草原群落はハマナス、エゾゼンテイカ、エゾスカシユリなどの群落とエゾノコリンゴ群落。
					海草	サロマ湖	日本最大の瀉湖性アマモ場。広大なアマモ群落。
					ガン・カモ類	サロマ湖	オオハクチョウ、コハクチョウ。11月下旬にオオハクチョウ約800羽、コハクチョウ約200羽。
					底生動物	サロマ湖	湖底にはカキ礁遺骸が存在。ホタテガイ、ホッカイエビ、カキなどの重要な生息地。
12	ノトロ能取湖	北海道	網走市	低層湿原及び瀉湖干潟のある汽水湖沼、藻場	海草	能取湖	スゲアマモの広大な藻場で、分布は湖内の西岸。スゲアマモの単純群落では国内最大、その他、アマモ、コアマモの群落がある。
					ガン・カモ類	能取湖	オオハクチョウ、ヒシクイ(亜種ヒシクイ)の渡来地。
					底生動物	能取湖	ホタテガイ、ホッカイエビの重要な生息地。
13	網走湖	北海道	網走市、網走郡女満別町	低層湿原及び瀉湖干潟のある汽水湖沼	湿原植生	網走湖	女満別側には国指定天然記念物の大規模なハンノキ・ミズバショウ群落がある。ヤチダモ、ハルニレ、エゾノウワミズザクラ、エゾイラクサ、クサソテツ、オニシモツケ、オオバナノエンレイソウなどが生育。
					その他鳥類	網走湖・濤沸湖	タンチョウの生息地。
					底生動物	網走湖	ヤマトシジミなどの重要な生息地。網走川下流にはエゾホトケ（淡水魚類）も生息する。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
14	モコト 藻琴湖、トウフツ 瀧沸湖、小清水原生花 園	北海道	網走市、斜里郡小清 水町	低層湿原及 び瀧湖干潟 のある汽水 湖沼、藻場	湿原植生	瀧沸湖	塩沼地にオオシバナ、ホソバノシバナ、エゾツルキンバイの群落、淡水湿地にはヨシ群落、ヤラメスゲ群落、ヌマガヤ - ヤチヤナギ群落、ハンノキ林。
					海草	瀧沸湖	コアマモの生育地。
					ガン・カモ類	瀧沸湖	ヒシクイ(亜種ヒシクイ)、オオハクチョウ、ヒドリガモ、ミコアイサ、ウミアイサの渡来地。
					その他鳥類	網走湖・瀧沸湖	タンチョウの生息地。
					昆虫類	小清水原生花園	カラフトキリギリス、アカメイトトンボ、カラフトシマゲンゴロウ、アナバネコツブゲンゴロウの生息地。
					底生動物	藻琴湖・瀧沸湖など	ヤマトシジミ、カキなどの重要な生息地。瀧沸湖にはアサリも生息。
15	知床半島サケ・カラフトマス遡上河川	北海道	斜里郡斜里町、目梨郡羅臼町、標津郡標津町	河川	淡水魚類	知床半島サケ・カラフトマス遡上河川群	種苗放流のない唯一のサケ、カラフトマス生息地。自然遡上がある。
16	知床半島山稜湿原(羅臼湖、二ツ池、知床沼高山湿原)	北海道	目梨郡羅臼町	高層湿原	湿原植生	知床半島山稜湿原(羅臼湖、二ツ池、知床沼高山湿原)	羅臼湖岸とその周辺に点在する小湿原にはミズドクサ群落、ヤラメスゲ群落、ムジナスゲ群落、オニナルコスゲ群落、ヨシ - イワノガリヤス群落、チングルマ - イボミズゴケ群落、チシマミクリ群落など。二ツ池：高山湿原。ヤチスゲ群落、チングルマ - イボミズゴケ群落、タカネクロスゲ群落、ミネズオウ - クロマメノキ群落。知床沼：チングルマ - イボミズゴケ群落。
17	知床半島東部沿岸	北海道	目梨郡羅臼町	藻場	海藻	知床半島東部沿岸	ルサ～知床岬。コンブ目7種、うち希少種1種。コンブ、その他海藻は暖寒両系から成り、生態的景観に優れる。クナシリ、エトロフ島に分布する種との関連性が深い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
18	ノツケ 野付半島・野付湾・尾岱沼 オダイトウ	北海道	標津郡標津町、野付郡別海町	低層湿原、塩性湿地、藻場	湿原植生	野付半島・尾岱沼	塩沼地植生は、オオシバナ、ウミミドリ、ウシオツメクサ、エゾツルキンバイの群落、淡水湿地は沼沢湿原。フトイ群落、サジオモダカ群落、スギナモ群落、オオヌマハリイ - ヒメハリイ群落、ガマ群落、ミツガシワ群落、ムジナスゲ群落、ワタスゲ群落にはムラサキミズゴケ、イソツツジ、チシマガリヤス、ヤチカワズスゲなどが生育。
					海草	野付湾	日本でもっとも広大で非常によく発達したアマモ群落。ホッカイエビの主漁場。分布は、ほぼ湾内の全面。アマモとオオアマモの群生地。ホッカイエビの生息場所。
					シギ・チドリ類	野付崎・尾岱沼	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、キョウジョシギ、キアシシギでは最小推定個体数の1%以上、ダイゼンでは0.25%以上が記録されている。RDB種のアカアシシギ、オオジシギが記録されている。
					ガン・カモ類	野付湾	オオハクチョウ、コクガン、スズガモ、ホオジロガモ、ヒドリガモの渡来地。
					その他鳥類	野付半島と近隣河川	タンチョウの生息地。営巣数の約7%が存在。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息地	伊茶仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。
					底生動物	野付湾・尾岱沼	ホッカイエビ、アサリなどの重要生息地。
19	標津湿原	北海道	標津郡標津町	高層湿原、河川	湿原植生	標津湿原	国指定天然記念物。イソツツジ - チャミズゴケ群落、ヌマガヤ - チャミズゴケ群落、ヌマガヤ - ホロムイスゲ群落、ハンノキ林。エゾゴゼンタチバナ、ガンコウラン、コケモモ、ミツバオウレン、ミガエリスゲなどを多く産す。
					その他鳥類	標津湿原（ポー川、標津川、当幌川などの流域）	タンチョウの生息地。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息地	伊茶仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
20	パラサン 茨散沼湿原、兼金沼・西別川湿原	北海道	野付郡別海町	低層湿原、中間湿原、高層湿原、河川、湖沼	湿原植生	茨散沼湿原、兼金沼・西別川湿原	茨散沼湿原は低層湿原でヨシ・イワノガリヤス群落とヤチヤナギ・ムジナスゲ群落、ヤラメスゲ群落、カキツバタ群落、ヤチスゲ・サギスゲ群落、ハンノキ林。茨散沼にはフトイ群落、マコモ群落、ジュンサイなどの水生植物群落。兼金沼・西別川湿原：西別川流域の兼金沼、西別小沼とその周辺には広大な谷湿原が残存し、イソツツジ・チャミズゴケ群落、ヌマガヤ・イボミズゴケ群落、ヌマガヤ・ムジナスゲ群落、ヨシ・イワノガリヤス群落、ハンノキ林が分布。タンチョウの営巣地としても重要な湿原。西別川上流域にはヤチカンバが隔離分布し、カンチスゲ、ノルゲスゲなど希少種を産する湿原もある。
					その他鳥類	茨散沼湿原、兼金沼・西別川湿原	タンチョウの生息地。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息地	伊茶仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。
21	根室湿原群（根室半島湿原、ホロニタイ・フレシマ湿原、タンネ沼・オンネ沼、南部沼、長節沼、落石岬湿原、落石西湿原、落石湿原、ヒキウス沼、沖根辺沼）	北海道	根室市	高層湿原など複合型湿地、湖沼	湿原植生	根室半島湿原群（根室半島湿原、ホロニタイ・フレシマ湿原、タンネ沼・オンネ沼・南部沼・長節沼、落石岬湿原、落石西湿原、落石湿原）	歯舞の台地には高層湿原が発達している。主要な植生はヌマガヤ・イボミズゴケ群落とイソツツジ・チャミズゴケ群落、ムジナスゲ群落、ミクリ属群落、ケヤマハンノキ林。ガンコウラン、イソツツジ、エゾマルバシモツケ、クロマメノキ、コケモモ、エゾゴゼンタチバナ、ホロムイクグ、アラハシラガゴケなどを産す。落石岬とその周辺台地の湿原植生は湿原生アカエゾマツ林のほか、ヌマガヤ・イボミズゴケ群落、イソツツジ・チャミズゴケ群落。落石岬にはサカイツツジが隔離分布する。海岸低地湖沼周辺の湿地にはヨシ・イワノガリヤス群落とヤチヤナギ・ムジナスゲ群落を中心とする低層湿原。水辺にはヤラメスゲ群落やフトイ群落、ガマ群落、その他水生植物群落。
					水草	南部沼・オンネ沼・長節沼	ネムロコウホネ、沈水性ヒルムシロ属等の種の多様性が大きく、特に南部沼・オンネ沼は環境が悪化しておらず道東本来の湖沼植生が残る。
					その他鳥類	根室湿原群（フレシマ湿原、タンネ沼・オンネ沼、ヒキウス沼、沖根辺沼）	タンチョウの生息地。営巣数の約4%が存在。
					昆虫類	落石岬	カラフトルリシジミ、オクエゾマメゲンゴロウ、ノサップマルハナバチの生息地。
					淡水貝類	根室湿原群・別寒辺牛湿原・釧路湿原	ミズシタダミ類、マメシジミ類。種の多様性が高い（北方系貝類要素）。
22	根室湾干潟	北海道	根室市	複合型の湿地、干潟	底生動物	根室湾干潟	砂質の干潟。オオノガイ、ウバガイなどの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
23	フウレン シュンクニタイ 風蓮湖・春国岱・温根沼および 周辺湿原群	北海道	根室市、野付郡別海 町	低層湿原な ど複合型の 湿地、河川、 湖沼、藻場	湿原植生	風蓮川湿原	風蓮湖に注ぐ風蓮川下流域に広がる湿原で規模が大きく、かつ人為の影響が比較的少ない湿原。ヨシ・イワノガリヤス群落、ヤチヤナギ・ムジナスゲ群落、ヤラメスゲ群落、ミツガシワ群落、ハンノキ林を主体とする低層湿原であるが、ムラサキミズゴケ、ワラミズゴケ、クシノハミズゴケ、ヒメミズゴケ、オオミズゴケなど多種のミズゴケハンモックの群落が生息する。湿原中心部にはイソツツジ・チャミズゴケ群落が生息し、チャミズゴケハンモックが著しく発達している。チシマガリヤス、コケモモ、ガンコウラン、イソツツジなどを産す。
					湿原植生	走古丹湿原	風蓮湖北岸、西別川下流域の広大な湿原であり、タンチョウが営巣している。ヌマガヤ・イボミズゴケ群落、イソツツジ・チャミズゴケ群落、ヤチヤナギ・ムジナスゲ群落、ヤラメスゲ群落、ヨシ・イワノガリヤス群落、ハンノキ林。
					湿原植生	風蓮湖湿原・春国岱・ 温根沼	オオシバナ群落、ヒメウシオスゲ群落などの塩沼地植生が中心で、ウミドリ、ウシオツメクサ、エゾツルキンバイ、チシマドジョウツナギ、ドロイが生息。淡水湿地にはフトイ群落、ガマ群落、ヨシ・チシマガリヤス群落、ヨシ・ヤラメスゲ群落、ハンノキ・ヤチダモ林、砂丘生アカエゾマツ林（林床はミズバショウが優占）。
					海草、海藻	風蓮湖	広大な干潟とアマモ場（アマモ・コアマモ）。分布はほぼ湖内全面。アマモ・コアマモの群生地、ニシン、サケなどの重要な産卵・幼魚期成育場所。湖内の走古丹から湖口に至る澁筋内に湖沼性コンブ1種がかなり多量に生育している。
					海草	温根沼	コアマモの生育地。
					シギ・チドリ類	風蓮湖	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、ミヤコドリ、メダイチドリ、キアシシギ、では最小推定個体数の1%以上、キョウジョシギ、ツルシギ、アオアシシギ、ハマシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のヘラシギ、セイケシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、オオジシギが記録されている。
					ガン・カモ類	風蓮湖・温根沼	オオハクチョウ、ヒシクイ(亜種ヒシクイ)、コクガン、ヒドリガモ、オナガガモ、スズガモ、ホオジロガモの渡来地。
					その他鳥類	風蓮湖と周辺の湿原・ 河川（風蓮湖、春国 岱、走古丹、温根沼、 風蓮川とその支流、ヤ ウシュベツ川、ボンヤ ウシュベツ川）	タンチョウの生息地。営巣数の25%以上が存在。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息 地	伊茶仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。
					底生動物	風蓮湖	アサリなどの生息地。
底生動物	温根沼	アサリなどの生息地。					

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
24	ユルリ島湿原	北海道	根室市	高層湿原	湿原植生	ユルリ島湿原	高層湿原。クロマメノキ - チャミズゴケ群落、ムジナスゲ - ワタスゲ群落、ヨシ - タチギボウシ群落、ヤラメスゲ群落。クロマメノキ、ガンコウラン、リシリビャクシン、マルバシモツケ、タカネナナカマド、ホロムイクグ、ハナゴケ、アラハシラガゴケなどを産する。
25	ヒチリップ、モチリップ 火散布沼・藻散布沼	北海道	厚岸郡浜中町	低層湿原など複合型の湿地、湖沼、藻場	湿原植生	火散布沼・藻散布沼	塩沼地植生（オオシバナ、ウミミドリなど）とヨシ - イワノガリヤス群落、ヤラメスゲ群落。
					海草	火散布沼	コアマモの生育地。
					その他鳥類	火散布沼・藻散布沼	タンチョウの生息地。
					底生動物	火散布沼・藻散布沼	アサリ、カキの生息地。
26	霧多布湿原・幌戸湿原およびその地先沿岸（琵琶瀬湾・浜中湾） ラムサール条約登録湿地	北海道	厚岸郡浜中町	高層湿原など複合型の湿地、河川、湖沼、藻場、汽水湖沼	湿原植生	霧多布湿原・幌戸湿原	ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ヌマガヤ - チャミズゴケ群落、ヌマガヤ - ワタスゲ群落、ヌマガヤ - ムジナスゲ群落、ヤチスゲ群落、ミカツキグサ群落、ヨシ - イワノガリヤス群落、ハンノキ林。ジュンサイ、ヒシ、オヒルムシロなど各種水生植物群落。
					海草	ポロト沼	幌戸湿原の中にある汽水の沼で、コアマモが生育する。
					海草	浜中地先沿岸	オオアマモの生育地。
					ガン・カモ類	琵琶瀬湾	コクガンの渡来地。
					その他鳥類	霧多布湿原・幌戸沼	タンチョウの生息地。営巣数の約5%が存在。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息地	伊茶仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。
					昆虫類	霧多布湿原	カラカネイトトンボ、エゾアオイトトンボ、イジマルリボシヤンマ、ホソミモリトンボ、エゾアカネ、カオジロトンボの生息地。リシリハマキ、カラフトスカシバ、カオジロトンボ、カラカネイトトンボ、イジマルリボシヤンマ、セダカオサムシ、アイヌキンオサムシなど北方系で草原に由来するような種が多い。セアカアメンボ、ババアメンボ、ヒメアメンボなどのアメンボ類、トンボ類が豊産する。
					底生動物	琵琶瀬湾および琵琶瀬川河口	アサリなどの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
27	厚岸湖 ラムサール条約登録湿地 （「厚岸湖・別寒辺牛湿原」として登録）	北海道	厚岸郡厚岸町	汽水湖沼、藻場	湿原植生	厚岸湖	塩沼地植生（アッケシソウ、ウミミドリ、エゾツルキンバイ、ウシオツメクサ、オオシバナ群落）、ヨシ・スゲ群落など。
					海草、海藻	厚岸湖	アマモ、コアマモの生育地。澁筋にはエナガコンブが生育している。
					ガン・カモ類	厚岸湖	オオハクチョウの渡来地。
					その他鳥類	厚岸湖	タンチョウの生息地。
					底生動物	厚岸湖	アサリ、カキの生息地。
28	厚岸湾	北海道	厚岸郡厚岸町、釧路郡釧路町	藻場、浅海域	海草、海藻	厚岸湾	大黒島、小島（外海域）アイニンカップ岬の周辺海域およびアイカップ岬の沿岸域。海洋条件の異なる場所に応じた各種コンブ目11種が豊富に生育し、生態的景観に極めて優れる。寒流系コンブ類の多様性が見られる典型的な海域。国内最大のオオアマモの単純群落が見られる唯一の場所。スガモ、アマモも生育する。
					底生動物	厚岸湾	アサリの生息地。
29	ベカンベウシ 別寒辺牛湿原 ラムサール条約登録湿地 （「厚岸湖・別寒辺牛湿原」として登録）	北海道	川上郡標茶町、厚岸郡厚岸町	高層湿原など複合型湿地、河川	湿原植生	別寒辺牛湿原	広大な低層湿原。中流域に高層湿原が発達。低層湿原はヨシ・イワノガリヤス群落とヤチヤナギ・ムジナスゲ群落、ヤマメスゲ群落、ハンノキ林。高層湿原ではイソツツジ・チャミズゴケ群落、イボミズゴケ群落、ホロムイソウ・ミカヅキグサ群落。カンチスゲ、ホロムイクグ、シロミノハリイ、イトナルコスゲ。
					その他鳥類	別寒辺牛川流域	タンチョウの生息地。営巣数の14%が存在。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息地	伊茶仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。
					淡水貝類	根室湿原群・別寒辺牛湿原・釧路湿原	ミズシタダミ類、マメシジミ類。種の多様性が高い（北方系貝類要素）。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
30	釧路湿原（赤沼、塘路湖、達古武沼、遠矢採草地、シラルトロ湖などを含む） ラムサール条約登録湿地	北海道	釧路市、釧路郡釧路町、阿寒郡鶴居村、川上郡標茶町	高層湿原など複合型の湿地、河川、湖沼	湿原植生	釧路湿原（赤沼、塘路湖、達古武沼、遠矢採草地、シラルトロ湖等含む）	広大な低層湿原。植生はヨシ - イワノガリヤス群落、ヤチャナギ - ムジナスゲ群落、ヤラメスゲ群落、ハンノキ林。林床植生はカブスゲの谷地坊主とホザキシモツケ、ヒメカイウ、ナガバツメクサ、ヒメシダが多いのが特徴。温根内赤沼とキラコタン岬周辺の中・高層湿原の植生はイソツツジ - チャミズゴケ群落、ワタスゲ - イボミズゴケ群落、ホロムイソウ - ミカヅキグサ群落、イソツツジ - チシマガリヤス群落。池沼には水生植物群落が豊富。ミズゴケの種類も豊富。達古武沼にマリモ生育。
					水草	釧路湿原（シラルトロ湖、達古武沼）	（シラルトロ湖）ナガバエビモ、カラフトグワイ等の絶滅危惧種はじめ多数水生植物の良好な生育地。近年の変化急激。（達古武沼）釧路湿原内の湖沼では水生植物の種の多様性、現存量とも最大。近年の変化は急激。
					ガン・カモ類	釧路湿原（シラルトロ湖、赤沼、塘路湖、達古武沼、遠矢採草地）	オオハクチョウ、ヒシクイ(亜種ヒシクイおよびオオヒシクイ)の渡来地。
					その他鳥類	釧路湿原	タンチョウの生息地。営巣数の30%以上が存在。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息地	伊茶仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。釧路川中流域の磯分内の沼にはエゾホトケも生息する。
					爬虫両生類	釧路湿原	キタサンショウウオの生息地。
					昆虫類	釧路湿原	カラカネイトトンボ、アカメイトトンボ、エゾアオイトトンボ、イイジマルリボシヤンマ、コエゾトンボ、キバネモリトンボ、ホソモリトンボ、エゾカオジロトンボの生息地。アカメイトトンボ、エゾカオジロトンボ、イイジマルリボシヤンマ、キスジホソハムシ、オオシマゲンゴロウ、ゲンゴロウモドキ、キタアカジマウンカなど湿原に由来する昆虫が多い。
					淡水貝類	根室湿原群・別寒辺牛湿原・釧路湿原	ミズシタダミ類、マメシジミ類。種の多様性が高い（北方系貝類要素）。
31	シカリベツ然別湖	北海道	河東郡上士幌町・鹿追町	湖沼	淡水魚類	然別湖	ミヤベイワナの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
32	阿寒湖とその流入・流出河川 (パンケトウ、ペンケトウを含む)	北海道	阿寒郡阿寒町	湖沼、河川	淡水藻類	阿寒湖	絶滅危惧 類のヒメフラスコモ、カタシャジクモ、シャジクモおよびマリモが生育。
					その他鳥類	阿寒川・仁々志別川	タンチョウの生息地。
					淡水魚類	阿寒湖	アジアにおけるヒメマス天然分布の南限地。
					淡水魚類	根釧原野のイトウ生息地	伊奈仁川、標津川、当幌川、春別川、床丹川、西別川、風蓮川、琵琶瀬川、別寒辺牛川、釧路川、阿寒川など根釧原野のイトウ、ヤチウグイの生息する大小河川と周辺湖沼群。
					淡水貝類	阿寒湖とその流入・流出河川	カワシンジュガイ(絶滅危惧 類)、マメシジミ類。種の多様性が高い(北方系貝類要素)。
33	パシコルトウ 馬主来沼	北海道	白糠郡白糠町・音別町	低層湿原など複合型の湿地	湿原植生	馬主来沼	低層湿原はヨシ・イワノガリヤス群落、ハンノキ林、水生植物群落。
					その他鳥類	馬主来沼	タンチョウの生息地。
34	十勝海岸湖沼群(十勝川河口湿原、長節沼、湧洞沼、キモントウ、生花苗沼、当縁湿原、ホロカヤントウ沼など)	北海道	中川郡豊頃町、広尾郡大樹町	低層湿原など複合型の湿地、湖沼、藻場	湿原植生	十勝海岸湖沼群(十勝川河口湿原、長節沼、湧洞沼、キモントウ、生花苗沼、当縁湿原、ホロカヤントウ沼など)	沼沢湿原と低層湿原。ヨシ・イワノガリヤス群落、ヤチヤナギ・ムジナスゲ群落、ヤマメスゲ群落。ハンノキ林。小規模であるがヌマガヤ群落もある。湖沼ではフトイ群落、マコモ群落、ミツガシワ群落のほかエゾノミズタデ、ヒシ、タヌキモ、コウホネ、ジュンサイなどの水生植物群落が分布。
					海草	湧洞沼	コアマモの生育地。
					ガン・カモ類	十勝沿岸湖沼群(湧洞沼、長節沼、キモントウ、ホロカヤントウ、生花苗沼、当縁湿原)	ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガンの渡来地。
					その他鳥類	十勝海岸湖沼群	タンチョウの生息地。営巣数の約6%が存在。
					底生動物	豊頃町湖沼群(長節沼、湧洞沼など)	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地。
35	十勝川下流域湖沼群(三日月沼、育素多沼、池田キモントウなど)	北海道	中川郡豊頃町、浦幌郡浦幌町、中川郡池田町	複合型の湿地、湖沼	水草	十勝川水系河跡湖群	河跡湖が多数残り、水生植物の種の多様性も高い。ヒンジモが生育する沼あり。河跡湖は消滅が相次いでおり、要注目。
					ガン・カモ類	十勝川下流域湖沼群(三日月沼、育素多沼、池田キモントウ)	ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)の渡来地。
					その他鳥類	十勝川流域	タンチョウの生息地。営巣数の約6%が存在。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
36	襟裳岬周辺沿岸	北海道	幌泉郡えりも町	藻場	海藻	襟裳岬周辺沿岸	襟裳岬を中心とする庶野～えりも漁港の沿岸域。磯がよく発達。コンブ目4種。主とするミツイシコンブは、襟裳岬の東西で形態を異にする。最近他海域から別種コンブ類の侵入の懸念があり、注目すべき海域。
37	シユマリナイ 朱鞠内湖とその上流域	北海道	雨竜郡幌加内町	河川、湖沼	淡水魚類	朱鞠内湖とその上流域	イトウの生息地。
38	浮島湿原	北海道	上川郡上川町	高層湿原	湿原植生	浮島湿原	ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、イソツツジ - チャミズゴケ群落、ミカツキグサ - ワタミズゴケ群落、ホロムイソウ - ミカツキグサ群落、ヤチスゲ - カラフトホシクサ群落、フトヒルムシロ群落、湿原生アカエゾマツ林。
					昆虫類	浮島湿原	キイロマツモムシ、ヒメミズギワカメムシ、イジマルリボシヤンマの生息地。
39	大雪山系トムラウシ山周辺湿原群（高根ヶ原、忠別沼、五色ヶ原、沼ノ原、ヒサゴ沼、銀杏が原湿原、トムラウシ南麓湿原など）	北海道	上川郡新得町・上川町	高層湿原、雪田草原	湿原植生	大雪山系トムラウシ山周辺湿原群（高根ヶ原、忠別沼、五色ヶ原、沼ノ原、ヒサゴ沼、銀杏が原湿原、トムラウシ南麓湿原など）	沼ノ原湿原にはチシマミクリ群落、フトヒルムシロ群落、クロヌマハリイ群落、ミツガシワ群落、エゾホソイ群落、ホロムイソウ - ミカツキグサ群落、ナガバノモウセンゴケ - ウツクシミズゴケ群落、ナガバノモウセンゴケ - フサバミズゴケ群落、ミヤマミズゴケ群落、イボミズゴケ群落、湿原生アカエゾマツ林。忠別沼周辺高山湿原にはミヤマヤチヤナギ - チャミズゴケの群落、ムセンズゲやミヤマホソコウガイゼキショウの群落。高根ヶ原周辺高山湿原にはエゾワタスゲの生育するミズゴケ群落がある。五色ヶ原、ヒサゴ沼周辺には、広大な高山雪田群落が見られる。
					昆虫類	トムラウシ山湿原群（五色ヶ原、沼の原、ヒサゴ沼、銀杏が原湿原、トムラウシ南麓湿原など）	タカナメゲンゴロウ、クモエゾトンボ、ダイセツマメゲンゴロウ、ダイセツマルクビゴミムシの生息地。
40	大雪山系旭岳周辺湿原群（天人ヶ原湿原、沼ノ平湿原、雲井ヶ原など）	北海道	上川郡上川町、東川町	中間湿原、高層湿原	湿原植生	大雪山系旭岳周辺湿原群（天人ヶ原湿原、沼ノ平湿原、雲井ヶ原など）	チシマミクリ群落、フトヒルムシロ群落、クロヌマハリイ群落、ミツガシワ群落、ミカツキグサ - ウツクシミズゴケ群落、ミカツキグサ - サンカクミズゴケ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ミネハリイ - キダチミズゴケ群落、イボミズゴケ群落、湿原生アカエゾマツ林。
41	ウリュウ 雨竜沼湿原（恵岱岳湿原、群馬岳湿原などを含む）	北海道	雨竜郡雨竜町	高層湿原	湿原植生	雨竜沼湿原（恵岱岳湿原、群馬岳湿原などを含む）	恵岱岳、群馬岳、南暑寒岳東斜面の小湿原を含む。雨竜沼湿原は道指定天然記念物。ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ヌマガヤ - キダチミズゴケ群落、ヌマガヤ - ホロムイソウ群落、ホロムイソウ - ミカツキグサ群落、ウツクシミズゴケ群落。池塘や川の水生物群落が多様で、ホソバウキミクリ群落、ウキミクリ群落、カラフトカサゲ群落、ミツガシワ群落、カキツバタ群落、ミズドクサ群落、オオカサゲ群落、ヤラメスゲ群落などがある。河辺植生はイワノガリヤス - コバイケイソウ群落。
					昆虫類	暑寒別岳湿原群（雨竜沼湿原、恵岱岳湿原）	チビコガシラミズムシ、ベニヒカゲ、ショカンベツチビゴミムシの生息地。
42	原始ヶ原湿原	北海道	空知郡上富良野町、富良野市	高層湿原	湿原植生	原始ヶ原湿原	ヌマガヤ - ホロムイソウ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ヤチスゲ群落、ホロムイソウ - ミカツキグサ群落、ウツクシミズゴケ群落、フトヒルムシロ群落、クロヌマハリイ群落。
43	金山湖とその上流域	北海道	空知郡南富良野町	河川、湖沼	淡水魚類	金山湖とその上流域	イトウの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
44	美唄湿原	北海道	美唄市	高層湿原	湿原植生	美唄湿原	ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、オオイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、チマキザサ群落。シラカンバ - チマキザサ群落。
45	ツキガウミ月ヶ湖湿原	北海道	樺戸郡月形町	高層湿原	湿原植生	月ヶ湖湿原	ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、オオイヌノハナヒゲ - ミカツキグサ群落、ヤマウルシ - ヌマガヤ群落、チマキザサ群落。シラカンバ - チマキザサ群落。
46	オサツ旧長都沼および周辺水田	北海道	夕張郡長沼町、千歳市	水田	ガン・カモ類	旧長都沼および周辺水田	コハクチョウ、ヒシクイ、マガンの渡来地。
47	石狩川流域湖沼群（宮島沼、袋地沼、手形沼、三日月沼、浦臼沼、浦臼新沼、茶志内沼など）	北海道	砂川市、樺戸郡新十津川町、美唄市、空知郡奈井江町	湖沼	ガン・カモ類	石狩川流域湖沼群（宮島沼、袋地沼、手形沼、三日月沼、浦臼沼、浦臼新沼、茶志内沼など）	オオハクチョウ、コハクチョウ、シジュウカラガン、ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガン、オナガガモの渡来地。
48	石狩川（河口域）	北海道	石狩市	河川	底生動物	石狩川（河口域）	ヤマトシジミなどの生息地。
49	千歳川	北海道	千歳市	河川	淡水貝類	千歳川	カワシンジュガイ（絶滅危惧 類）の多産地。
50	ユウフツ勇払平野湿原群（美々川、美々川湿原、ウトナイ湖、トキサタマップ湿原、弁天沼、柏原東湿原、平木沼湖沼群朝日沼など） ラムサール条約登録湿地（ウトナイ湖）	北海道	苫小牧市、千歳市、勇払郡早来町・厚真町	低層湿原、湖沼、河川	湿原植生	ウトナイ湖	ヨシ - イワノガリヤス群落、ヤチヤナギ - ムジナスゲ群落、ハンノキ林。水生植物群落は多様で、コウホネ群落、マコモ群落、スギナモ群落、ヒシ群落、タヌキモ群落、エゾノヒルムシロ群落、セキショウモ・クロモ群落。
					湿原植生	勇払平野湿原群（美々川湿原、トキサタマップ湿原、弁天沼、柏原東湿原、平木沼湖沼群朝日沼など）	安平川流域の湿原中心部は工業団地の開発によって消滅したが、美々川、トキサタマップ川、柏原台地、平木沼湖沼群朝日沼に残存する湿原群。道央部の湿原として重要。植生は低層湿原植生で、ヨシ - イワノガリヤス群落、ヤチヤナギ - ムジナスゲ群落、ヤラメスゲ群落、ヤチスゲ - サギスゲ群落、ハンノキ林。朝日沼にはヌマガヤ - ムジナスゲ群落。
					水草	弁天沼	勇払原野の湖沼植生が良好に維持されており、特にタヌキモ類の豊かさは類を見ない。
					水草	美々川	種の多様性に富む流水性水生植物群落が残存。
					ガン・カモ類	ウトナイ湖	オオハクチョウ、コハクチョウ、ヒシクイ(亜種ヒシクイおよびオオヒシクイ)、マガンの渡来地。
					ガン・カモ類	弁天沼	ヒシクイ（亜種ヒシクイおよびオオヒシクイ）、マガンの渡来地。
					昆虫類	ウトナイ湖湿原	イイジマルリボシヤンマ、カオジロトンボ、カワラハンミョウの生息地。
					昆虫類	美々川源流	セスジアカガネオサムシ、クマガイクロアオゴミムシ、カワラハンミョウ、ハナダカバチなどの生息地。
51	アツマ厚真水田・鶴川水田	北海道	勇払郡厚真町・鶴川町	水田	ガン・カモ類	厚真水田	ヒシクイ(亜種ヒシクイ)、マガンの渡来地。
					ガン・カモ類	鶴川水田	マガンの渡来地。
52	△鶴川河口	北海道	勇払郡鶴川町	河口干潟	シギ・チドリ類	鶴川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多い。RDB種のセイタカシギ、ホウロクシギ、オオジシギが記録されている。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
53	クッタラ 倶多楽湖	北海道	白老郡白老町	湖沼	淡水藻類	倶多楽湖	絶滅危惧 類のカタシャジクモが生育。
54	シリベシ 後志山地湿原群（中山湿原、京 オロチ 極湿原、大蛇ヶ原湿原など）	北海道	札幌市、虻田郡京極 町	高層湿原	湿原植生	後志山地湿原群（中山 湿原、京極湿原、大蛇 ヶ原湿原など）	中山湿原はヌマガヤ - ホロムイソグケ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ヌマガヤ - イボミズゴケ群落。大蛇ヶ原湿原はミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ヤチスゲ群落、ミカツキグサ群落、ミツガシワ群落、ショウジョウスゲ - イワイチョウ群落。京極湿原はミツガシワ群落、ヤチスゲ群落、イワイチョウ - ヌマガヤ群落、イワイチョウ - ショウジョウスゲ群落、イワイチョウ - ミズゴケ類群落、イワイチョウ - ミヤマイヌノハナヒゲ群落、イワイチョウ - イワノガリヤス群落、ワタスゲ - ヤチカワズスゲ群落、イワノガリヤス群落など。
55	キウシト湿原	北海道	登別市	低層湿原	湿原植生	キウシト湿原	ハンノキ - ヌマガヤ群落、ハンノキ - ノリウツギ - ヤマドリゼンマイ群落、ハンノキ - ヤチダモ林（ミズバショウ型）、エゾノコリンゴ群落、ミヤマイボタ群落、ノリウツギ群落、ハンノキ - ヌマガヤ群落にはツルコケモモ、ワラミズゴケ、ヤチヤナギ、ムジナスゲ、ヤチカワズスゲ、サワヒヨドリ、ゴウソなどが生育。
56	ニセコ連山の湿原群（神仙沼湿 メクンナイ 原、パンケ目国内湿原など）	北海道	虻田郡倶知安町、 ニセコ町、磯谷郡 蘭越町、岩内郡共 和町	高層湿原	湿原植生	ニセコ連山の湿原（神 仙沼湿原、パンケ目国 内湿原など）	神仙沼湿原はヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ホロムイソウ - ミカツキグサ群落、ミツガシワ群落、クロヌマハリイ群落、フトヒルムシロ群落、ミクリ属群落など。パンケ目国内湿原はイワイチョウの多いミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落で、東北地方山地湿原の植生に類似する。
					昆虫類	ニセコ山系の湿地群 （神仙沼、鏡沼、パン ケ目国内湿原、湯本温 泉付近、五色温泉な ど）	神仙沼（共和町）、鏡沼（倶知安町）、パンケ目国内湿原（蘭越町）、湯本温泉付近（蘭越町）、五色温泉（ニセコ町）などの湿地群で、カオジロトンボ、キイロマツモムシ、未記載のミズギワカメムシ、メススジゲンゴロウ等が多数生息している。特に、鏡沼ではカオジロトンボとギンヤンマが一緒に棲むという特殊な環境。
57	歌才湿原	北海道	寿都郡黒松内町	高層湿原	湿原植生	歌才湿原	面積4.5haで小規模な湿原であるが、南西部高層湿原植生の原型を残している。国道建設などにより、周辺域はシラカンバ - ササ群落に変化している。植生はヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ヌマガヤ - ムジナスゲ群落、オオイヌノハナヒゲ - ミカツキグサ群落。イソツツジ、ガンコウラン、ハイイヌツゲなどが生育。
58	大沼	北海道	亀田郡七飯町	低層湿原、湖 沼	淡水貝類	大沼	エソドブシジミ、ヨコハマシジラガイ。種の多様性が高い（北方系と本州系貝類要素が混在する）。
59	汐首岬周辺沿岸	北海道	亀田郡恵山町・戸 井町	藻場	海藻	汐首岬周辺沿岸	恵山町大濁 - 戸井町小安の沿岸域。コンブ目6種。域内で寒暖両海流の消長に応じた両系海藻の分布限界が認められ、マコンブも形態的、生態的变化が知られる。
60	函館湾周辺沿岸	北海道	函館市、上磯郡上磯 町・木古内町、亀田 郡戸井町、茅部郡南 茅部町	浅海域	ガン・カモ類	函館湾	コクガンの渡来地。
61	泊村盃地区地先沿岸	北海道	古宇郡泊村	藻場	海藻	泊村盃地区地先沿岸	北海道日本海南北部のホソメコンブ群落は、無節サンゴモ群落が優占する海底よりも生物の多様性が高い。近年、コンブ群落の面積は磯焼けにより減少傾向にあり、群落の範囲は波打ち際に限られ、その希少性が高まっている。泊村盃地区は規模の大きいコンブ群落がある。ホソメコンブは一般的に1年生であるが、当地区では年によって2年生のコンブが出現する場所があり、磯焼け地帯の中で特殊な環境が維持されているものと見られる。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
62	下北半島大間崎周辺沿岸	青森県	下北郡大間町・佐井村	藻場	海藻	下北半島大間崎周辺沿岸	マコンブ、ホソメコンブ、ガゴメ、ワカメ、アオワカメなど8種類のコンブ目が生育し、また寒流系、暖流系の多様な海藻が豊富である。地先の生物多様性が高い。
63	下北半島沿岸北部	青森県	下北郡大畑町・東通町、むつ市	浅海域	ガン・カモ類	下北半島沿岸北部	コクガンの渡来地。
64	小川原湖湖沼群（尾駁沼、鷹架沼、市柳沼、田面木沼、高瀬川、小川原湖など） <small>オプチ タカホコ イチャナギ タモギ オガワラ</small>	青森県	上北郡上北町・六ヶ所村、三沢市	湖沼、潟湖、河口干潟のある河口域	湿原植生	小川原湖湖沼群（尾駁沼、鷹架沼、市柳沼、田面木沼、高瀬川、小川原湖など）	ハンノキ林、水生植物群落など。53種を超える水生植物が確認されている。
					水草	下北半島湖沼群	尾駁沼～小川原湖にかけての湖沼群。種の多様性に富んだ水生植物群落が成立し、一部を除き自然度は高い。
					淡水藻類	市柳沼	絶滅危惧 類のシャジクモが生育。
					ガン・カモ類	小川原湖湖沼群(小川原湖および周辺水田、尾駁沼)	オオハクチョウ、コハクチョウの渡来地。鷹架沼、市柳沼、田面木沼ではカンムリカイツブリの繁殖が見られる。
					昆虫類	小川原湖湖沼群（尾駁沼、鷹架沼、市柳沼、田面木沼、高瀬川、小川原湖など）	モートンイトトンボ、オオキトンボ、パバアメンボ、アシマダラウンカ、ハコネマルツノゼミ等の生息地。下北半島南部に並ぶ湖沼群のうち六ヶ所村内に含まれる北から尾駁沼、鷹架沼、市柳沼、田面木沼の各湖沼。北部の2湖は太平洋に連絡した汽水湖で、遠浅の湖岸には湿原植物群落が広がる。固有の昆虫こそ知られていないが、冷涼な気候下、汽水性の湿原とそれに続く草原が残された特殊な環境となっており、十分な調査研究は進んでいないものの、本州や青森県ではここでしか生息が確認されていない種など多数の貴重な昆虫が分布している。
淡水貝類	下北半島の湖沼群	種の多様性が高く、ヒダリマキモノアラガイ（絶滅危惧 類）の生息地。カワシンジュガイ（絶滅危惧 類）、ヌマコダキガイも生息。					
底生動物	小川原湖湖沼群（尾駁沼、鷹架沼、市柳沼、田面木沼、高瀬川、小川原湖など）	ヤマトシジミ、カワザンショウや希少種タカホコシラトリの生息地。					
65	ホトケ仏沼	青森県	三沢市	干拓地	その他鳥類	仏沼	オオセッカの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
66	陸奥湾(大湊湾、原別海岸、小湊浅所海岸、青森湾東岸)	青森県	むつ市、青森市、上北郡野辺地町、東津軽郡平内町ほか	干潟、浅海域、藻場	海草	野辺地湾	スゲアマモの生育地。
					海草	青森湾東岸	アマモ、コアマモ、タチアマモ、スゲアマモの生育地。
					ガン・カモ類	陸奥湾(大湊湾、原別海岸、小湊浅所海岸)	オオハクチョウの渡来地。
					底生動物	小湊浅所	陸奥湾で最大の干潟。アナジャコ、キサゴ、アサリ、ヤマトオサガニなどの生息地。
67	宇曽利山湖	青森県	むつ市、下北郡大畑町	湖沼	昆虫類	宇曽利山湖	黒化のシオカラトンボ。湖岸の湿地や砂礫地には、ルリイトトンボ、ヒメミズギワカメムシ、エサキナガレカタピロアメンボ、ミヤマハンミョウ、オソレヤマミズギワゴミムシ、シマチビゲンゴロウ、チビミズギワコメツキなどが生息する。また、湖から流下する正津川にはナベブタムシを産する。
68	猿ヶ森砂丘と後背湿地	青森県	下北郡東通村	中間湿原、低層湿原	湿原植生	猿ヶ森砂丘と後背湿地	ハマニンニク - コウボウムギ群落、ケカモノハシ群落など。
					昆虫類	猿ヶ森砂丘と後背湿地	尻屋崎近くの尻労(しっかり)から小田野沢までの間、約7.5kmに及び長大な砂丘地で、砂丘の後背に池沼群が連なる。コウベツゲンゴロウ、オオヒメゲンゴロウ、マルガタゲンゴロウ、ゲンゴロウ、エゾゲンゴロウモドキ、エゾコガムシなどの水生甲虫が記録され、砂丘上ではオオマキバサシガメ、カワラハンミョウ、ヤマトヌスミベッコウ、ニッポンハナダカバチ、ヤスマツムカシハナバチが確認されている。
69	十三湖・岩木川(河口域)	青森県	北津軽郡中里町・市浦村、西津軽郡車力村	潟湖、河川、湖沼	湿原植生	十三湖・岩木川(河口域)	エゾシロネ - ヨシ群落、シオクグ群落など。
					その他鳥類	岩木川河口 - 十三湖	オオセッカの生息地。
					昆虫類	岩木川下流域の湿地群および十三湖	岩木川最下流部は河畔が広大なヨシを主体とする湿原となっている。十三湖周辺に甲虫類。ウチワヤンマ、アオヤンマなど多数のトンボ類、オオシマゲンゴロウ、マルガタゲンゴロウ、クロゲンゴロウ、ゲンゴロウモドキ、エゾガムシ、ホソガムシ他の水生甲虫類をはじめとした水生昆虫が豊富で、周辺にはキタアカシジミが生息する。
					底生動物	十三湖・岩木川(河口域)	ヤマトシジミなどの汽水性ベントスの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
70	屏風山湿原池沼群（平滝沼・ベンセ沼湿原、コケヤチ湿原など）	青森県	西津軽郡木造町・車力村	湖沼、中間湿原	湿原植生	屏風山湿原池沼群（平滝沼・ベンセ沼湿原、コケヤチ湿原など）	ツルコケモモ - ミズゴケ群落、ニッコウキスゲ - ノハナショウブ群落など。
					水草	屏風山湿原の池沼群	貴重な水生植物ならびに湿地植生が発達。
					昆虫類	屏風山湿原池沼群（平滝沼、ベンセ沼湿原、屏風山湿原）	カラカネイトトンボ、オオセスジイトトンボ、アオヤンマ、マダラヤンマ、オオトラフトンボ、ハッチョウトンボ、オオキトンボなど多数のトンボ類。オオヒメゲンゴロウ、オオシマゲンゴロウ、ゲンゴロウモドキなどの水生甲虫類が多く生息している。
71	津軽平野湖沼群（廻堰溜池、狄ガ館溜池、砂沢溜池）	青森県	北津軽郡鶴田町、弘前市、西津軽郡車力村	ため池	ガン・カモ類	津軽平野湖沼群（廻堰溜池、狄ガ館溜池、砂沢溜池、平滝沼）	コハクチョウ、ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）、マガン、オナガガモの渡来地。
72	八甲田山湿原群（田代平湿原、睡蓮沼周辺、八甲田山高層湿原・雪田草原、黄瀬沼周辺、鳶沼周辺）	青森県	青森市、上北郡十和田湖町、南津軽郡平賀町	高層湿原、雪田草原、湖沼	湿原植生	八甲田山湿原群（田代平湿原、睡蓮沼周辺、八甲田山高層湿原・雪田草原、黄瀬沼周辺、鳶沼周辺）	ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ショウジョウスゲ群落、ヌマガヤ群落、ミヤマホタルイ群落、エゾノヒツジグサ群落など。
					淡水藻類	鳶沼	絶滅危惧 類のヒメフラスコモ、カタシャジクモが生育。
					昆虫類	八甲田山湿原群（田代平湿原、睡蓮沼周辺、八甲田山高層湿原・雪田湿原、黄瀬沼、鳶沼周辺）	鳶温泉の周囲には少し離れた赤沼を含め大小の沼が点在し、鳶七沼と呼ばれる。周辺の森林からも興味深い昆虫が多数確認され、青森県にあっては昆虫の宝庫として知られている。キタヒメアメンボ、キイロマツモムシの生息地。八甲田山系は南北2群の火山よりなり、その中間に睡蓮沼を含む湿原地帯がある。カオジロトンボ、イシカリミドリカワゲラ、キイロマツモムシ、ヘリグロミズカメムシ、ババアメンボ、チャイロシマチビゲンゴロウ、サワダマメゲンゴロウ、メススジゲンゴロウ、ゲンゴロウ、ミヤマミズスマシ、ゴマフトビケラ、ヤチアミメトビケラなどの水生昆虫が生息する。
73	十和田湖	青森県、秋田県	青森県上北郡十和田湖町、秋田県鹿角郡小坂町	湖沼	淡水藻類	十和田湖	絶滅危惧 類のヒメフラスコモ、カタシャジクモが生育。
74	アッカ安家川	岩手県	下閉伊郡岩泉町、九戸郡野田村	河川	淡水貝類	安家川	カワシンジュガイ（絶滅危惧 類）の多産地。アッカミジンツボの模式および唯一の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
75	八幡平周辺湿原群（赤川源流域湿原、八幡平湿原、八幡沼、黒谷地、夜沼、蒸ノ湯大谷地、長沼、大沼、大場谷地、熊谷地、前谷地など）	岩手県、秋田県	岩手県岩手郡松尾村、二戸郡安代町、秋田県鹿角市、仙北郡田沢湖町	高層湿原、雪田草原、湖沼	湿原植生	八幡平周辺湿原群（赤川源流域湿原、八幡平湿原、八幡沼、黒谷地、夜沼、蒸ノ湯大谷地、長沼、大沼、大場谷地、熊谷地、前谷地など）	ショウジョウスゲ群落、ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、シモフリゴケ群落、ヤチスゲ群落、エゾホソイ群落、ミヤマホタルイ群落。
					水草	八幡平湖沼群	夜沼は日本唯一のハリナズナの群生地。他の湖沼にも貧栄養水域性の水生植物が生育する可能性があり、要注目。
					昆虫類	八幡平周辺湿原群（八幡沼、ガマ沼、蓬萊沼、黒谷地、御在所湿原など）	チシマミズムシ、モイワサナエ、ルリボシヤンマ、オオルリボシヤンマ、タカネトンボ、カラカネトンボ、エソトンボ、ハッチョウトンボ、ムツアカネ、カオジロトンボなどの生息地。八幡沼、ガマ沼、蓬萊沼、黒谷地、御在所湿原などの調査により、高標高の池沼にはチシマミズムシ、北方系のGlaenocoris属の特異なミズムシ、アサヒナコミズムシ、キロマツモムシが多数みられる。
76	南八幡平山稜湿原群（大深岳北面雪田、上倉山周辺湿原、丸森周辺湿原、三ツ石湿原、三ツ沼、栗木ヶ原、〔岩手〕大白森湿原、八瀬森、〔秋田〕大白森湿原、小白森湿原、乳頭山、田代平湿原、千沼ヶ原、笹森山雪田、熊見平、湯森山、秋田駒ヶ岳など）	岩手県、秋田県	岩手県岩手郡雫石町・松尾村、秋田県仙北郡田沢湖町	高層湿原、雪田草原	湿原植生	南八幡平山稜湿原群（大深岳北面雪田、上倉山周辺湿原、丸森周辺湿原、三ツ石湿原、三ツ沼、栗木ヶ原、〔岩手〕大白森湿原、八瀬森、〔秋田〕大白森湿原、小白森湿原、乳頭山、田代平湿原、千沼ヶ原、笹森山雪田、熊見平、湯森山、秋田駒ヶ岳など）	イワイチョウ - ヌマガヤ群落、ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ヌマガヤ群落、ミヤマホタルイ群落、ミツガシワ群落、ダケスゲ群落、ヒメミズナラ群落、ミヤマヒナホシクサ群落、シロバナミヤマホシクサ群落など。
77	春子谷地湿原	岩手県	岩手郡滝沢村	中間湿原、低層湿原	湿原植生	春子谷地湿原	エゾノヒツジグサ - ミツガシワ群落、ヨシ - ショウジョウスゲ群落、ハンノキ群落など。
78	焼石岳北面雪田	岩手県	胆沢郡胆沢町、和賀郡湯田町	雪田草原	湿原植生	焼石岳北面雪田	ショウジョウスゲ群落など。
79	栗駒山湿原群（栗駒山雪田、世界谷地、ゴザコバシリ、須川湖周辺、竜泉ヶ原、田代沼など）	岩手県、宮城県、秋田県	岩手県一関市、宮城県栗原郡栗駒町・花山村、秋田県雄勝郡東成瀬村・皆瀬村	雪田草原、高層湿原	湿原植生	栗駒山湿原群（栗駒山雪田、世界谷地、ゴザコバシリ、須川湖周辺、竜泉ヶ原、田代沼など）	ヌマガヤ、アオノツガザクラ、フキユキノシタ、イワノガリヤス、ヤチツツジなどが生育する雪田草原。ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ヌマガヤ - オオミズゴケ群落などの高層湿原植生。オゼコウホネ。
					昆虫類	栗駒山周辺湿原群（栗駒山雪田、世界谷地、ゴザコバシリなど）	トウホクナガケシゲンゴロウ、エゾナガゴミムシ、スゲハムシなど北方系甲虫の生息地。桑沼にメススジゲンゴロウが生息していたが、マスの養殖により絶滅が危惧されており、要注目。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
80	陸中リアス海岸の湾奥沿岸湿地群（宮古湾、山田湾、船越湾、大槌湾、釜石湾など）	岩手県	宮古市、下閉伊郡山田町、上閉伊郡大槌町、釜石市など	干潟、藻場	海草	山田湾	生物多様性の高い藻場（わずかだがアマモ、スガモ、中央部にスゲアマモの高密度な純群落）。
					海草	船越湾	アマモ、タチアマモの生育地。
					海草	大槌湾	アマモ、スゲアマモ、タチアマモ、スガモの生育地。
					底生動物	陸中リアス海岸の湾奥干潟群（宮古湾、山田湾、大槌湾、釜石湾など）	様々な浅海性ベントスの生息地。
81	三陸沿岸の外洋性藻場	岩手県	下閉伊郡山田町、上閉伊郡大槌町、釜石市	藻場	海藻	三陸海岸	コンブ場などと混在し、地先の生物多様性が高い、ワカメ生育地。エゾノネジモクの大群落。
82	広田湾	岩手県、宮城県	岩手県陸前高田市、宮城県本吉郡唐桑町	藻場	海草	広田湾	アマモ、タチアマモ群落。
83	南三陸海岸沿岸（御伊勢浜ほか）	宮城県	宮城県本吉郡本吉町、気仙沼市ほか	浅海域	ガン・カモ類	南三陸海岸（御伊勢浜ほか）	コクガンの渡来地。
84	志津川湾	宮城県	本吉郡志津川町	藻場	海草	志津川湾	アマモの4種（アマモ、タチアマモ、スゲアマモ、スガモ）が生育する。アマモ場のほか、コンブ場、アラメ場、ガラモ場という4つのタイプの藻場が良く発達する。コンブとアラメが混生する大変貴重な場所。
85	万石浦	宮城県	石巻市	浅海域、藻場	海草、海藻	万石浦	アマモの生育地。湾奥部にアサクサノリ（絶滅危惧種）が生育。
					底生動物	万石浦	カキ、アサリ、オキシジミ（北限）、ウミニナの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
86	仙台湾および仙台海浜（松島湾、蒲生干潟、井戸浦潟、広浦、鳥の海など）	宮城県	石巻市、仙台市、亶理郡亶理町、宮城郡松島町、塩釜市ほか	潟湖干潟のある汽水湖沼、干潟、浅海域、藻場	海藻	仙台湾	コンブ、アラメ場などと混在し、地先の生物多様性が高い、ワカメ生育地。
					湿原植生	仙台海浜潟湖群（松島湾、蒲生干潟、井戸浦潟、広浦、鳥の海など）	ハマニンニク - コウボウムギ群落、ハマツナ群落、シオクグ群落、ヨシ群落、シバナ群落など。鳥の海のヨシ群落にアサクサノリ(絶滅危惧種)が生育。
					海草	松島湾	内湾性の強いアマモ場。
					底生動物	松島湾内の干潟群	アサリ、カキなどの生息地。
					ガン・カモ類	蒲生海岸	コクガンの渡来地。
					底生動物	蒲生干潟	ゴカイ、イソシジミ、アシハラガニなどの生息地。フトヘナタリ(北限)、カワザンショウ類(ムシヤドリカワザンショウ)など塩性湿地性の底生生物も豊富。
					底生動物	井戸浦潟・名取川河口域	多毛類、カニ類の生息地。
					底生動物	広浦	まとまった干潟とヨシ原があり、ベントスの生息条件を備えている。ウミニナの生息地として重要。
					底生動物	鳥の海	ホソウミニナ、ウミニナ、イソシジミ、ゴカイ、アサリなどの生息地。
87	伊豆沼周辺湖沼群（伊豆沼、内沼、長沼など） ラムサール条約登録湿地(伊豆沼・内沼)	宮城県	登米郡若柳町・迫町、栗原郡築館町	湖沼	湿原植生	伊豆沼周辺湖沼群（伊豆沼、内沼、長沼など）	ヨシ群落、マコモ群落、ヌマアゼスゲ群落など。
					ガン・カモ類	伊豆沼周辺湖沼群（伊豆沼、内沼、長沼）	オオハクチョウ、ヒシクイ(亜種ヒシクイおよびオオヒシクイ)、マガン、シジウカラガンの渡来地。
					淡水魚類	伊豆沼	ゼニタナゴ、タナゴの生息地。近年激減しているため注意が必要。
					淡水貝類	伊豆沼	イシガイ類の生息地。
88	カブクリ 蕪栗沼	宮城県	遠田郡田尻町	湖沼	湿原植生	蕪栗沼	ヨシ群落、マコモ群落、タチヤナギ群落など、低湿地を代表する植生が残存。
					ガン・カモ類	蕪栗沼	ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガン、シジウカラガンの渡来地。
					淡水魚類	蕪栗沼	ゼニタナゴ、タナゴの生息地。
					淡水貝類	蕪栗沼	イシガイ類の生息地。
89	相野沼	宮城県	遠田郡涌谷町	湖沼	水草	相野沼	水草の種数、個体数ともに豊かな沼。フサタヌキモやヒシモドキモ記録がある。近年の変化は急激のため要注目。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
90	ケジヨ 化女沼	宮城県	古川市	湖沼	ガン・カモ類	化女沼	ヒシクイ(亜種ヒシクイ)、マガンの渡来地。
91	旧品井沼周辺ため池群	宮城県	志田郡鹿島台町	ため池	淡水魚類	旧品井沼周辺ため池群	シナイモツゴ、ギバチ、ゼニタナゴ、メダカの生息地。
92	北上川(河口域)・ ^{ナガツラ} 長面浦	宮城県	桃生郡北上町・雄勝町・河北町・桃生町、登米郡登米町	河口干潟、塩性湿地	湿原植生	北上川(河口域)・長面浦	北上川河口域に沿ったヨシ、マコモ、ガマなどの抽水植物群落とヤナギ低木林。長面浦に砂浜植物群落、アサクサノリ(絶滅危惧種)。
					昆虫類	北上川(追波湾)河口	北上川最下流域の汽水性の河畔湿地で、ヒヌマイトトンボの既知北限であり、カスミササキリ、未記載種と考えられるナガマキバサシガメ、オオナガマキバサシガメ、ジュウクホシテントウなどが確認されている。
					底生動物	北上川(河口域)・長面浦	ヤマトシジミ、アサリ、コメツキガニ、アシハラガニなどの生息地。長面浦にはアシハラガニ、アリアケモドキ、ホソウミニナが生息する。
93	田谷地沼・かば谷地・すげ沼湿地池沼群	宮城県	加美郡小野田町	湖沼、ため池	湿原植生	田谷地沼・かば谷地・すげ沼湿地池沼群	ハンノキ-ヤチダモ群落、ハンノキ群落、ヤチスゲ群落、ヨシ-ミゾソバ群落、オオイヌノハナヒゲ-ムラサキミズゴケ群落など。
					水草	田谷地湖沼群・荒沢湖沼群	大規模な地すべり地域の凹地に成立した湖沼・湿地に、多様な湿原植生が自然な状態で認められる。
					昆虫類	田谷地沼・すげ沼湿地池沼群	カラカネイトトンボ、オゼイトトンボ、エゾイトトンボ、サラサヤンマ、キトンボ、ハッチョウトンボなどの生息地。
94	蔵王山周辺湿原群(芝草平、イロ八沼湿原群、御田の神湿原、地蔵岳雪田、熊野岳雪田など)	宮城県、山形県	宮城県刈田郡七ヶ宿町・蔵王町、山形県山形市、上山市	高層湿原、雪田草原	湿原植生	蔵王山湿原群(芝草平、イロ八沼湿原群、御田の神湿原、地蔵岳雪田、熊野岳雪田など)	シヨウジョウスゲ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ-キダチミズゴケ群落、カワズスゲ-アオモリミズゴケ群落、ミヤマホタルイ群落など。
95	米代川河口湖沼群(小友沼、一ノ沢堤、能代大堤、落合沼、須田湿地など)	秋田県	能代市	低層湿原、湖沼	湿原植生	米代川河口湖沼群(小友沼、一ノ沢堤、能代大堤、落合沼、須田湿地など)	落合沼：沼沢地。マコモ群落、沈水植物群落など。タヌキモ、クロモ、ミズオオバコ、ヒメミクリ、マルバオモダカ、ヤナギスプタ、ミミカキグサ、ムラサキミミカキグサ、ホザキノミミカキグサなど。
					ガン・カモ類	八郎潟・小友沼湖沼群	オオハクチョウ、コハクチョウ、ヒシクイ(亜種ヒシクイおよびオオヒシクイ)、マガン、オナガガモの渡来地。
96	男鹿半島沿岸	秋田県	男鹿市	藻場	海藻	男鹿半島沿岸	日本海北部最大。ハタハタ主産卵場。ワカメ、テングサ、ウスイロモク、スギモクなど種の多様性が高い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
97	秋田平野湖沼群（八郎潟調整池・天王出戸湿原、男潟、女潟、国花苑堤、小立花堤、福田堤、赤平潟、宝竜崎ため池、古川）	秋田県	南秋田郡井川町・大潟村・天王町・五城目町・八郎潟町、山本郡山本町、秋田市	高層湿原、低層湿原、潟湖、湖沼	湿原植生	秋田平野湖沼群（八郎潟調整池・天王出戸湿原、男潟、女潟、国花苑堤、小立花堤、福田堤、赤平潟、宝竜崎ため池、古川）	[女潟]沼沢地。ウキヤガラ - マコモ群落、カサスゲ群落、ツルスゲ群落。 [天王出戸湿原]高層湿原。ヨシ群落、ヒメミクリなど。 [男潟]アサザ。 [国花苑堤、小立花堤、福田堤]イトトリゲモ、イトイバラモ、トリゲモ、スプタ、マルバオモダカ。 [赤平潟、宝竜崎ため池、古川]アサザ、ミズアオイ、沈水植物が生育。
					水草	秋田平野湖沼群（男潟、女潟、古川など）	アサザ、ミズアオイ、バイカモなど貴重な水生植物が生育。
					ガン・カモ類	八郎潟・小友沼湖沼群	オオハクチョウ、コハクチョウ、ヒシクイ（亜種ヒシクイおよびオオヒシクイ）、マガン、オナガガモの渡来地。
					底生動物	八郎潟調整池	淡水化が進んだとはいえ、汽水性ベントスが数多く生息している。
98	雄物川中流域湖沼群（高屋敷低層湿原、大浦沼、乙越沼、湯の台・小方角沢湿原）	秋田県	仙北郡西仙北町・神岡町	低層湿原、湖沼	湿原植生	雄物川中流域湖沼群（高屋敷低層湿原、大浦沼、乙越沼、湯の台・小方角沢湿原）	雄物川の氾濫原および段丘に散在する湖沼・湿原群。水田化などが進められた低湿地や丘陵域に残る。コウホネ、サギソウ、ミズドクサ、メビシなどが生育する。絶滅危惧種も多い。高屋敷低層湿原：河川、沼沢地。コウホネ群落、ミズドクサ群落。大浦沼：ヒシ - コウホネ群落、サンショウモ - ウキクサ群落など、アサザ、トチカガミ。乙越沼：メビシーオヒルムシロ群落など。湯の台・小方角沢湿原：イヌノハナヒゲ群落、コイヌノハナヒゲ - オオイヌノハナヒゲ群落など。
99	横手市～仙北郡にかけてのため池群	秋田県	仙北郡南外村・仙南村・神岡町・仙北町・太田町・中仙町・協和町	ため池	水草	横手市～仙北郡にかけてのため池群	貴重な水生植物が生育。
100	仙北・平鹿地方の湧水群	秋田県	仙北郡六郷町・中仙町・太田町・千畑町・田沢湖町、平鹿郡平鹿町	湧水地	水草	中仙町～太田町の湧水群	ミクリ類（ナガエミクリ、ヤマトミクリ、他）やスギナモ、ハイハマボスなどが生育する湧水が広範に残存。
					淡水魚類	仙北・平鹿地方の湧水群	イバラトミヨ雄物型の生息地。
101	田代岳湿地	秋田県	北秋田郡田代町	雪田草原	湿原植生	田代岳湿地	ヌマガヤ群落など。ムツノガリヤス、キンコウカなど。
102	和賀岳・朝日岳雪田	秋田県	仙北郡田沢湖町・角館町	雪田草原	湿原植生	和賀岳・朝日岳雪田	ヌマガヤ、ショウジョウスゲ、イワイチョウ、ヒナザクラ、コイワカガミ、ミツバオウレン、チングルマ、シロバナトウチソウ、シラネニンジン、ミツバノバイカオウレン、シナノキンバイ、タカネセンブリなどが生育する。
103	苔沼	秋田県	雄勝郡皆瀬村	高層湿原	湿原植生	苔沼	イボミズゴケ - ホロムイソウ群落など。
104	加田喜沼	秋田県	由利郡大内町	高層湿原	湿原植生	加田喜沼	標高30mの低地に残された浮島上の高層湿原。ミズゴケ群落が発達。ホロムイソウ（遺存分布）、ムラサキミミカキグサ、ミツガシワ、ウメバチソウなどが生育。
105	虎毛山湿地	秋田県	雄勝郡皆瀬村	高層湿原、雪田草原	湿原植生	虎毛山湿地	イワイチョウ - ヌマガヤ群落、ヌマガヤ、チングルマ、ミカツキグサ、ミヤマイヌノハナヒゲ、キンコウカ、モウセンゴケなどが生育する。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
106	鳥海山北麓湿地群（南由利原の湿地、冬師のハンノキ林、桑ノ木台湿原、仁賀保高原湖沼群（平石堤など））	秋田県	由利郡由利町・矢島町・仁賀保町	低層湿原、湖沼	湿原植生	鳥海山北麓湿地群（南由利原の湿地、冬師のハンノキ林、桑ノ木台湿原、仁賀保高原湖沼群（平石堤など））	[南由利原の湿地]ノハナショウブ群落、レンゲツツジ群落、タチギボウシ - サワギキョウ群落。[冬師]ハンノキ林、フトヒルムシロ。
107	鳥海山湿原群(竜ヶ原湿原、稲倉岳北面雪田、鳥海山雪田群、御浜扇子森雪田群、千畳ヶ原、荒神岳北面、心字雪田群、飯ヶ森湿原、河原宿湿原、大清水湿原など)	秋田県、山形県	秋田県由利郡象潟町・矢島町・鳥海町、山形県飽海郡遊佐町・八幡町	高層湿原、雪田草原	湿原植生	鳥海山湿原群(竜ヶ原湿原、稲倉岳北面雪田、鳥海山雪田群、御浜扇子森雪田群、千畳ヶ原、荒神岳北面、心字雪田群、飯ヶ森湿原、河原宿湿原、大清水湿原など)	ヒゲノガリヤス群落、ショウジョウスゲ - イワイチョウ群落など。
108	飛鳥周辺沿岸	山形県	酒田市	藻場	海藻	飛鳥周辺沿岸	山形県本土沿岸よりも暖流の影響が強く、県沿岸海藻では最も海藻の種類が豊富である。長さ6mを越えるツルモを産し、南方系の種類が多い一方で、北方性の普通種アカバも産する。
109	最上川河口	山形県	酒田市	河川	ガン・カモ類	最上川河口	ハクチョウ類の渡来地。
110	最上川および赤川水系のウケクチウグイ生息地	山形県		河川	淡水魚類	最上川および赤川水系のウケクチウグイ生息地	ウケクチウグイの生息地。
111	河島山麓堤群	山形県	村山市	ため池	水草	河島山麓堤群	多くの貴重水生植物。
112	乱川扇状地湧水地	山形県	東根市、天童市	湧水地	水草	乱川扇状地湧水地	乱川はじめ最上川支流の河口域と古最上遊水地。イトトリゲモ、ミクリ類など、種の多様性に富んだ一帯。
					淡水魚類	最上川中流域の湧水地	イバラトミヨ雄物型の生息地。
113	上池・下池	山形県	鶴岡市	湖沼	ガン・カモ類	上池・下池	マガモ、コハクチョウ、ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）の渡来地。
114	月山・湯殿山湿原群（月山山頂東側一帯、弥陀ヶ原湿原、念仏ヶ原、皮松谷地、田代沢湿原群など）	山形県	西村山郡西川町、東田川郡榊引村・立川町、東田川郡羽黒町	雪田草原、高層湿原、湖沼	湿原植生	月山・湯殿山湿原群（月山山頂東側一帯、弥陀ヶ原湿原、念仏ヶ原、皮松谷地、田代沢湿原群など）	ガッサンクロゴケ群落、カニツリノガリヤス群落、ショウジョウスゲ-イワイチョウ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落など。
					淡水貝類	月山の湖沼群	マメシジミ類の多産地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
115	朝日連峰湿原群	山形県	東田川郡朝日村、西村山郡西川町、長井市	雪田草原、高層湿原	湿原植生	朝日連峰湿原群	イワノガリヤス - アオノツガザクラ群落、イワイチョウ - ヌマガヤ群落、オクキタアザミ - トウゲブキ群落など。イワイチョウ - ヌマガヤ群落内では、ヌマガヤ、イワイチョウ、ハクサンオオバコ、イトキンスゲ、ショウジョウスゲ、ヒゲノガリヤス、チングルマ、ウサギギク、イワカガミなどの高山草本に、アオノツガザクラ、クロウスゴなどの木本が混生し、湿性のお花畑となる。また、鳥原山の湿地には、ホロムイソウ、ヤチスギラン、ホソバタマミクリ、イトカワモズクなどがみられる。
116	飯豊連峰湿原群	山形県、福島県、新潟県	山形県西置賜郡小国町・飯豊町、福島県耶麻郡山都町・西会津町、新潟県東蒲原郡鹿瀬町、新発田市	雪田草原	湿原植生	飯豊連峰湿原群	イワノガリヤス - アオノツガザクラ群落、イワイチョウ - ヌマガヤ群落、オクキタアザミ - トウゲブキ群落。稜線の東 - 南東側直下に形成された雪窟と呼ばれる独特の地形部位に、残雪が最も遅くまで残る中心部から順に、アオノツガザラ、ショウジョウスゲ、イワイチョウ、ハクサンオオバコ、コバイケイソウなどが優占する雪田植生が認められる。また、稜線の平坦地にはヌマガヤ、イワイチョウ、ショウジョウスゲが多く、分解の進んだ泥炭が存在する草原が発達する。
					昆虫類	飯豊連峰湿原群	ババオオヨコバイの生息地。
117	吾妻山周辺湿原群（西吾妻山、東大巔、弥兵衛平、中大巔、矢筈山馬場谷地、明月・明星湖湿原、谷地平、景場平等）	山形県、福島県	山形県米沢市、福島県福島市、耶麻郡猪苗代町・北塩原村	高層湿原、雪田草原	湿原植生	吾妻山湿原群（西吾妻山、東大巔、弥兵衛平、中大巔、矢筈山馬場谷地、明月・明星湖湿原、谷地平、景場平等）	ワタスゲ - イボミズゴケ群落、ミヤマイヌノハナヒゲ - ワタミズゴケ群落、ショウジョウスゲ - イワイチョウ群落など。
118	松川浦	福島県	相馬市	潟湖	底生動物	松川浦	ホソウミニナ、イソシジミ、ゴカイ、アサリなどの生息地。
119	雄国沼湿原	福島県	耶麻郡北塩原村	高層湿原	湿原植生	雄国沼湿原	ヌマガヤ - チャミズゴケ群落、ヌマガヤ - イボミズゴケ群落など。
120	裏磐梯湖沼群（桧原湖、小野川湖、秋元湖、五色沼など）	福島県	耶麻郡北塩原村・猪苗代町	低層湿原、湖沼	湿原植生	裏磐梯湖沼群（桧原湖、小野川湖、秋元湖、五色沼など）	オヒルムシロ、ジュンサイなどの生育する多数の湖沼や低層湿原が散在する。
					淡水魚類	五色沼周辺沢沼地	シナイモツゴ、アカヒレタビラの生息地。
					昆虫類	五色沼周辺沼沢地	アマゴイルリトンボ、アオヤンマ、ルリボシヤンマ、エゾトンボ、ハッチョウトンボの生息地。
121	猪苗代湖と流入河川	福島県	会津若松市、郡山市、耶麻郡猪苗代町	河川、湖沼	淡水貝類	猪苗代湖とその流入河川	絶滅危惧 類のカワシンジュガイ（流入河川）、ヨコハマシジラガイ（猪苗代湖）。種の多様性が高い。
122	赤井谷地湿原	福島県	会津若松市	低層湿原、高層湿原	湿原植生	赤井谷地湿原	ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ヌマガヤ - ムラサキミズゴケ群落、ヨシ - シタミズゴケ群落など。
					昆虫類	猪苗代湖畔赤井谷地	ゲンゴロウ、オオコオイムシの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
123	矢の原湿原	福島県	大沼郡昭和村	高層湿原	湿原植生	矢の原湿原	泥炭層が厚い。
124	コマド・ミヤコ 駒止・宮床湿原	福島県	大沼郡昭和村、南 会津郡田島町・南 郷村	中間湿原、 高層湿原	湿原植生	駒止・宮床湿原	駒止湿原は、国指定天然記念物。ヌマガヤ - チャミズゴケ群落、ホロムイスゲ - ヌマガヤ群落など。
125	田代山湿原	福島県	南会津郡舘岩村	高層湿原	湿原植生	田代山湿原	ヌマガヤ - チャミズゴケ群落など。
126	小名浜、塩屋崎周辺沿岸	福島県	いわき市	藻場	海藻	小名浜、塩屋崎周辺沿 岸	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。
127	尾瀬ヶ原・尾瀬沼	福島県、群 馬県、新潟 県	福島県南会津郡檜 枝岐村、群馬県利 根郡片品村、新潟 県北魚沼郡湯之谷 村	高層湿原、湖 沼	湿原植生	尾瀬ヶ原・尾瀬沼	ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ヤチカワズスゲ - キダチミズゴケ群落、リュウ キンカ - ミズバショウ群落、ホソバタマミクリ - オゼコウホネ群落、スギナモ 群落など。
					淡水藻類	尾瀬沼	絶滅危惧 類のカタシャジクモが生育。
					昆虫類	尾瀬周辺湿原群・尾瀬 沼	トンボ類・甲虫類の多様性が高い。カラカネイトンボ、オゼイトンボ、ル リイトンボ、モイワサナエ、ルリボシヤンマ、オオトラフトンボ、エゾトン ボ、ホソモリトンボ、カラカネトンボ、ハッチョウトンボ、ムツアカネ、カ オジロトンボなどの生息地。
					淡水貝類	尾瀬沼	マメシジミ類の多産地。
128	会津駒ヶ岳周辺湿原群	福島県	南会津郡檜枝岐村	高層湿原、雪 田草原	湿原植生	会津駒ヶ岳周辺湿原群	ハクサンコザクラ - ショウジョウスゲ群落、ヤチカワズスゲ - キダチミズゴケ 群落など。
129	ヒヌマ 涸沼	茨城県	東茨城郡茨城町・ 大洗町、鹿島郡旭村	複合型の湿 地、潟湖	湿原植生	涸沼	ヨシ、ガマ、マコモ、フトイ、サンカクイ、ヒシ、クロモ、マツモ、セキショ ウモ、コケモドキ・アヤギヌ群落。
					ガン・カモ類	霞ヶ浦・涸沼湖沼群 (霞ヶ浦・北浦・涸 沼・菅生沼)	霞ヶ浦を含むこれらの湖沼群は、関東地方におけるガンカモ類の越冬地の中心 的存在となる。とりわけガン類にとっては、霞ヶ浦に隣接する水田地帯や旧 河川および、霞ヶ浦自体が、関東地方で唯一の定期的なガン類（オオヒシク イ）の越冬地となっている。また涸沼、北浦、菅生沼もガン類の生息を可能と する環境が保持され、不定期にガン類が渡来する。菅生沼では2000/01越冬期も 100羽前後のマガンの渡来が確認されている。霞ヶ浦：ヒシクイ(亜種オオヒシク イ)、マガモ、コガモ。北浦：オオホシハジロ。涸沼：希少種（ヒメハジロ） が見られることがある。菅生沼：コハクチョウ。
					淡水魚類	涸沼	陸封型ニシンの南限。生息数が激減。
					昆虫類	涸沼	ヒヌマイトンボの模式産地。（アシ、マコモやイグサが生育し、しかも塩水 が混じる汽水域にだけ生息しており、日本の他の生息地も同様である。ここを 離れると大形のトンボに捕食されてしまう。）

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
130	霞ヶ浦・北浦水系の河川・湖沼群（霞ヶ浦・北浦・浮島湿原を含む）	茨城県	東茨城郡小川町、行方郡玉造町、新里郡玉里町、稲敷郡桜川村	複合型の湿地、河川、湖沼	湿原植生	霞ヶ浦・北浦湖沼群（霞ヶ浦・北浦・浮島湿原を含む）	マコモ - ヨシ群落、ミクリ群落など。浮島湿原：カモノハシ - ヨシ群落。
					ガン・カモ類	霞ヶ浦・涸沼湖沼群（霞ヶ浦・北浦・涸沼・菅生沼）	霞ヶ浦を含むこれらの湖沼群は、関東地方におけるガンカモ類の越冬地の中心的な存在となる。とりわけガン類にとっては、霞ヶ浦に隣接する水田地帯や旧河川および、霞ヶ浦自体が、関東地方で唯一の定期的なガン類（オオヒシクイ）の越冬地となっている。また涸沼、北浦、菅生沼もガン類の生息を可能とする環境が保持され、不定期にガン類が渡来する。菅生沼では2000/01越冬期も100羽前後のマガンの渡来が確認されている。霞ヶ浦：ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガモ、コガモ。北浦：オオホシハジロ。涸沼：希少種（ヒメハジロ）が見られることがある。菅生沼：コハクチョウ。
					淡水魚類	霞ヶ浦・北浦水系の河川・湖沼	小型コイ科魚類の生息地（在来タナゴ類など）。
					淡水貝類	霞ヶ浦	種の多様性が高い。
131	利根川下流部	茨城県、千葉県	茨城県鹿島郡神栖町・波崎町、千葉県香取郡小見川町、東庄町	河川敷	シギ・チドリ類	利根川下流部	波崎の砂浜、神栖・矢田部西前宿などの河川敷。チュウシャクシギ、ツルシギ、ミユビシギ、キョウジョシギ、ミヤコドリでは最小の推定個体数の1%以上、メダイチドリ、ハマシギ、キアシシギ、ムナグロでは0.25%以上が記録されている。
					その他鳥類	小見川・東庄	オオセッカの生息地。
132	スガオ 菅生沼	茨城県	岩井市、水海道市	湖沼	湿原植生	菅生沼	ヨシ群落、マコモ群落、カサスゲ群落、アカメヤナギ林。オニナルコスゲなど。
					ガン・カモ類	霞ヶ浦・涸沼湖沼群（霞ヶ浦・北浦・涸沼・菅生沼）	霞ヶ浦を含むこれらの湖沼群は、関東地方におけるガンカモ類の越冬地の中心的な存在となる。とりわけガン類にとっては、霞ヶ浦に隣接する水田地帯や旧河川および、霞ヶ浦自体が、関東地方で唯一の定期的なガン類（オオヒシクイ）の越冬地となっている。また涸沼、北浦、菅生沼もガン類の生息を可能とする環境が保持され、不定期にガン類が渡来する。菅生沼では2000/01越冬期も100羽前後のマガンの渡来が確認されている。霞ヶ浦：ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガモ、コガモ。北浦：オオホシハジロ。涸沼：希少種（ヒメハジロ）が見られることがある。菅生沼：コハクチョウ。
133	北茨城市地先海岸	茨城県	北茨城市	藻場	海藻	北茨城市地先沿岸	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。
134	伊師浜、小貝浜、高磯	茨城県	多賀郡十王町、日立市	藻場	海草	伊師浜	エビアマモの生育地。
						小貝浜、高磯	エビアマモの生育地。
135	那珂湊地先沿岸(大洗、平磯、阿字ヶ浦)	茨城県	ひたちなか市、東茨城郡大洗町	藻場	海草、海藻	那珂湊地先沿岸（阿字ヶ浦、平磯、大洗）	(大洗・平磯) エビアマモの生育地。(大洗・阿字ヶ浦) コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
136	渡良瀬遊水地	栃木県、群馬県、埼玉県	栃木県小山市、下都賀郡藤岡町・野木町、群馬県板倉町、埼玉県北川辺町	低層湿原、遊水地	湿原植生	渡良瀬遊水地	ヨシ群落、オギ群落、ウキヤガラ - マコモ群落、アカメヤナギ林など。
					昆虫類	渡良瀬遊水地	アオモンイトトンボ、ムスジイトトンボ、オオモノサシトンボ、サラサヤンマ、チョウトンボ、アカガネオサムシ、ワタラセハンショウモドキ、ババアメンボ等の生息地。ホンシュウオオイチモンジシマゲンゴロウ、セスジガムシ、オビヒメコメツキモドキ、ワタラセミズギワアリモドキなど独特な種やRDBに出ているような湿地特有の種が多く知られている。
137	那須山麓湿地群（高久甲、高久丙、小深堀、寺子丙、戸能など）	栃木県	那須郡那須町	湿地を含む半自然草原	昆虫類	那須山麓湿地群（高久甲、高久丙、小深堀、寺子丙、戸能など）	（高久甲）ゲンゴロウ、マルガタゲンゴロウ、ヒラタネクイハムシ、スゲハムシなどの生息地。（高久丙）ハッチョウトンボ、チャマダラセセリ、ヒメハバビロドロムシなどの生息地。シマゲンゴロウ、アサカミキリ、スゲハムシ、ガガブタネクイハムシ、ツヤネクイハムシ、オオルリハムシ、ヒウラアシナガハムシ等の甲虫類が生息する。周辺の草原には希少なブチヒゲツノヘリカメムシ（絶滅危惧I類）、ナカノテングスケバなども生息する。
138	大田原市の湧水湿地	栃木県	大田原市	湧水地、水路	淡水魚類	大田原市の湧水湿地	ミヤコタナゴ、陸封性イトヨの生息地。
139	鬼怒川河川敷（上沢前湿地）	栃木県	塩谷郡塩谷町	砂利採取跡の人工的湿地	昆虫類	鬼怒川河川敷（上沢前湿地）	ハッチョウトンボ、フトネクイハムシ、ババスケヒメゾウムシの生息地。種の多様性が高い。
140	鬼怒沼湿原	栃木県	塩谷郡栗山村	中間湿原、高層湿原	湿原植生	鬼怒沼湿原	ヌマガヤ - チャミズゴケ群落、ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、ホロムイスゲ - ヌマガヤ群落。
141	上河戸・河戸新田のため池群	栃木県	塩谷郡喜連川町	ため池	昆虫類	上河戸・河戸新田のため池群	アカガネネクイハムシの生息地。フトイ群落がみられ、アカガネネクイハムシの模式産地（タイプ産地）として知られる。その他の注目すべき種は、キンイロネクイハムシ、ヒラタネクイハムシ、ツヤネクイハムシ、スゲハムシ、オオルリハムシ、ジュウシホシツツハムシ、オゼイトトンボ、ハッチョウトンボなどがある。
142	中禅寺湖	栃木県	日光市	湖沼	淡水藻類	中禅寺湖	絶滅危惧 類のヒメフラスコモ、カタシャジクモ、シャジクモが生育。
143	湯の湖・戦場ヶ原・小田代ヶ原湿原	栃木県	日光市	高層湿原、湖沼	湿原植生	湯の湖・戦場ヶ原・小田代ヶ原湿原	ヌマガヤ - イボミズゴケ群落、オオアゼスゲ群落。
					淡水藻類	湯ノ湖	絶滅危惧 類のオオフラスコモ、カタシャジクモが生育。
144	弁天沼湿原	栃木県	今市市	湧水湿地	昆虫類	弁天沼	カラカネイトトンボ、ハッチョウトンボ、エサキアメンボ、コバンムシ、タガメ、キンイロネクイハムシなどの生息地。
145	長岡湿地	栃木県	宇都宮市	ハンノキ林湿地	昆虫類	長岡湿地	タガメ、ゲンジボタル、キンイロネクイハムシ、ハネビロエゾトンボの生息地。他に、クロマメゲンゴロウ、ヒゲブトハナムグリ、アカマダラコガネ、スジグロボタル、サラサヤンマ、ミルンヤンマ、ミドリシジミ、ウラゴマダラシジミなどが確認されている。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
146	コマニユウ 駒生湿地	栃木県	宇都宮市	湧水地	昆虫類	駒生湿地	湿地性・草原性種が豊富。このような湿地が宇都宮市内の市街地に温存されていることはきわめて貴重である。おもな注目すべき種としては、ハガクビナガゴミムシ、コウベツブゲンゴロウ、オオタクスイモドキ、ババヒメテントウ、ジョウザンホシテントウ、スゲハムシ、タテスジキツツハムシ、ジュウシホシツツハムシ、クロコトビハムシ、トラノオトビハムシ、クサレダマチビトビハムシ、タグチホソヒラタハムシ、シャープマメゾウムシ、オオケブカチョッキリ、ナカノテングスケバ、ハッチョウトンボ（安定した湧水環境に多産）、カヤキリなどが挙げられる。
147	草津周辺湿原群（芳ヶ平、富貴原ノ池、弓池など）	群馬県	吾妻郡草津町、吾妻郡六合村	高層湿原	湿原植生	草津周辺湿原群（芳ヶ平、富貴原ノ池、弓池など）	小池塘のヤチスゲ群落、エゾホソイ群落。
148	利根川源流山稜高層湿原群（平ヶ岳～巻機山～朝日岳）	群馬県、新潟県	群馬県利根郡水上町、新潟県南魚沼郡湯沢町・塩沢町・六日町、北魚沼郡湯之谷村	高層湿原、雪田草原	湿原植生	利根川源流山稜高層湿原群（平ヶ岳～巻機山～朝日岳）	ミヤマミズゴケ、イボミズゴケなどで特徴づけられる高層湿原、エゾホソイ群落などの小池塘の植生およびイワイチョウ、ハクサンコザクラなどの生育する雪田草原が発達している。
149	八瀬川	群馬県	太田市	河川	淡水藻類	八瀬川	絶滅危惧 類のアツカワオオイシソウ（紅藻）が多数生育。
150	大峰沼湿原	群馬県	利根郡月夜野町	高層湿原	湿原植生	大峰沼湿原	ミツガシワなど。浮島が多い。
151	狭山丘陵の湿地	埼玉県、東京都	埼玉県所沢市、入間市、東京都東大和市、武蔵村山市、西多摩郡瑞穂町	湧水地	昆虫類	狭山丘陵	オオムラサキ、ウラナミアカシジミ、アカシジミ、ハスオビアツバ、ムカシヤンマ、ミカドガガンボなどの生息地。
152	見沼代用水	埼玉県	行田市	水路	淡水藻類	見沼代用水	絶滅危惧 類のアツカワオオイシソウ（紅藻）が多数生育。
153	宝蔵寺沼	埼玉県	羽生市	湖沼	湿原植生	宝蔵寺沼	ムジナモの生育地。
154	犬吠埼周辺沿岸	千葉県	銚子市	藻場	海草、海藻	犬吠埼周辺沿岸	エビアマモの生育地。コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落（寒流系海藻の分布の南限域）。
155	小野川	千葉県	佐原市	河川	淡水藻類	小野川	絶滅危惧 類および日本固有種のアツカワオオイシソウ、アツカワオオイシソウ（紅藻）が多数生育。
156	はきだし沼	千葉県	野田市	湖沼	昆虫類	はきだし沼	オオセスジイトンボ、コバンムシの生息地。
157	九十九里浜（栗山川～新川）	千葉県	匝瑳郡野栄町	砂浜	シギ・チドリ類	九十九里浜（栗山川～新川）	春秋の渡り期の個体数が比較的多い。ミユビシギでは最小推定個体数の1%以上が記録されている。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
158	ジュンサイ池	千葉県	市川市	湖沼	淡水藻類	ジュンサイ池	絶滅危惧 類のイノカシラフラスコモが生育。
					昆虫類	ジュンサイ池	千葉県でオオルリボシヤンマを初確認。その他平地性トンボ、特に珍しいヤンマ類(マルタンヤンマ、ヤブヤンマ、クロスジギンヤンマ)が多い。
159	東京湾の干潟・浅瀬(盤洲干潟、富津干潟、三番瀬、谷津干潟、小櫃川河口、葛西、東京港野鳥公園、中央海浜公園、森ヶ崎、多摩川河口、野島海岸など) ラムサール条約登録湿地(谷津干潟)	千葉県、東京都、神奈川県	千葉県君津市、船橋市、市川市、習志野市、木更津市、袖ヶ浦町、富津市、東京都江戸川区、大田区、神奈川県川崎市、横浜市	前浜干潟、河口干潟のある河口域、塩性湿地、浅海域、藻場	海草	小櫃川河口	コアマモの生育地。
					シギ・チドリ類	小櫃川河口(盤洲干潟)	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、シロチドリ、キアシシギ、ハマシギでは最小推定個体数の1%以上、メダイチドリ、チュウシャクシギ、キョウジョシギ、ミユビシギ、ハマシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のチシマシギ、セイタカシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、ツバメチドリが記録されている。
					昆虫類	小櫃川河口	キイロホソゴミムシの唯一の生息地。ヨシ、シオクグなどの塩性湿地。
					底生動物	小櫃川河口ならびに盤洲干潟	東京湾最大の干潟・河口部には広い塩性湿地を伴い自然地形の保存が極めて良好。フトヘナタリ、ソトオリガイ、ウモレベンケイガニ、ハマガニの生息地。盤洲干潟にはアサリ、シオフキガイ、イボキサゴが生息する。
					海草	富津地先沿岸	東京湾に唯一まとまって残ったアマモ場(アマモ・コアマモ)。
					シギ・チドリ類	富津干潟	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多い。ミユビシギでは最小推定個体数の1%以上が記録されている。RDB種のチシマシギ、アカアシシギ、ホウロクシギが記録されている。
					底生動物	富津干潟	東京湾で最も湾口部の砂質干潟。アサリ、シオフキガイの生息地。大規模なアマモ場をともなう東京湾干潟の原形をとどめる。
					ガン・カモ類	東京湾(富津砂州、三番瀬、東京都分)	スズガモの渡来地。
					シギ・チドリ類	三番瀬	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ハマシギでは最小推定個体数の1%以上、ミヤコドリ、ダイゼン、メダイチドリ、キアシシギ、キョウジョシギ、ミユビシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギが記録されている。
					底生動物	三番瀬	東京湾奥部の最大の干潟、アサリなどの二枚貝類ならびにエドガワミズゴマツボの生息が豊富で東京湾の水の浄化機能も高い。
					シギ・チドリ類	谷津干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ハマシギでは最小推定個体数の1%以上、セイタカシギ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、キアシシギ、キョウジョシギ、ミユビシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のセイタカシギ、ホウロクシギ、アカアシシギが記録されている。
					淡水魚類	東京湾奥部の河口域	トビハゼ生息地の北限(小櫃川、養老川、江戸川、多摩川などの河口)。小櫃川河口干潟にはエドハゼ、チクゼンハゼ、マサゴハゼも生息。
底生動物	江戸川放水路	人工放水路であるが砂質から泥干潟そして一部ヨシからなる塩性湿地があり、オキシジミガイなどの閉鎖的な干潟の生物が豊富、またトビハゼの北限にあたる。					

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
159	東京湾の干潟・浅瀬（盤洲干潟、富津干潟、三番瀬、谷津干潟、小櫃川河口、葛西、東京港野鳥公園、中央海浜公園、森ヶ崎、多摩川河口、野島海岸など） ラムサール条約登録湿地(谷津干潟)	千葉県、東京都、神奈川県	千葉県君津市、船橋市、市川市、習志野市、木更津市、袖ヶ浦町、富津市、東京都江戸川区、大田区、神奈川県川崎市、横浜市	前浜干潟、河口干潟のある河口域、塩性湿地、浅海域、藻場	昆虫類	江戸川下流域	ヒヌマイトンボの生息地。
					シギ・チドリ類	葛西海浜公園	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多い。メダイチドリ、キョウジョシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のセイタカシギ、ホウロクシギが記録されている。
					シギ・チドリ類	東京港野鳥公園・中央海浜公園・森ヶ崎	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多い。RDB種のセイタカシギ、アカアシシギが記録されている。
					シギ・チドリ類	多摩川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多い。RDB種のセイタカシギが記録されている。
					底生動物	野島海岸	東京湾内湾神奈川県側唯一の自然干潟であり、オサガニ、マテガイやその他の東京湾干潟動物の生息地。
160	北総地域の谷津田、水路、湧水	千葉県	印西市、佐倉市、千葉市	河川、水路	淡水魚類	北総地域の谷津田、水路、湧水	在来タナゴ類（激減）、スナヤツメ、メダカ、ホトケドジョウ、ギバチの生息地。
					淡水貝類	北総地域の谷津田、水路、湧水	イシガイ類の生息地。
161	成東湿原	千葉県	山武郡成東町、東金市	その他の湿地	湿原植生	成東湿原	食虫植物群落（国の天然記念物）。
162	房総半島中部の谷戸（谷津）群	千葉県	君津市、安房郡鋸南町・富山町	その他の湿地	昆虫類	房総半島中部の谷戸（谷津）群	ゲンゴロウモドキが残存。ヒガシカワトンボ、シロバナカワトンボの生息地（高宕山、鋸山、富山など）。
163	房総丘陵の谷津田、湧水地	千葉県	君津市、市原市、夷隅郡大多喜町、勝浦市など	河川	淡水魚類	房総丘陵の谷津田、湧水	ホトケドジョウ、スナヤツメ、ギバチなどの生息地。
					淡水貝類	房総丘陵の河川	イシガイ類の生息地。
164	一宮川ならびに夷隅川河口干潟	千葉県	長生郡長生村・一宮町、夷隅郡岬町	河口干潟のある河口域、潟湖干潟	湿原植生	一宮川河口の塩湿地	ヨシ・シオクグ群落、ヨシ・イソヤマテンツキ群落。
					シギ・チドリ類	一宮川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、ミユビシギでは最小推定個体数の1%以上が記録されている。RDB種のアカアシシギが記録されている。
					底生動物	一宮川ならびに夷隅川河口干潟	九十九里浜から外房にかけての唯一に近い干潟であり関東太平洋岸における干潟生物の着底場として重要。主要ベントスとしては、ヒガタスナホリムシ、イソシジミガイ、オオノガイ、ヤマトオサガニ、コメツキガニなど。
165	館山湾	千葉県	館山市	藻場	海草	館山湾	アマモ、ウミヒルモの生育地（北限）。
166	館山波佐間、坂田	千葉県	館山市	サンゴ礁	サンゴ	館山波佐間、坂田	種の多様性が高い。
167	鵜原地先沿岸・鯛ノ浦	千葉県	勝浦市、安房郡天津小湊町	藻場	海藻	鵜原地先沿岸・鯛ノ浦	(鵜原)有節サンゴモ群落が発達。(鯛ノ浦)ヒラクサ(群落発達、群落としては北限)、ヤハズグサ、ミヤヒバ、ビリヒバ、エゾシコロ、オオシコロ、フサカニノテ、ヘリトリカニノテの生育地。
168	多摩丘陵地帯の湧水湿地	東京都	青梅市、西多摩郡日の出町、あきる野市、八王子市	湧水湿地	爬虫両生類	多摩丘陵地帯の湧水地	トウキョウサンショウウオ（種として日本固有）の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
169	八丈島周辺沿岸	東京都	八丈町	藻場	海藻	八丈島周辺沿岸	八丈島のアントクメ。コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。
170	式根島足附港周辺	東京都	新島村	藻場	海藻	式根島足附港周辺	アントクメ、ヒジキ（伊豆七島では唯一の群落）、ヤツタタモク、アカモク、コブクロモク、マクサなど。海中林、ヒジキ群落、テングサ場。
171	父島・母島の河川	東京都	小笠原村	河川	淡水魚類	父島・母島の河川	オガサワラヨシノボリ、チチブモドキの生息地。
					淡水貝類	父島の小河川	オガサワラカワニナ（準絶滅危惧）の生息地。
172	小笠原諸島周辺の砂浜海岸および周辺浅海域	東京都	小笠原村	砂浜、浅海域、サンゴ礁、干潟	サンゴ	小笠原群島	エプロン礁。希少種を含み、自然度が高い。
					ウミガメ	小笠原諸島	小笠原諸島は南西諸島に並ぶアオウミガメの繁殖地である。その中でも最も多く産卵が行われるのが初寝の砂浜である。その砂浜に至る海域として重要である。南島はアーチ状の岩穴をくぐって砂浜に至る産卵場として世界でも唯一の場所である。アオウミガメの産卵生態、行動を考える上でも貴重と思われる。
					底生動物	小笠原諸島周辺の干潟群	オガサワラスガイなど固有種の生息地。
173	芦ノ湖	神奈川県	足柄下郡箱根町	湖沼	淡水藻類	芦ノ湖	絶滅危惧 類のヒメフラスコモ、カタシャジクモ、シャジクモ、キヌフラスコモが生育。
					淡水貝類	芦ノ湖	種の多様性が高く、ニホンミズシタダミ（絶滅危惧 類）の生息地。ニホンマメシジミ。
174	仙石原湿原	神奈川県	足柄下郡箱根町	低層湿原	湿原植生	仙石原湿原	国の天然記念物。オオミズゴケ、コイヌノハナヒゲ、イトイヌノヒゲ。
					昆虫類	仙石原	オオルリハムシ、ケスジドロムシの生息地。カタツムリトビケラの北限分布地。
175	三浦半島の湾・入江干潟および沿岸（小田和湾、諸磯湾、油壺湾、小網代湾、江奈湾、大浦海岸、城ヶ島、劔崎、三浦海岸、観音崎など）	神奈川県	三浦市、横須賀市	入江干潟、塩性湿地、藻場	海藻	観音崎周辺沿岸	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。
					海草、海藻	油壺湾・諸磯湾・三浦海岸・小網代湾・江奈湾・大浦海岸	(油壺湾・諸磯湾)アマモ、タチアマモ（南限）、ヒロハクロメ（ここと八幡浜市地大島にのみ生育）、カジメ、ノコギリモクの近縁種、海中林。(三浦海岸・小網代湾)タチアマモの生育地。(江奈湾・大浦海岸・三浦海岸)コアマモの生育地。
					海藻	毘沙門～劔崎沿岸	亜熱帯性海藻の北限域。種の多様性が高い。
					海草、海藻	小田和湾	アマモ、タチアマモ、コアマモ、アラメ、クロメ、カジメ、ノコギリモクの近縁種、アナアオサ、リボンアオサ、ウミヒルモ（北限の可能性）の生育地。
					底生動物	小網代湾	自然林間の河川、河口、入江の水系として連続した自然形状の保存が極めて良好でアカテガニやモクスガニなど両側回遊性の動物が豊富。
					底生動物	江奈湾	ヨシ群落の塩性湿地が発達する入江干潟。ホソウミニナ、ヤマトオサガニ、チゴガニなどの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
176	相模川河口（干潟）	神奈川県	平塚市	河口干潟のある河口域	底生動物	相模川河口干潟	相模湾奥部唯一の干潟で、相模湾での干潟動物の着底場として重要。
177	真鶴岬周辺沿岸	神奈川県	足柄下郡真鶴町	藻場	海藻	真鶴岬周辺沿岸	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。
178	苗場山周辺湿原（苗場山湿原、小松原湿原など）	新潟県、長野県	新潟県中魚沼郡津南町・中里村、南魚沼郡湯沢町、長野県下水内具都栄村	高層湿原、雪田草原	湿原植生	苗場山周辺湿原（苗場山湿原、小松原湿原など）	ヌマガヤ群落、イワイチョウ - ショウジョウスゲ群落、ヤチスゲ群落、ミヤマホタルイ群落など。
179	佐渡島北部沿岸	新潟県	両津市他	藻場	海藻	佐渡島北部沿岸	日本海に点在する島嶼では最大の藻場（7000ha）を有する。
180	佐渡島南部沿岸	新潟県	佐渡郡真野町他	藻場	海藻	佐渡島南部沿岸	エチゴネジモク（最も大きな群落、佐渡島、粟島、飛島だけに分布）。
181	地本湧水	新潟県	北蒲原郡中条町	湧水地	湿原植生	地本湧水	海岸約2km、標高8mのミズバショウ群生地、準絶滅危惧種ミクリ。なお、近くにも胎内川扇状地湧水が多く、イバラトミヨ、ホトケドジョウ（淡水魚類）や、シャープゲンゴロウモドキ（昆虫類）も生息。
182	信濃川および阿賀野川の最下流域	新潟県	新潟市	河川	淡水魚類	信濃川、阿賀野川および福島潟のウケクチウグイ生息地	ウケクチウグイの生息地。
					昆虫類	松浜の池	オオセスジイトトンボ、オオモノサントンボ、マダラヤンマ、タイリクアキアカネ、オナガアカネ、チョウトンボなどの生息地。
183	魚沼地方のシナイモツゴ生息地	新潟県	十日町市、小千谷市、中魚沼郡中里町・津南町、南魚沼郡六日町、東頸城郡松之山町	池沼、ため池	淡水魚類	魚沼地方のシナイモツゴ生息地	魚沼地方のシナイモツゴの生息する池沼、ため池群。
184	妙高高原周辺湿原（イモリ池湿原、高谷池湿原など）	新潟県	中頸城郡妙高高原町、妙高村	高層湿原、低層湿原	湿原植生	妙高高原周辺湿原（イモリ池湿原、高谷池湿原など）	ミカツキグサ - ミヤマイヌノハナヒゲ群落、リュウキンカ - ミズバショウ群落、イワイチョウ - ショウジョウスゲ群落など。
					昆虫類	妙高高原周辺湿原（沼湿原、イモリ池湿原、高谷池湿原など）	メススジゲンゴロウの生息地。
185	佐潟 ラムサール条約登録湿地	新潟県	新潟市	湖沼	湿原植生	佐潟	ヨシ群落、オニバス自生地北限付近。
					ガン・カモ類	佐潟	コハクチョウ、ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）、マガンの渡来地。
186	三和村ため池群	新潟県	中頸城郡三和村	ため池	水草	三和村ため池群	三和村島倉地区の谷内池はオニバス、ミズオオバコ等が多産し種の多様性が高いが、他にも良好な自然環境を残す池が多い。
187	朝日池・鶴の池	新潟県	中頸城郡大潟町	湖沼	ガン・カモ類	朝日池・鶴の池	ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）の渡来地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
188	鳥屋野潟	新潟県	新潟市	湖沼	ガン・カモ類	鳥屋野潟	コハクチョウ、ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガモの渡来地。
					淡水貝類	鳥屋野潟	ヒダリマキモノアラガイ、カワネジガイなどの生息地。
189	福島潟、瓢湖	新潟県	豊栄市、北蒲原郡水原町	湖沼	湿原植生	福島潟	ヨシ群落、マコモ群落、オニバス自生地北限。
					ガン・カモ類	福島潟、瓢湖	コハクチョウ、ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)の渡来地。
					淡水魚類	信濃川、阿賀野川および福島潟のウケクチウグイ生息地	ウケクチウグイの生息地。
190	柏崎沿岸(宮川～椎谷)	新潟県	柏崎市	藻場	海藻	柏崎沿岸(宮川～椎谷)	ウスイロモク、フシトモク、フシスジモク、カタツルモChorda rigida(希産種、最大の群落)、イシモズク。それぞれの純群落が砂地に点在する平坦な岩盤において砂面からの比高に応じて成立。
191	白馬岳周辺湿地群(朝日岳～唐松岳の雪田、白馬大池、八方池、長池などの高山湖沼、かもしか平、兵馬の平、天狗原湿原、梅池湿原、八方尾根湿原など)	新潟県、長野県、富山県	新潟県糸魚川市、長野県北安曇郡小谷村・白馬村、富山県上新川郡朝日町・宇奈月町	中間湿原、高層湿原、雪田草原、高山湖沼	湿原植生	白馬岳周辺湿地群(朝日岳～唐松岳の雪田、白馬大池、八方池、長池などの高山湖沼、かもしか平、兵馬の平、天狗原湿原、梅池湿原、八方尾根湿原など)	イワイチョウ・ショウジョウスゲ群落、ヌマガヤ群落、ミカツキグサ・ミヤマイヌノハナヒゲ群落など。
					昆虫類	白馬岳周辺湿地群(朝日岳、白馬大池、天狗原湿原、梅池自然公園、八方山湿原、とおみ湿原、ガクモ原など)	エゾイトトンボ、ルリボシヤンマ、オオルリボシヤンマ、カオジロトンボの生息地。
192	河口湖	山梨県	南都留郡河口湖町・勝山村・足和田村	湖沼	淡水藻類	河口湖	絶滅危惧 類のヒメフラスコモ、カタシャジクモ、シャジクモが生育。
193	山中湖	山梨県	南都留郡山中湖町	湖沼	淡水藻類	山中湖	絶滅危惧 類のヒメフラスコモ、カタシャジクモ、シャジクモが生育。
194	忍野村湧水群	山梨県	南都留郡忍野村	湧水地	水草	忍野村湧水地群	富士山麓の湧水地の植生。忍野八海自体は観光地化が進み変化が著しく、周辺の水路も含め要注目。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
195	木崎湖周辺湖沼・湿地群（落倉湿原、居谷里湿原、唐花見湿原、姫川源流（親海湿原）、木崎湖、中綱湖、青木湖、農具川など）	長野県	大田市、北安曇郡白馬村・八坂村	低層湿原、湖沼、湧水	湿原植生	木崎湖周辺湖沼・湿地群（居谷里湿原、唐花見湿原、姫川源流（親海湿原）、中綱湖など）	ハナノキ、アサザ、フクジュソウ、ザゼンソウ、ミズバショウ、バイカモなど。
					爬虫両生類	落倉湿原およびその周辺	ハクバサンショウウオ（日本固有種）の生息地。
					昆虫類	居谷里湿原	ネクイハムシ、オゼイトトンボ、サラサヤンマ、ハッチョウトンボ、モイワサナエ、ヒメクロサナエの生息地。
					昆虫類	木崎湖周辺湖沼・湿地群（落倉湿原、居谷里湿原、唐花見湿原、姫川源流（親海湿原）、木崎湖、中綱湖、青木湖、農具川など）	エゾイトトンボ、オゼイトトンボ、サラサヤンマ、アオヤンマ、ルリボシヤンマ、オオルリボシヤンマ、カラカネトンボ、ハッチョウトンボ、ヒメアカネ、キトンボの生息地。
					淡水貝類	仁科三湖（青木湖、中綱湖、木崎湖、農具川）	キザキコミズシタダミ、ヒダリマキモノアラガイ（絶滅危惧 類）、カワシンジュガイ（絶滅危惧 類）の生息地。
					淡水貝類	居谷里湿原	カワシンジュガイ（絶滅危惧 類）の生息地。
196	霧ヶ峰湿原群（八島ヶ原湿原、踊場湿原、車山湿原など）	長野県	諏訪市、諏訪郡下諏訪町	高層湿原	湿原植生	霧ヶ峰湿原群（八島ヶ原湿原、踊場湿原、車山湿原など）	ヌマガヤ - チャミズゴケ群落、ヌマガヤ - イボミズゴケ群落など。ホロムイソゲ、ミカツキグサなど。
					昆虫類	霧ヶ峰湿原群（八島ヶ原湿原、池のくろみ湿原、車山湿原、霧ヶ峰湿原、科ノ木湿原など）	尾瀬ヶ原と並ぶ高層湿原。高山性のルリイトトンボ、カラカネトンボの生息地。
197	志賀高原周辺湿原群（四十八池湿原、田ノ原湿原、高天ヶ原・一ノ瀬湿原、焼額山湿原、北ドブ湿原、一沼など）	長野県	下高井郡山ノ内町・木島平村	高層湿原	湿原植生	志賀高原周辺湿原群（四十八池湿原、田ノ原湿原、高天ヶ原・一ノ瀬湿原、焼額山湿原、北ドブ湿原、一沼など）	ミカツキグサ - ミヤマイヌノハナヒゲ群落、ヌマガヤ群落、ヒルムシロ群落、ミズゴケ群落など。
					昆虫類	志賀高原周辺湿原群	キイロマツモムシの南限生息地。エゾイトトンボ、ルリイトトンボ、ヒメクロサナエ、クロサナエ、モイワサナエ、ルリボシヤンマ、オオルリボシヤンマ、カラカネトンボ、カオジロトンボなどの生息地。
198	乗鞍岳湿原	長野県	南安曇郡安曇村	高層湿原	昆虫類	乗鞍高原	高山性トンボの宝庫。エゾイトトンボ、ルリイトトンボ、ルリボシヤンマ、オオルリボシヤンマ、カラカネトンボ、エゾトンボ、ホソミモリトンボ、ムツアカネ、カオジロトンボの生息地。高山性トンボ全14種のうちの10種（71%）を占める。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
199	安曇野 ^{タデガワ} 蓼川周辺湧水河川	長野県	南安曇郡穂高町	河川	水草	安曇野蓼川周辺湧水河川	バイカモ、ミクリ類、陸上植物の沈水形が群生し、湧水性植生の典型。
200	黒姫山湖沼・湿原群（黒姫山大池、種池、古池、御鹿池、古池湿原、大だるみ湿原、御鹿池湿原、赤谷地湿原など）	長野県	上水内郡信濃町	低層湿原、中間湿原、湖沼	湿原植生	黒姫山湖沼・湿原群（黒姫山大池、種池、古池、御鹿池、古池湿原、大だるみ湿原、御鹿池湿原、赤谷地湿原など）	ヨシ・ミズバショウ群落ほか。種池は人工構造物のない天然池。水草が豊富。アサザ、ジュンサイ、ヒツジグサ、ハイハマボッサなど。
201	逆サ川	長野県	上水内郡戸隠村	河川	淡水貝類	逆サ川	カワシンジュガイ（絶滅危惧類）の多産地。この個体群はヤマメからイワナへ寄主転換しているという特異性がある。
202	茶臼山周辺ため池群	長野県	長野市	水田、ため池	淡水魚類	茶臼山周辺ため池群	シナイモツゴの大規模生息地。
203	立山周辺湿原群（弥陀ヶ原湿原、五色ヶ原、大日平湿原など）	富山県	上新川郡大山町、中新川郡立山町	高層湿原、中間湿原、雪田草原	湿原植生	立山周辺湿原群（弥陀ヶ原湿原、五色ヶ原、大日平湿原など）	ヤチカワズゲ - キダチミズゴケ群落、ダケスゲ群落、ミヤマホタルイ群落、ヌマガヤ群落など。
204	富山湾	富山県	下新川郡入善町、黒部市、魚津市、滑川市、富山市、新湊市、高岡市、氷見市	藻場	海藻	富山湾東部	海中洞門などの景観、希少種分布。ガラモ場。
					海藻	富山湾西部	県最大。種数も県内最多。ウスイロモクの生育地。
205	氷見市周辺の河川・ため池群	富山県	氷見市	ため池、河川、湖沼	湿原植生	宮田地区ため池群	ウキヤガラ - マコモ群落など。
					淡水魚類	十二町瀧周辺の河川と湖沼	在来タナゴ類（イタセンバラ、アカヒレタビラ、ヤリタナゴ）、シンジコハゼの生息地。
					昆虫類	宮田地区ため池群	ネアカヨシヤンマ、マダラヤンマ、マルタンヤンマ、チョウトンボ、オナガアカネ、タイリクアキアカネ、ハッチョウトンボの生息地。
206	能登半島の低地湿原	富山県、石川県	富山県富山市ほか1市2郡、石川県羽咋市ほか2市3郡	その他の湿地	爬虫両生類	能登半島丘陵地のホクリクサンショウウオ生息地	ホクリクサンショウウオ（日本固有種）の生息地。
					昆虫類	能登半島の低地湿原	シャープゲンゴロウモドキ、ナガケシゲンゴロウの生息地。
207	七尾湾	石川県	七尾市、鹿島郡中島町・能登島町・田鶴浜町、鳳至郡穴水町	藻場	海草、海藻	七尾湾	日本海内湾の大規模アマモ場。スゲアマモの分布最南端（アマモ・スゲアマモ）。ウミヒルモ、イトヨレモク（北限、他の地域では瀬戸内海の数カ所に分布）、ウスイロモク（南限）、スギモク、カタツルモ（南限）、ホソエガサ。希少種が多い。
					底生動物	七尾湾	ウミニナ、ホソウミニナ、イボウミニナの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
208	能登半島西海岸および湖沼群 (邑知潟、高松～河北海岸、河北潟)	石川県	河北郡宇ノ気町・津幡町・内灘町・七塚町、金沢市、羽咋市、羽咋郡押水町	水田、休耕田、ハス田、潟湖、砂浜、その他の湿地	シギ・チドリ類	河北潟	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、チュウシャクシギ、ツルシギでは最小推定個体数の1%以上が記録されている。RDB種のアカアシシギ、ツバメチドリ、オオジシギが記録されている。
					シギ・チドリ類	高松海岸	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、キアシシギ、ミユビシギでは最小推定個体数の1%以上、キアシシギ、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のカラフトアオアシシギ、ホウロクシギが記録されている。
					ガン・カモ類	能登半島西岸湖沼群 (邑知潟、河北潟)	コハクチョウ、マガモ、ヒドリガモ、トモエガモ、コガモ、マガンの渡来地。
209	白山の湿原・雪田草原	石川県、岐阜県	石川県石川郡白峰村・尾口村・吉野谷村、岐阜県大野郡白川村	雪田草原	湿原植生	白山の湿原・雪田草原	当地を模式産地とする植物が多い。ハクサンコザクラなどの高山性の植物には、白山を日本における分布の西限とする種が多い。クロユリの群落は大規模で特筆される。
210	片野鴨池 ラムサール条約登録湿地	石川県	加賀市	休耕田、放棄水田、水田	ガン・カモ類	片野鴨池	マガン、トモエガモの渡来地。
					昆虫類	片野鴨池	フチムラサキメイガ、チュウブホソガムシ、マルケシゲンゴロウ、アオヤンマ、トラフトンボなど湿地や池に由来する種が多く、平地で少なくなった種がまだ残存している。
211	内浦町地先沿岸	石川県	珠洲郡内浦町	藻場	海藻	内浦町地先沿岸	ガラモ場。種類・希少種県内最多。
212	触倉島・七ツ島周辺沿岸	石川県	輪島市	藻場	海藻	触倉島・七ツ島周辺沿岸	ガラモ場。調査例少ないが、暖海性希少分布種が多いと予想される。
213	能登半島西部沿岸	石川県	輪島市、羽咋郡	藻場	海藻	能登半島西部沿岸	ガラモ場。ウップルイノリ、クロノリ。人工的に造成された「ノリの畑」が多い、海の里山的存在。アマノリ群落。
214	ガンの池	石川県	珠洲市	湖沼	ガン・カモ類	ガンの池	コハクチョウ、ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガン、マガモの渡来地。
215	大野市の湧水	福井県	大野市	湧水地	淡水魚類	大野市の湧水	陸封性イトヨの生息地(本願清水(ホンガンショウズ))。
216	武生市の湧水	福井県	武生市	湧水地	淡水魚類	武生市の湧水	トミヨ生息地の南限。
217	武生市周辺のアベサンショウウオ生息地	福井県	武生市	湧水地等	爬虫両生類	武生市周辺のアベサンショウウオ生息地	アベサンショウウオ(日本固有種)の生息地。
218	北潟湖	福井県	坂井郡金津町・芦原町	汽水湖沼	ガン・カモ類	北潟湖	マガン、ヒドリガモ、マガモの渡来地。
219	九頭竜川下流域および流域湖沼 (九頭竜川、大堤)	福井県	坂井郡三国町・芦原町・坂井町	河川、湖沼	ガン・カモ類	九頭竜川	ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、マガンの渡来地。
					ガン・カモ類	大堤	マガモ、トモエガモ、コガモの渡来地。トモエガモが多い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
220	中池見	福井県	敦賀市	水田、休耕地、放棄水田	水草	中池見湿地	水田耕作と結びついた多くの希少水生植物（ミズアオイ、デンジソウ、ミズワラビ、イトトリゲモ等）が生育。5万年前の植生変遷を記録した60mの泥炭堆積物を確認。開発計画は当面中断の状況にある。植生の変化が進みつつあり、要注目。
					昆虫類	中池見湿地	ハッチョウトンボ、サラサヤンマ、ネアカヨシヤンマ、ナカイケミヒメテントウ、ヤノトラカミキリ等の生息地。
221	池ノ河内湿原	福井県	敦賀市	低層湿原	湿原植生	池ノ河内湿原	ハンノキ林。マアザミ、ヒメザゼンソウ、ヤナギトラノオなど。
					昆虫類	池ノ河内	ミドリシジミ、ムナグロチャイロテントウ、アラキシロホシテントウなどの生息地。
222	三方五湖	福井県	三方郡三方町・美浜町	汽水湖沼、湖沼	淡水魚類	三方五湖	ハス、タモロコ、ナガブナの生息地。
223	養老地域の湧水群	岐阜県	養老郡養老町、海津郡南濃町、大垣市	湧水地	淡水魚類	養老地域の湧水群	ハリヨ、スナヤツメ、ホトケドジョウの生息地。
					淡水貝類	養老地域の湧水群	種の多様性が高い。イシガイ類、マメシジミ類の生息地。
224	アモウ 天生湿原	岐阜県	吉城郡河合村	高層湿原	湿原植生	天生湿原	高層湿原の存在位置、北方寒冷地植物の遺存地として貴重。ミヤマタムラソウ、カワズスゲ、ヒダキセルアザミ、エゾノヨツバムグラ（南限）、ニッコウキスゲ（西限）、ミタケスゲ（南限）、エゾリンドウ（南限）。
225	沖ノ洞・上ノ洞	岐阜県	恵那市	その他の湿地	昆虫類	沖ノ洞・上ノ洞	ハッチョウトンボ、ギフチョウ、グンバイトンボの生息がみられる。
226	大湫	岐阜県	瑞浪市	その他の湿地	昆虫類	大湫	ハッチョウトンボ、ギフチョウ、グンバイトンボの生息がみられる。
227	津保川流域の農業用水系	岐阜県	関市	水路	淡水貝類	津保川流域の農業用水系	種の多様性が高い。イシガイ類、カワニナ類、基眼類。
228	前沢湿地・須衛湿地	岐阜県	可児郡御嵩町、各務原市	その他の湿地	昆虫類	前沢湿地・須衛湿地	ゲンジボタル、ヒメタイコウチ、ヒメヒカゲ、ハッチョウトンボなどの生息地。
229	木曾三川合流の河川・水路・ため池群	岐阜県、愛知県	岐阜県海津郡南濃町・海津町、養老郡養老町、大垣市、本巣郡巣南町、羽島市、岐阜市、羽島郡川島町、愛知県津島市、葉栗郡木曾川町など	河川、池沼、ため池、水路	水草	木曾三川地域の水路・ため池群	長良川と揖斐川にはさまれた水郷地帯。オニバス、サンショウモ、トチカガミなど急減している水生植物が生育。
					淡水魚類	木曾三川合流の河川・水路・ため池群	イタセンバラ、デメモロコの生息地。
230	長良川・木曾川水系のサツキマス、ネコギギ生息地	岐阜県		河川	淡水魚類	長良川・木曾川水系のサツキマス、ネコギギ生息地	サツキマスの自然個体群（長良川水系）、ネコギギ（長良川、木曾川水系中流域：美濃加茂市、七宗町など）の生息地。
231	初島周辺沿岸	静岡県	熱海市	藻場	海藻	初島周辺沿岸	オバクサ、オオブサ、マクサ、オニクサ。テングサ群落が発達。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
232	伊豆半島南東部（白浜～田牛）沿岸	静岡県	下田市	藻場	海藻	伊豆半島南東部（白浜～田牛）沿岸	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。カジメ。ヨレモクの近縁種（未記載）、マメタワラ、アラメ、カジメなど。磯焼けが周辺地域で発生しても影響を受けていない。海中林（注）この藻場はアオウミガメの採食海域である可能性が高いと思われ、要注目。
233	逢瀬が浜	静岡県	賀茂郡南伊豆町	藻場	海藻	逢瀬が浜	ヨレモクの近縁種（未記載）、マメタワラ、アラメ、カジメなど。磯焼けが周辺地域で発生しても影響を受けていない。海中林。
234	伊豆ヒリド、トナイ、中木港付近	静岡県	賀茂郡南伊豆町	サンゴ礁	サンゴ	伊豆ヒリド、トナイ、中木港付近	種の多様性が高い。
235	伊豆半島西部沿岸	静岡県	賀茂郡松崎町・西伊豆町	藻場	海藻	伊豆半島西部沿岸	ガラモ、アントクメなどと混在し、地先の生物多様性が高い、テングサ生育地（注）この藻場はアオウミガメの採食海域である可能性が高いと思われ、要注目。
236	柿田川	静岡県	駿東郡清水町	湧水、河川	水草	柿田川	富士山麓の湧水によって成り立つ植生。ヒンジモとミシマバイカモは特に重要。
					淡水魚類	柿田川	アユカケ、ウツセミカジカ（カジカ小卵型）、ホトケドジョウの生息地。
237	アサハタ麻機湿地	静岡県	静岡市	遊水地	水草	麻機湿地	遊水地であるが全国最大のミズアオイ自生地。、タコノアシ、オオアブノメはじめ絶滅危惧種多い。
238	大井川中流域	静岡県	榛原郡中川根町・川根町	その他の湿地	昆虫類	大井川中流域	ミヤマシジミ、ツマグロキチョウ、コムラサキ、カワラバッタなどの生息地。
239	御前崎周辺沿岸	静岡県	榛原郡御前崎町	藻場	海藻	御前崎周辺沿岸	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。
240	遠州灘海岸	静岡県、愛知県	静岡県榛原郡御前崎町、小笠郡浜岡町・大東町・大須賀町、磐田郡浅羽町・福田町・竜洋町、磐田市、浜松市、浜名郡舞阪町・新居町、湖西市、愛知県豊橋市、渥美郡田原町・赤羽根町・渥美町	砂浜、浅海域	ウミガメ	遠州灘海岸の沖	アカウミガメの主要な産卵地である。
241	桶ヶ谷沼・鶴ヶ池	静岡県	磐田市	中間湿原、低層湿原、湖沼、沼沢地	湿原植生	桶ヶ谷沼・鶴ヶ池	ヨシが主体の沼沢地植物群落。ヨシ群落、マコモ群落、アゼスゲ群落など。タヌキモ、オニバス等、県下ではほとんど見られなくなった貴重な水生植物が多く生育する。
					昆虫類	桶ヶ谷沼・鶴ヶ池	コバネアオイトトンボ、ベッコウトンボ（絶滅危惧類）。ベッコウトンボの本州で唯一の多産地。コバンムシ、エサキアメンボ、ホッケミズムシ（いずれも準絶滅危惧種）の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
242	浜名湖	静岡県	浜名郡舞阪町・雄踏町・新居町、浜松市、引佐郡細江町・三ヶ日町、湖西市	潟湖干潟のある汽水湖沼、藻場	海草	浜名湖	本州太平洋岸中部の潟性湖アマモ場の典型。広大な汽水域に成立した藻場（アマモ）。
					底生動物	浜名湖	豊かなベントス相、アサリの好生息地、イボキサゴの量産地であるほか、キンランカノコ、サザナミツボ、ユウシキガイなど希少種を産する。
243	イモウ 葦毛湿原・湖西地方の湿地	静岡県、愛知県	静岡県湖西市、愛知県豊橋市	湧水湿地	湿原植生	湖西地方の湿地	モウセンゴケ科、タヌキモ科の食虫植物やクロミノシゴリなど湿生植物が多様。
					湿原植生	葦毛湿原	多様な植物群落によって構成され、その中に固有種も多く見られる。
					昆虫類	葦毛湿原・湖西地方の湿地	ムカシヤンマ、ハッチョウトンボ、ギフチョウ、ヒメタイコウチ、ヒメヒカゲ、ウラナミジャノメ、ミカワオサムシの生息地。
244	伊良湖岬周辺沿岸	愛知県	渥美郡渥美町	藻場	海藻	伊良湖岬周辺沿岸	コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。
245	濃尾平野外縁部のウシモツゴ生息地	愛知県、岐阜県	愛知県豊田市、小牧市、西尾市、日進市、愛知県長久手町、犬山市、岐阜県関市、美濃市	氾濫原、ため池	淡水魚類	濃尾平野外縁部のウシモツゴ生息地	ウシモツゴの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
246	三河湾（伊川津、汐川干潟、神野新田、矢作古川河口、一色干潟、矢作川河口、佐奈川河口など）	愛知県	豊橋市、渥美郡田原町・渥美町、幡豆郡一色町、蒲郡市、知多郡武豊町	休耕田、前浜干潟、河口干潟のある河口域、潟湖、藻場	海草	三河湾	一色干潟、神野新田沖などに広大なアマモ場（アマモ、コアマモ）。
					シギ・チドリ類	神野新田	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、ケリでは最小推定個体数の1%以上が記録されている。RDB種のセイタカシギ、ホウロクシギ、オオジシギ、ツバメチドリが記録されている。
					シギ・チドリ類	汐川干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ケリ、ダイゼン、ハマシギでは最小推定個体数の1%以上、ミヤコドリ、メダイチドリ、チュウシャクシギ、ツルシギ、キョウジョシギ、キアシシギ、トウネンでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のコシャクシギ、セイタカシギ、ホウロクシギ、アカアシシギ、オオジシギが記録されている。
					シギ・チドリ類	伊川津（福江干潟）	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、ケリ、メダイチドリ、キアシシギ、キョウジョシギ、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギ、アカアシシギ、ツバメチドリが記録されている。なお、新堀川河口にはシバナ、ハマツナ、フクド、ハマサジなど塩性湿地固有の植物群落が見られる。
					シギ・チドリ類	矢作古川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、ケリでは最小推定個体数の1%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギ、ツバメチドリが記録されている。
					シギ・チドリ類	矢作川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、ケリ、ハマシギでは最小推定個体数の1%以上、メダイチドリ、チュウシャクシギ、ツルシギ、キョウジョシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギ、ツバメチドリが記録されている。
					底生動物	汐川干潟	豊富なベントス相。オオノガイ、ヤミヨキセワタ、イボウミニナ、ヒロクチカノコ、ヒナユキスズメ、キヌカツギハマシイノミ、オカミミガイ、ワカウラツボ、ウモレベンケイガニといった希少種を多産する。
					底生動物	矢作川河口	広大な塩性湿地を有し、塩性湿地固有の豊富な巻貝類が生息する。
					底生動物	佐奈川河口	オカミミガイ類、カワザンショウ類、ウミニナ類など塩性湿地固有の腹足類（巻貝）が多数生息する。
底生動物	三河湾	有明海に次ぐアサリの生息地。					
247	ツクデ 作手中間湿原群（長ノ山湿原など）	愛知県	南設楽郡作手村	中間湿原	湿原植生	作手中間湿原群（長ノ山湿原など）	愛知では数少ない泥炭の堆積が見られる湿地。
					昆虫類	作手中間湿原群	長ノ山湿原と称されている。ヒメヒカゲ、グンバイトンボ（激減）、オジロサナエ、ハッチョウトンボ、オオヒカゲ、ヒメシジミ、ゴマシジミなどの生息地。
248	豊田市周辺中間湿原群（北山湿地、矢並湿地、伊保湿地など）	愛知県	豊田市、岡崎市	中間湿原	湿原植生	豊田市周辺中間湿原群（北山湿地、矢並湿地、伊保湿地など）	ヌマガヤ群落など。
					昆虫類	愛環鉄道北側（伊保湿原など）	ヒメヒカゲ、ウラナミジャノメの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
249	伊勢湾（藤前干潟、常滑沖、鈴鹿川・雲出川・櫛田川・菟川・愛宕川・金剛川の各河口）	愛知県、三重県	愛知県名古屋市、常滑市、三重県四日市市、津市、一志郡香良洲町、松阪市、多気郡明和町	河口干潟のある河口域、塩性湿地、藻場	海草	常滑沖	アマモ場。
					シギ・チドリ類	藤前干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ダイゼン、ハマシギでは最小推定個体数の1%以上、ケリ、シロチドリ、メダイチドリ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ツルシギ、アオアシシギ、ソリハシシギ、キアシシギ、キョウジョシギ、トウネンでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギ、アカアシシギが記録されている。
					シギ・チドリ類	鈴鹿川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、ミユビシギでは最小推定個体数の1%以上、シロチドリでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。
					シギ・チドリ類	雲出川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、キアシシギ、ハマシギでは最小推定個体数の1%以上、ミヤコドリでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギ、オオジシギが記録されている。
					シギ・チドリ類	愛宕川河口～櫛田川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、キアシシギ、チュウシャクシギでは最小推定個体数の1%以上、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギ、アカアシシギが記録されている。
					底生動物	藤前干潟	アナジャコやエドガワミズゴマツボの生息地。
底生動物	雲出川河口、櫛田川河口、愛宕川河口、金剛川河口、菟川河口	塩性湿地が豊富で、地形的にも多様。塩性湿地固有の豊富な巻貝類（オカミミガイ、ウスコミミガイ、クリイロコミミガイ、ヒロクチカノコなど）。					
250	菟川	三重県	松阪市、多気郡明和町・多気町	河川	淡水魚類	菟川	在来タナゴ類ほか淡水性の在来魚種の多様性が高い。
					淡水貝類	菟川	種の多様性が高い。イシガイ類の生息地。
251	志摩半島南部沿岸（大王町～南島）	三重県	志摩郡大王町・志摩町、度会郡南勢町	藻場	海草、海藻	志摩半島南部沿岸（大王町～南島）	（大王崎）サガラメ、カジメ、オオバノコギリモク（南限；1995年ころ宮崎県川南町で絶滅のため）など・海中林。（多曾浦）ナガシマモク（志摩半島特産）、ヘラナラサモ（下田と多曾浦にのみ生育）・海中林。（大島）ネジモク（紀伊半島東岸のみに生育、最も大きな群落と思われる）、マクサ。（五カ所湾奥部）1年生アマモ（他の生育地に比べて小型）、ツルモ（太平洋沿岸で群落が形成されるのは珍しい）。
252	彦根～米原地域の湧水群	滋賀県	彦根市、坂田郡米原町	湧水地	淡水魚類	彦根～米原地域の湧水群	ハリヨ、スナヤツメの生息地。
253	木之本町の農業用水系	滋賀県	伊香郡木之本町	水路	淡水貝類	木之本町の農業用水系	種の多様性が高い。イシガイ類の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
254	ヤマカド山門湿原	滋賀県	伊香郡西浅井町	中間湿原	湿原植生	山門湿原	ミツガシワ群落、ヌマガヤ群落。
					昆虫類	山門湿原	寒冷地方に分布する生物が多く残存し、昆虫でも寒地性の種が多く確認されている。トンボ類では確認された35種が記録され、そのうち、モートンイトトンボ、コサナエ、ヒメクロサナエ、ルリボシヤンマ、マルタンヤンマ、ハッチョウトンボなど注目すべき種が多い。また、湿地・湿原に限って生息するオオイトトンボ、ハッチョウトンボ、サラサヤンマなども多い。また、コオイムシも確認されている。
255	アイバノ饗庭野湿原	滋賀県	高島郡今津町	中間湿原、低層湿原	湿原植生	饗庭野湿原	タヌキモ群落、ヨシ群落、動植物の貴重種。
256	琵琶湖（内湖を含む） ラムサール条約登録湿地(琵琶湖)	滋賀県	大津市、草津市、守山市、近江八幡市、彦根市、長浜市、野洲郡中主町、神崎郡能登川町、坂田郡米原町・近江町、東浅井郡びわ町・湖北町、伊香郡高月町、高島郡マキノ町・今津町・新旭町・安曇川町・木之本町・西浅井町、高島郡高島町、滋賀郡志賀町	湖沼、中間湿原、湧水湿地	湿原植生	琵琶湖（内湖を含む）	ヨシ群落、ツルヨシ群落、フトイ群落、アサザ群落、アカメヤナギ林。
					水草	琵琶湖北湖北部・浜分沼	（琵琶湖北湖北部）琵琶湖固有種サンネンモはじめ良好な沈水植物群落が発達。（浜分沼）内湖に豊かな植生が残る。
					淡水藻類	琵琶湖	絶滅危惧 類のヒメフラスコモが生育。
					ガン・カモ類	琵琶湖西池湖沼群（琵琶湖、西池）	ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）、オカヨシガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、キンクロハジロの渡来地。
					淡水魚類	琵琶湖	ヒワマス、アブラヒガイ、ビワコオオナマス、イワトコナマス、イササ、ゲンゴロウブナ、ニゴロブナ、イチモンジタナゴ(減少が著しい) など固有種の生息地。
					昆虫類	琵琶湖	カワムラナベブタムシ(絶滅危惧 類)の生息地。
					淡水貝類	琵琶湖・淀川水系	多数の固有種が生息。
底生動物	琵琶湖（淡水ベントス）	淡水底生動物の固有種が極めて多い。					
257	淀川水系（淀川、宇治川、木津川など）	滋賀県、京都府、大阪府	滋賀県大津市、京都府宇治市、綴喜郡宇治田原町、京都市、城陽市、久世郡久御山町、八幡市、乙訓郡大山崎町、大阪府枚方市、高槻市、三島郡島本町、寝屋川市、茨木市、摂津市、守口市、大阪市	河川	淡水魚類	淀川水系	イタセンバラ、アユモドキ、ビワコオオナマズの生息地。
					淡水貝類	琵琶湖・淀川水系	多数の固有種が生息。
					淡水貝類	宇治川	ナカセコカワニナ（絶滅危惧 類）の生息地。
					淡水貝類	木津川	イシガイ類の生息地。
					淡水貝類	淀川のワンド群	種の多様性が高い、オグラヌマガイ（絶滅危惧 類）の生息地。特に城北ワンド群。
258	河内風穴	滋賀県	犬上郡多賀町	地下水系	淡水貝類	河内風穴	コバヤシミジンツボ（模式および唯一の産地）の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
259	丹後半島沿岸～若狭湾（西部）	京都府	熊野郡久美浜町、竹野郡網野町・円後町、与謝郡伊根町・岩滝町、宮津市、舞鶴市	藻場	海藻	丹後半島沿岸～若狭湾（西部）	若狭湾は、富山湾と並ぶ日本海側の大きな湾であるが、富山湾と違って浅く、広大な藻場が発達しており(2000ha)、日本海側における天然アラムの北限でもある。
260	八丁平湿原	京都府	京都市	高層湿原	湿原植生	八丁平湿原	イヌツゲ群落。カキツバタ、オオミズゴケなど。氷期堆積層を含む20mの堆積物をもつ。
					昆虫類	八丁平	ハッコウトンボ、ヒラサナエ、ダビドサナエ、ヒメサナエ、ムカシトンボ、ウラクロシジミ、フジミドリシジミ、アカエゾゼミなどの生息地。
261	ミノロカイケ 深泥池湿地	京都府	京都市	高層湿原、低層湿原	湿原植生	深泥池湿地	ミツガシワ群落、カキツバタ群落。ヤチスギランなど。
262	由良川源流域（ ^{アシュウ} 芦生・知井・安掛）	京都府	北桑田郡美山町	河川	淡水魚類	由良川源流域（芦生・知井・安掛）	ヤマメ、アジメドジョウ、アカザ、カジカ、オヤニラミなど渓流性の在来魚種の多様性が高い。
263	大フケ湿原およびその周辺湿地	京都府	宮津市	高層湿原	昆虫類	大フケ湿原およびその周辺湿地	ブナ林に囲まれミズゴケで覆われた高層湿原で、ハッコウトンボ、オオコオイムシ、ミスメイガの1種など貴重な昆虫が生息する。また、周辺の樹林には（この地方では少ない）エゾゼミが広範囲に生息する。
264	丹後・但馬地方低山地湧水域のアベサンショウウオ生息地	京都府、兵庫県	京都府中郡大宮町・峰山町、竹野郡網野町・弥栄町、与謝郡野田川町、兵庫県城崎郡日高町、豊岡市	湧水地	爬虫両生類	丹後・但馬地方低山地湧水域のアベサンショウウオ生息地	アベサンショウウオ(日本固有種)の生息地。
265	大阪湾南部(紀淡海峡)	大阪府	泉南郡岬町	藻場	海藻	大阪湾南部(紀淡海峡)	ワカメ・テングサ場。ガラモ、アラム・カジメ場などと混在し、地先の生物多様性が高い。
266	大阪南港野鳥園	大阪府	大阪市	人工の干潟・塩性湿地	シギ・チドリ類	大阪南港野鳥園	春秋の渡期の種数・個体数が比較的多く、シロチドリでは最小推定個体数の1%以上、ハマシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のセイタカシギが記録されている。
267	^{オノザト} 男里川河口	大阪府	阪南市	河口干潟、塩性湿地	底生動物	男里川河口	規模は小さいが、塩生植物が豊富で底生動物も大阪湾ではここでしか見られない種が数多く生息。
268	^{イコマ} 生駒・ ^{シギ} 信貴山麓のため池群	大阪府	八尾市、東大阪市	ため池	淡水魚類	生駒・信貴山麓のため池群	ニッポンバラタナゴの生息地。
269	浜甲子園	兵庫県	西宮市	干潟	シギ・チドリ類	浜甲子園	春秋の渡期の種数・個体数が比較的多く、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。
270	淡路島中南部の農業用水系	兵庫県	三原郡三原町・緑町、洲本市	水路	淡水貝類	淡路島中南部の農業用水系	ヒメマルマメタニシ（絶滅危惧類）の生息地。
271	洲本地先沿岸	兵庫県	神戸市、津名郡淡路町	藻場	海藻	洲本地先沿岸	カジメ、テングサの生育地。
272	家島周辺沿岸	兵庫県	飾磨郡家島町	藻場	海藻	家島周辺沿岸	藻場または海藻群落の主体、ワカメ生育地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
273	砥峰高原湿地	兵庫県	宍粟郡大河内町	その他の湿地	昆虫類	砥峰高原	チュウゴクオオミズクサハムシ、ハッチョウトンボ、ヒラサナエなどの生息地。
274	氷上地方水系（加古川・由良川分水嶺）	兵庫県	氷上郡氷上町・春日町	河川	淡水魚類	氷上地方水系（加古川、由良川分水嶺）	河川争奪によりホトケドジョウ（西限生息地）、アブラハヤを始め淡水魚の多様性が高い。
275	六甲山北面沢地群	兵庫県	神戸市	溪流	淡水魚類	六甲山北面沢地群	ナガレホトケドジョウの生息地。
276	岸田川支流の最上流域	兵庫県	美方郡温泉町	河川	淡水貝類	岸田川支流の最上流域	ニクイロシブキツボ（準絶滅危惧）の南限。
277	東播磨北部地域の農業用水系	兵庫県	加西市、神崎郡福崎町、小野市、加古川市	ため池、水路	水草	加西市ため池群	昔ながらのため池を中心に良好な水生植物群落が成立。スプタ、マルミスプタ、マルバオモダカ等の絶滅危惧種も多産。
					淡水貝類	播磨地域の農業用水系	カワネジガイ（絶滅危惧類）、イナバマメタニシ・ヒメマルマメタニシ（絶滅危惧類）の生息地。
278	明石市大久保町周辺のため池群	兵庫県	明石市	ため池	水草	明石市大久保町周辺のため池群	周囲の都市化が進んでいるが、全国最大のオニバス自生地（西島大池）他がある。
279	加古川河口	兵庫県	高砂市	河口干潟	底生動物	加古川河口	ヨシ原がよく保存されており、京阪神の大都市近郊にありながら、ハクセンシオマネキ、ウモレベンケイガニ、アリアケモドキといった希少カニ類、カワアイ、ヘナタリ、ワカウラツボ、ヒロクチカノコといった希少巻貝類が生息する。
280	新舞子海岸	兵庫県	揖保郡御津町	前浜干潟	底生動物	新舞子海岸	全国的に少なくなった二枚貝のマテガイ、カニ類のウモレマメガニを多産する。
281	チクサ千種川河口	兵庫県	赤穂市	河口干潟、塩性湿地	底生動物	千種川河口	ヨシ原がよく残っており、マテガイ、マゴコロガイといった希少二枚貝やハクセンシオマネキ、ウモレベンケイガニ、ヒモイカリナマコも普通に産する。
282	円山川河辺	兵庫県	城崎郡城崎町、豊岡市	中間湿原、低層湿原	湿原植生	円山川河辺	ヨシ群落。昆虫類、植物の貴重種の生息・生育地。
283	お亀池	奈良県	宇陀郡首爾村	低層湿原	湿原植生	お亀池	ヨシ群落。サウヒヨドリ、チダケサシなど。
284	紀伊半島のキリクチ生息地	奈良県		河川	淡水魚類	紀伊半島のキリクチ生息地	紀伊半島産イワナ(キリクチ)の生息地。東アジアにおけるイワナ属の南限地。
285	紀の川河口、和歌川河口	和歌山県	和歌山市	河口干潟	底生動物	紀の川河口、和歌川河口	豊富なベントス相、特にシオマネキ、ハクセンシオマネキ、オサガニの生息数は近畿最大。ムギワラムシ、ワカウラツボなどの希少種も数多い。
286	有田川河口	和歌山県	有田市	河口干潟	底生動物	有田川河口	泥、転石、塩性湿地など多様な干潟環境を持ち、極めて貴重とされるコゲツノブエが多産する。
287	ヌノイケ沼池	和歌山県	有田郡金屋町	湖沼	水草	沼池	イトタヌキモの生育地。
					昆虫類	沼池	ハッチョウトンボ、ヨツボシトンボ、ミズカマキリ、オオコオイムシ、ヒョウモンチョウなどの生息地。
288	日高川河口	和歌山県	御坊市	河口干潟のある河口域	底生動物	日高川河口	広大な塩性湿地とハマボウ群落。ウモレベンケイガニ、シオマネキ、トゲアシヒライソガニモドキ、カワアイガイなどの希少種を産する。
289	田辺市～日高郡ため池群	和歌山県	田辺市・日高郡印南町ほか	ため池	水草	田辺市～日高郡ため池群	ミスミイ、ヒメシロアサザほか希少種が数多く生育するため池群。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
290	白浜～田辺湾	和歌山県	田辺市、西牟婁郡白浜町	藻場、浅海域、サンゴ礁	海藻	白浜～田辺湾	ガラモ、クロメ。種の多様性が高い。
					サンゴ	白浜鉛山湾、瀬戸	種の多様性が高い。
					底生動物	田辺湾	シオヤガイが多く、潮間帯では稀なワダツミギボシムシが生息する。
291	古座町田原地区の水田・湿地	和歌山県	東牟婁郡古座町	水田	水草	古座町田原地区の水田・湿地	水田（湿田）と池にミズネコノオ、ヤナギスプタ、テツホシダなど希少な植物が数多く生育する。
292	串本錆浦、潮岬西岸	和歌山県	西牟婁郡串本町	サンゴ礁	サンゴ	串本錆浦、潮岬西岸	種の多様性が高く、かつ被度がすこぶる高く、多くのサンゴ礁性動物に生息環境を提供している。オオナガラヘナサンゴの密集個体群は世界で当域でのみ知られる。なお、サンゴ礁には多様性の高い底生動物が生息し、その中には、当域が分布の北限となる種が多く含まれる。
293	和歌山千里の浜	和歌山県	日高町南部町	砂浜、浅海域	ウミガメ	和歌山千里の浜	アカウミガメの主要な産卵地である。
294	新宮蘭沢浮島の森	和歌山県	新宮市	中間湿原、低層湿原、湿地林	湿原植生	新宮蘭沢浮島の森	浮島の森は暖地性植物と共に、ミズゴケを含む、より冷温の地方の植物が同時に見られることが一つの特徴である。また、市街地にあつてきわめてよく保存され、植物の生育も良好であることから今後の都市と湿原の共存を考える上でも一つのモデルとなりうるものと考えられる。国の天然記念物。
295	岩美地先沿岸	鳥取県	岩美郡岩美町	藻場	海藻	岩美地先沿岸	日本海中南部を代表するガラモ場で、クロモズクなど、日本海中北部では見つかっていない種類も知られている。
296	唐川湿原	鳥取県	岩美郡岩美町	中間湿原	湿原植生	唐川湿原	カキツバタ群落（国の天然記念物）。中間湿原がある。
297	菅野湿原	鳥取県	岩美郡国府町	中間湿原	湿原植生	菅野湿原	ミズゴケ湿原として県の天然記念物に指定。
298	タネ多鯰ヶ池	鳥取県	鳥取市	湖沼	水草	多鯰ヶ池	希少な水草が確認されている。
					淡水魚類	多鯰ヶ池	アカヒレタビラ、ヤリタナゴの生息地。
299	カドノカミ神戸ノ上湿地	鳥取県	日野郡日南町	低層湿原	湿原植生	神戸ノ上湿地	ハンノキ林。ジャヤナギ、ハンカイソウ、タニヘゴ、クサレダマなど。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
300	中海（大橋川を含む）	鳥取県、島根県	鳥取県境港市、米子市、島根県松江市、安来市、八束郡東出雲町・八束町・美保関町	河口干潟のある河口域、汽水湖沼、藻場	湿原植生	中海（大橋川）	オオクグ群落。
					海草	大橋川～中海	コアマモの生育地。日本海側で唯一のまとまったアマモ場。
					水草	中海・大橋川	カワツルモの汽水域の植生が良好に残存。また、大橋川河口左岸の水田には、ミズアオイ、ヒメシロアサザなどの絶滅危惧種がごく限られた範囲で生育。ミズワラビも生育。
					シギ・チドリ類	飯梨川河口	春秋の渡期の種数・個体数が比較的多く、RDB種のコシヤクシギ、セイタカシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、ツバメチドリが記録されている。
					ガン・カモ類	中海	コハクチョウ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモの渡来地。
					昆虫類	中海	コバネアオイトトンボ、オグマサナエ、タバサナエ、アオヤンマ、ルリボシヤンマ、マルタンヤンマ、ハッチョウトンボ、ヒメアカネなどの生息地。
					底生動物	中海	アサリの生息地。
301	宍道湖（斐伊川下流部を含む）	島根県	松江市、平田市、簸川郡斐川町、八束郡宍道町・玉湯町	河口干潟のある河口域、汽水湖沼	湿原植生	宍道湖	ヨシ群落、セイコノヨシ群落。
					水草	宍道湖湖北ため池群	ガガブタ、ミズニラ、オグラノフサモ、スプタ、シャジクモの仲間などの絶滅危惧種をはじめ、多様な水草が生育。
					淡水藻類	宍道湖	絶滅危惧 類のインドオオイシソウ（紅藻）が多数生育。
					ガン・カモ類	宍道湖	マガン、キンクロハジロ、スズガモの渡来地。
					淡水魚類	宍道湖	シンジコハゼの生息地。
					昆虫類	宍道湖	1986年にナゴヤサナエが多産する事が発見された。河川で産卵し、流下卵が1/10塩分濃度の汽水域である宍道湖で羽化する。塩分濃度のわずかな変化がナゴヤサナエの生息に大きく影響する可能性がある所以要注目。
					底生動物	宍道湖	ヤマトシジミの生息地。
302	赤名湿原	島根県	飯石郡赤来町	低層湿原	湿原植生	赤名湿原	ハンノキ林。草本層はカササゲが優占し、多くの湿地性植物を伴う。
					昆虫類	赤名湿原	ネクイハムシの生息地。
303	隠岐島 ^{ドウゴ} （島後）の渓流域	島根県	隠岐郡西郷町・布施村・五箇村・都万村	河川	爬虫両生類	隠岐島の渓流域	オキタゴガエル（日本固有亜種）、オキサンショウウオ（日本固有種）の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
304	隠岐島周辺沿岸	島根県	隠岐郡海士町・五箇村・西郷町・知夫村・都万村・西ノ島町・布施村	藻場	海藻	隠岐島周辺沿岸	希少種が多い。日本海で海藻の種数が最多。クロキツタ（国の天然記念物）の生育地。
305	ウップルイ十六島周辺沿岸	島根県	平田市	藻場	海藻	十六島周辺沿岸	ウップルイノリ、ガラモ場。
306	地倉沼	島根県	鹿足郡津和野町	湖沼	湿原植生	地倉沼	火山の堰止湖。水域からハンノキ林まで自然の湿地群落が見られる。人為的な影響のない湿地植生は、山陰・山陽では大変貴重な存在。オニナルコスゲ群落、カサスゲ・シロネ群落など。
307	岡山平野のスイゲンゼニタナゴ等生息地	岡山県	岡山市など	河川、水路	淡水魚類	岡山平野のスイゲンゼニタナゴ等生息地	スイゲンゼニタナゴ、アユモドキほか小型淡水魚類の生息地。
					淡水貝類	岡山平野の農業用水系	種の多様性が高い。イシガイ類の生息地。
308	永江川河口	岡山県	岡山市	河口干潟	底生動物	永江川河口	ヨシ原がよく保存されており、そこにオカミミガイ、ヒロクチカノコが多産する。岡山県では数少ないシオマネキの生息地でもある。
309	鯉ヶ窪・おもつぼ湿原	岡山県	阿哲郡哲西町・哲多町	低層湿原、中間湿原	湿原植生	鯉ヶ窪・おもつぼ湿原	ヒツジグサ群落、カサスゲ群落。国の天然記念物。
310	邑久郡の塩性湿地	岡山県	邑久郡邑久町・牛窓町	塩性湿地	昆虫類	邑久郡の塩性湿地	新種と見られるミズギワカメムシ、ゴミムシ、クモ、ハネカクシなど。アッケシソウ群落がある。ハマベゴミムシ、オオモンコムズギワゴミムシ、チビマルガムシ（水生）、オオツノハネカクシなど海岸砂浜に由来する甲虫類が多い。昆虫類はエリザハンミョウ、コハンミョウ、チビマルガムシ、オオツノハネカクシ、アカヒメコメツキモドキなどの甲虫類の他、未知種1種を含むミズギワカメムシ類も多く、このような湿地が残されていることは、学術上重要。アッケシソウ群落が残存している。
311	味野湾、玉野湾	岡山県	倉敷市、玉野市	藻場	海草	玉野市後閑沖	瀬戸内海山陽側沿岸内湾における大型アマモ場。
					海草	倉敷市児島港沖	瀬戸内海で最大のアマモ場。
312	細ノ洲	広島県	因島市、尾道市	藻場	海草	細ノ洲	尾道水道の陸地から離れた大潮時も干出しない砂州上のアマモ場。内湾ではなく洲にできたアマモ場。
313	安芸湾三津口	広島県	豊田郡安浦町	藻場	海草	安芸湾三津口	瀬戸内海山陽側沿岸に残っている大きなアマモ場。
314	世羅台地の湧水湿地・ため池群	広島県	世羅郡甲山町・世羅町・世羅西町、賀茂郡豊栄町	湧水湿地・ため池	湿原植生	世羅台地の湧水湿地・ため池群	ヌマガヤ湿原。水辺や水中の多様な植生。
					水草	世羅台地ため池群	希少種・絶滅危惧種を含む貴重な植生。
315	賀茂台地の湧水湿地・ため池群	広島県	東広島市、賀茂郡黒瀬町	湧水湿地、ため池	湿原植生	賀茂台地の湧水湿地・ため池群	ヌマガヤ湿原。水辺や水中の植生。また、コウホネ類、ミクリ類などの希少種を含む多様な水草も生育。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
316	東八幡原・西八幡原	広島県	山県郡芸北町	中間湿原	湿原植生	東八幡原・西八幡原	ヌマガヤ群落。カキツバタなど。
					昆虫類	東八幡原・西八幡原	ヒロシマサナエ、ヒョウモンモドキ、ヒメヒカゲ、ゴマシジミの生息地。
317	帝釈川	広島県	比婆郡東城町	河川	淡水貝類	帝釈川	カワシンジュガイ（絶滅危惧 類）の南限付近唯一の健全個体群。
318	宮島	広島県	佐伯郡宮島町	その他の湿地	昆虫類	宮島	シロウミアメンボ、ミヤジマトンボ（固有種）。ミヤジマトンボの日本産亜種の原名亜種は、中華人民共和国南部に分布しているが、台湾や沖縄にはおらず、日本でも宮島の島内3ヵ所だけに生息する特異なトンボであり絶滅危惧類。
319	広島湾東部（江田島、能美島、倉橋島等）	広島県	安芸郡音戸町・倉橋町・江田島町、佐伯郡大柿町・能美町・沖見町等	藻場	海草、海藻	広島湾東部（江田島、能美島、倉橋島等）	アマモ、ガラモ、クロメ場などが混在し、地先の生物多様性が高い。
320	広島湾西部（屋代島等）	山口県	大島郡大島町・久賀町・橘町・東和町等	藻場	海草、海藻	広島湾西部（屋代島等）	アマモ、ガラモ、クロメ場などが混在し、地先の生物多様性が高い。
321	アイオ 秋穂湾～山口湾（榎野川河口）	山口県	防府市、吉敷郡秋穂町、山口市	河口干潟、塩性湿地	昆虫類	周防灘沿岸部（佐波川河口、榎野川河口（山口湾））	ヒヌマイトトンボ。本州の主として太平洋側沿岸部の汽水域に生息している。絶滅危惧 類のイトトンボである。しかもこの生息地は雄と同色型の雌があり、日本では他に対馬の生息地しか知られていない。昆虫では、ベッコウトンボ、ヒヌマイトトンボ、イトアメンボなどの絶滅危惧種を含めた水生・半水生昆虫が豊富にみられる。特に、ベッコウトンボの発生地は年毎に異なり、広い範囲での注目が必要。
					底生動物	秋穂湾～山口湾	全国的にも希少とされる種が数多くまとまって生息する（カプトガニ、ツバサゴカイ、タイラギ、マゴコロガイ、セトウチヘソカドタマキビ、ゴマフダマ、ミドリシャミセンガイ、ヒモイカリナマコなど）。
322	阿知須干拓および土路石川河口	山口県	吉敷郡阿知須町	干拓地、干潟	ガン・カモ類	阿知須干拓および土路石川河口	マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、トモエガモ、コガモの渡来地。多くのカモ類が渡来し、特にトモエガモが多い。
323	厚東川・有帆川・厚狭川の河口	山口県	宇部市、小野田市、吉敷郡阿知須町、厚狭郡山陽町	河口干潟、塩性湿地	その他鳥類	厚狭川河口	ズグロカモメの渡来地。
					昆虫類	周防灘沿岸部（厚東川河口付近、厚狭川河口付近）	ヒヌマイトトンボ。本州の主として太平洋側沿岸部の汽水域に生息している。絶滅危惧 類のイトトンボである。しかもこの生息地は雄と同色型の雌があり、日本では他に対馬の生息地しか知られていない。昆虫では、ベッコウトンボ、ヒヌマイトトンボ、イトアメンボなどの絶滅危惧種を含めた水生・半水生昆虫が豊富にみられる。特に、ベッコウトンボの発生地は年毎に異なり、広い範囲での注目が必要。
					底生動物	厚東川河口、有帆川河口、厚狭川河口	全国的にみて希少とされる種が豊富に生息する（シマヘナタリ、クロヘナタリ、ワカウラツボ、センペイアワモチなど）。
324	厚狭川下流農業用水系	山口県	厚狭郡楠町・山陽町、小野田市	水路	淡水貝類	厚狭川下流域の農業用水系	ヒメマルマメタニシ・クルマヒラマキガイ（絶滅危惧 類）の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
325	秋芳洞の地下水系	山口県	美祢郡秋芳町	地下水系	淡水貝類	秋芳洞の地下水系	地下水棲貝類の種の多様性が高い。ホラアナミジンコ類、ミジンコ類の生息地。
326	油谷湾	山口県	大津郡油谷町、豊浦郡豊北町	藻場	海草、海藻	油谷湾	湾口部付近には、アラメとホンダワラ属の群落が発達。水深5m以深にカジメ群落が発達していて、日本海沿岸では最大級の群落である。また、日本海沿岸としては比較的大きいアマモ場がある。
					底生動物	油谷湾	日本海側にある広大な砂質干潟。ウミニナ、イボウミニナ、ヒラドカワザンショウなど希少種も生息。
327	青海島周辺沿岸	山口県	長門市	藻場	海草、海藻	青海島沿岸	ワカメ、テングサ場、アマモ、ガラモ、クロメ場などと混在し、地先の生物多様性が高い。
328	ジョガマル池	徳島県	板野郡板野町	ため池	水草	ジョガマル池	徳島県下ではもっとも良好な自然環境を残すため池で、ジュンサイ群落が広がり、スプタ、シズイなどの希少種も多産。
					昆虫類	ジョガマル池	水生昆虫類が豊富である。半翅類ではコオイムシ、ホッケミズムシ、ミヤケミズムシ、マルミズムシ他、種数・個体数とも多い。
329	吉野川河口、勝浦川河口	徳島県	徳島市	河口干潟のある河口域、河川	水草	吉野川下流域（河口～第十堰）	イセウキヤガラ、コアマモなど汽水域の水生植物が良好に生育。群落規模も全国有数。
					シギ・チドリ類	吉野川河口干潟	春秋の渡り期の個体数が比較的多い。シロチドリでは最小推定個体数の1%以上、ダイゼン、メダイチドリ、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のカラフトアオアシシギ、コシヤクシギ、ホウロクシギ、アカアシシギが記録されている。
					昆虫類	吉野川中下流域・河口（沖洲海岸を含む）	ルイスハンミョウの生息地。
					底生動物	吉野川河口、勝浦川河口	長大な汽水域に塩性湿地が豊富に点在。シオマネキの生息数が極立って多い。ヒロクチカノコ、ウモレベンケイガニ、フタハピンノの生息地。
330	大津田川流域の用水路網	徳島県	阿南市	水路	水草	大津田川流域の用水路網	農業用水路の生態系が良好に維持され、水生植物が多産。
331	蒲生田海岸	徳島県	阿南市	砂浜、浅海域	ウミガメ	蒲生田海岸	アカウミガメの主要な産卵地である。
332	伊島および周辺沿岸	徳島県	阿南市	藻場、その他の湿地	海藻	伊島周辺沿岸	フシスジモク（太平洋岸暖流域唯一の群落）など。
					昆虫類	伊島の湿地	谷戸から海岸に続く湿地で、タガメとゲンゴロウが記録されている。これらの昆虫は、現在、四国では稀である。
333	橘湾	徳島県	阿南市	藻場	海藻	橘湾	イトモクの仲間（タイプ産地の柏島では磯焼けのため絶滅、本種は実体が不明なため分類学的検討必要）、タマハハキモク。分布領域が広く、密生している。
334	日和佐大浜海岸	徳島県	海部郡日和佐町	砂浜、浅海域	ウミガメ	日和佐大浜海岸	アカウミガメの主要な産卵地である。
335	牟岐大島周辺沿岸	徳島県	海部郡牟岐町	サンゴ礁	サンゴ	牟岐大島	希少種を含む。
336	出羽島の池	徳島県	海部郡牟岐町	汽水湖沼	淡水藻類	出羽島汽水	絶滅危惧 類および国天然記念物のシラタマモが生育。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
337	穴喰地先沿岸	徳島県	海部郡穴喰町	藻場、サンゴ礁	海藻	穴喰地先沿岸	多くの種類のホンダワラ類が混成している。ガラモ、カジメ・クロメ場などと混在し、地先の生物多様性が高い。テングサ生育地。
					サンゴ	阿波竹が島	希少種を含む。
338	クロゾウ黒沢湿原	徳島県	三好郡池田町	中間湿原、低層湿原	湿原植生	黒沢湿原	県の天然記念物。ヤマトミクリ - ヒメミクリ群落、ミズゴケ類群落（オオミズゴケ、ハリミズゴケ）、ヨシ - カサスゲ群落。
					昆虫類	黒沢湿原	サラサヤンマ、ルリボシヤンマ、タカネトンボ、オオコイムシ（四国初）、ヘリグロミズカメムシ（四国初）などが生息し、昆虫相からも四国では貴重な場所である。
339	鳴門海峡	徳島県	鳴門市	藻場	海藻	鳴門海峡	ガラモ、カジメ・クロメ場などと混在し、地先の生物多様性が高い。ワカメ生育地。なお、ウチノ海には瀬戸内海四国側で唯一まとまった規模でアマモ場が存在する。
340	香川県低地の水田、ため池などの湿地	香川県	東讃部の一部	水田、ため池	淡水魚類	香川県のため池群	ニッポンバラタナゴの生息地。
					爬虫両生類	香川県低地の水田、ため池などの湿地	岡山型ダルマガエル(日本固有亜種)の生息地。近年、激減しているため要注目。
341	テシマ豊島ため池群	香川県	小豆郡土庄町	ため池	水草	豊島ため池群	豊島南西海岸周辺の小規模な湿地・ため池群。ヒメシロアサザ、マルバノサウトウガラシ、アカウキクサ、カワツルモなどが生育。
342	満濃池周辺のため池群	香川県	仲多度郡満濃町	ため池	水草	満濃池周辺のため池群	香川県下ではもっとも多くの水生植物の生育が確認されている一帯。ミズニラ、ミズニラモドキ、ヒメミクリ、ヤマトミクリ、オヒルムシロ、イトトリゲモ、ミスミイ、ヒメタヌキモなどが生育。
343	加茂川河口	愛媛県	西条市	河口干潟	シギ・チドリ類	加茂川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、RDB種のコシヤクシギ、セイタカシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、オオジシギが記録されている。
					その他鳥類	加茂川河口	ズグロカモメの渡来地。
344	皿ヶ嶺湿地	愛媛県	温泉郡重信町、上浮穴郡久万町	その他の湿地	昆虫類	皿ヶ嶺湿地	ベニモンカラスシジミ、スジボソヤマキチョウ、アイノミドリシジミ、ウラクロシジミ、マダラクワガタ、トサオサムシ、モンヒメマキムシモドキなどの生息地。
345	重信川河口	愛媛県	松山市、伊予郡松前町境	河口干潟のある河口域	シギ・チドリ類	重信川河口	春秋の渡り期の個体数が比較的多い。チュウシャクシギでは最小推定個体数の1%以上、メダイチドリ、キアシシギ、キョウジョシギ、ハマシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のアカアシシギ、ホウロクシギが記録されている。
					底生動物	重信川河口	底生動物の種の多様性が高い。
346	ヒジカワ肱川下流域の農業用水系	愛媛県	大洲市	水路	淡水貝類	肱川下流域の農業用水系	種の多様性が高い。ヒメマルマメタニシ、クルマヒラマキガイ、イシガイ類、マメシジミ類の生息地。
347	伊方町地先沿岸	愛媛県	西宇和郡伊方町	藻場	海藻	伊方町地先沿岸	瀬戸内海タイプのクロメ場。（仁田之浜、伊方港）、クロキツタ（町の天然記念物、島根県隠岐とここだけに分布）。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
348	宇和海島嶼部周辺沿岸	愛媛県	宇和島市、八幡浜市	藻場	海藻	宇和海島嶼部周辺沿岸	多くの種類のホンダワラが混成している。クロメ場、ガラモ場などと混在し、地先の生物多様性が高い。(地大島)典型的なクロメとヒロハクロメ(中央葉幅60cmまで)の群落が近接している、ヒロメ、トサモク?(タイプ産地の柏島では磯焼けのため絶滅、本種は実体が不明なため分類学的検討必要)、海中林、ヒロメ混生。
349	松山地区のオオイタサンショウウオの生息地	高知県	土佐清水市	その他の湿地	爬虫両生類	松山地区のオオイタサンショウウオの生息地	オオイタサンショウウオ(日本固有種)の生息地。
350	四万十川下流・河口域	高知県	中村市	河川、藻場	海草、海藻	四万十川河口	コアマモの生育地、アオノリ群落。
					淡水魚類	四万十川下流・河口域	アカメ、ゴマフエダイ、トビハゼの生息地。
					底生動物	四万十川下流域	シオマネキの生息地。
351	中村市トンボ自然公園	高知県	中村市	その他の湿地	昆虫類	中村市トンボ自然公園	コフキヒメイトトンボ、シコクトゲオトンボ、ミナミヤンマ、ネアカヨシヤンマ、マルタンヤンマなどの生息地。
352	土佐清水鵜簀、 ^{ウハエ ヒラバエ} 平簀、見残し周辺沿岸	高知県	土佐清水市	サンゴ礁	サンゴ	土佐清水鵜簀、平簀	種の多様性が高い。
					サンゴ	土佐清水見残し	希少種を含む。
353	龍河洞の地下水系	高知県	香美郡土佐山田町	地下水系	淡水貝類	龍河洞の地下水系	地下水棲貝類の多様性が高い。ホラアナミジンナ類、ミジンツボ類が生息。
354	^{ヨコバエ} 横簀周辺沿岸	高知県	須崎市	藻場	海藻	横簀周辺沿岸	太平洋暖海域の代表的なガラモ場群落。トゲモクの均一な群落。
355	浦ノ内湾	高知県	土佐市、須崎市	藻場	海藻	浦ノ内湾	マメタワラ群落(葉が広いタイプ)、アナアオサ。
356	室戸岬周辺沿岸	高知県	室戸市	藻場	海藻	室戸岬周辺沿岸	典型的なクロメ場。生育地が広く採取しやすい。(注)この藻場は、アオウミガメの採食海域である可能性が高いと思われ、要注目。
357	夜須町地先沿岸	高知県	香美郡夜須町	藻場	海藻	夜須町地先沿岸	暖海性の特徴を持ったカジメの安定した群落(磯焼けが拡大)。
358	お糸池	福岡県	北九州市	湧水地	水草	お糸池	希少種が残存。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
359	曽根干潟	福岡県	北九州市	干潟	シギ・チドリ類	曽根干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、シロチドリ、チュウシャクシギでは最小推定個体数の1%以上、ダイゼン、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、キアシシギ、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のカラフトアオアシシギ、コシャクシギ、ホウロクシギ、アカアシシギ、オオジシギが記録されている。
					ガン・カモ類	曽根干潟	スズガモ、ツクシガモの渡来地。
					その他鳥類	曽根干潟	ズグロカモメの渡来地。
					底生動物	曽根干潟	カプトガニの産卵地。希少種のツバサゴカイ、ムギワラムシ、ハクセンシオマネキなども豊富。
360	筑前大島・地ノ島周辺沿岸	福岡県	宗像郡大島村	藻場	海藻	筑前大島・地ノ島周辺沿岸	ツルアラメ（かなり大きな群落。日本最大か？）。海中林。
361	長井浜～西角田漁港周辺干潟	福岡県	行橋市、築上郡椎田町	干潟	底生動物	長井浜～西角田漁港周辺干潟	シオマネキの生息数が極めて高い。ムギワラムシとそれに寄生するヤドカリダマシ、それにマテガイ、バカガイも多産。
362	千鳥が池	福岡県	古賀市	湖沼	昆虫類	千鳥が池	丘陵地にある小さな池で、周囲は公園化しているものの、コバンムシ、エサキアメンボなどのRDB種や、オオマルケシゲンゴロウ、タマガムシ、ハネナシアメンボ、ミゾナシミズムシ、ハネビロトンボが記録され、周辺にはクロツバメシジミ、ミカドアゲハなどが生息する。
363	福岡湾（和白干潟・今津干潟）	福岡県	福岡市	干潟	シギ・チドリ類	和白干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ミヤコドリ、メダイチドリ、チュウシャクシギ、キアシシギ、ミユビシギ、トウネン、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のカラフトアオアシシギ、ヘラシギ、コシャクシギ、ホウロクシギ、アカアシシギ、オオジシギが記録されている。
					シギ・チドリ類	今津干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、シロチドリでは最小推定個体数の1%以上、ミヤコドリ、チュウシャクシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のセイタカシギ、ホウロクシギ、アカアシシギ、ツバメチドリ、オオジシギが記録されている。
					ガン・カモ類	和白干潟（博多湾）	スズガモの渡来地。
					その他鳥類	博多湾・今津	クロツラヘラサギの渡来地。
					その他鳥類	博多湾・和白	クロツラヘラサギの渡来地。
底生動物	和白干潟	豊富な鳥類と塩生植物。ベントス相も豊富で、ウミニナ、オオノガイ、ツバサゴカイといった希少種も多い。					
364	田主丸町の農業用水系	福岡県	田主丸町	水路	淡水魚類	田主丸町の農業用水系	ヒナモロコの生息地。在来魚種の多様性が高い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
365	有明海（筑後川河口～矢部川河口、東与賀海岸、六角川河口～塩田川河口、鹿島海岸、田古里川河口、諫早湾、荒尾海岸）および筑後川（感潮域）	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県	福岡県大川市、柳川市、大和市、大牟田市、久留米市、三潴郡三潴町・城島町、佐賀県佐賀郡川副町・東与賀町・久保田町・諸富町、小城郡芦刈町、杵島郡福富町・白石町・有明町、鹿島市、鳥栖市、三養基郡北茂安町・三根町、神埼郡千代田町、長崎県北高来郡小長井町・高来町・森山町、諫早市、南高来郡愛野町・吾妻町・瑞穂町・国見町・有明町、熊本県荒尾市、玉名郡横島町・天水町、熊本市、宇土市、天草郡松島町	干潟、河川、塩性湿地、浅海域	淡水魚類	筑後川（感潮域）	アリアケシラウオ、アリアケヒメシラウオ、エツ、ヤマノカミの産卵地。
					底生動物	筑後川河口～沖端川河口、矢部川河口	日本の他地域には見られない大陸遺存性の強内湾系種、アリアケガニ、ハラグクレチゴガニ、ウミマイマイなどの多産地。
					湿原植生	東与賀海岸	シチメンソウ（絶滅危惧 類）の我が国最大の生育地。
					シギ・チドリ類	東与賀海岸（大授搦）	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ダイゼン、ハマシギ、ダイシャクシギでは最小推定個体数の1%以上、シロチドリ、メダイチドリ、アオアシシギ、ソリハシギ、キアシシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のカラフトアオアシシギ、コシャクシギ、アカアシシギ、ホウロクシギが記録されている。
					ガン・カモ類	東与賀海岸（大授搦）	ツクシガモの渡来地。
					シギ・チドリ類	早津江川河口・平和搦	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ダイゼン、ソリハシギ、キアシシギ、ハマシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギが記録されている。
					その他鳥類	東与賀海岸（大授搦）	ズグロカモメの渡来地。
					シギ・チドリ類	鹿島海岸（新籠）	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、ダイゼン、メダイチドリ、チュウシャクシギ、ソリハシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。
					ガン・カモ類	鹿島海岸（新籠）	ツクシガモの渡来地。
					その他鳥類	鹿島海岸（新籠）	ズグロカモメの渡来地。
					底生動物	田古里川河口	サキグロタマツメタ、ハイガイ、イチョウシラトリ、ムツハアリアケガニなどの希少種が分布。
					底生動物	六角川～塩田川河口	希少巻貝オオクリイロカワザンショウの比類なき多産地。シマヘナタリ、クロヘナタリ、キヌカツギハマシイノミといった希少種も多産。
					シギ・チドリ類	諫早湾	かつては、春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、RDB種ではカラフトアオアシシギ、ホウロクシギが記録された。しかし、現在は干拓事業により渡来数が激減しており要注目。
					ガン・カモ類	諫早湾	マガモ、オナガガモ、スズガモの渡来地。
その他鳥類	諫早湾	ズグロカモメの渡来地。干拓事業により渡来数が激減しており、要注目。					
シギ・チドリ類	荒尾海岸	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、ダイゼンでは最小推定個体数の1%以上、メダイチドリ、ハマシギでは0.25%以上以上が記録されている。					
淡水魚類	有明海周辺	エツ、アリアケヒメシラウオ、ムツゴロウ、タビラクチ、ハゼクチ、ワラスボ、ヤマノカミなど大陸性魚類の生息地。					

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
366	筑紫平野の河川・水路など	福岡県、佐賀県	福岡県久留米市、柳川市など、佐賀県佐賀市、神埼郡神埼町など	河川、水路	水草	佐賀平野クリーク	特に未改修のクリーク。ヒシモドキ、タヌキモ、オニバスはじめ多くの水生植物が生育。
					淡水魚類	筑紫平野の在来タナゴ類生息地	在来タナゴ類、オヤニラミの生息地。
					昆虫類	佐賀平野クリーク	トゲナベブタムシ（絶滅危惧類）の生息地。
					淡水貝類	二つ川	種の多様性が高い。イシガイ類の生息地。
367	檜原湿原	佐賀県	東松浦郡七山村	低層湿原、湧水湿地	湿原植生	檜原湿原	コイヌノハナヒゲ群落など。ノハナショウブ、ミツガシワなど。
					水草	檜原湿原	絶滅危惧種ヒメタヌキモ、ヒメミクリの他に遺存分布種ミツガシワが生育。湿地植生も豊富。
					昆虫類	檜原湿原	ゲンゴロウ、ミヤケミズムシの生息地。
368	星賀塩生湿地	佐賀県	東松浦郡肥前町	塩性湿地	水草	星賀塩生湿地	入江の砂泥地一帯にコアマモ群生。隣接してアマモ群落があり、渚の原風景を残す場所。
369	イロ八島一帯	佐賀県	東松浦郡肥前町	遠浅の海岸（岩礁）、入江	昆虫類	イロ八島一帯	シオアメンボ（絶滅危惧類）、シロウミアメンボ（絶滅危惧類）、ミズギワゴミムシの生息地。
370	伊万里湾	佐賀県	伊万里市、北松浦郡福島町	浅海域	底生動物	伊万里湾	奥深い内湾に複雑な地形を持ち、オキヒラシイノミ、ワカウラツボ、カハタレカワザンショウ、ヨシダカワザンショウといった希少種が生息。
371	東松浦半島北部（小川島、神集島を含む）沿岸	佐賀県	唐津市、東松浦郡呼子町	藻場	海藻	東松浦半島北部（小川島・神集島含む）沿岸	日本海沿岸では、最も広いアラメ群落がある。海中林。
372	志々伎湾	長崎県	平戸市	藻場	海草	志々伎湾	アマモ大規模群落。
373	平戸海峡	長崎県	平戸市	藻場	海草、海藻	平戸海峡	アマモ、アラメ、ワカメ、アオワカメ、ツルアラメ、海中林、ワカメ場。
374	南九十九島周辺沿岸	長崎県	佐世保市	浅海域	昆虫類	南九十九島	多くの小島を含む入り込んだ沿岸部で、海岸は岩礁で海水も汚れていない。絶滅危惧種のシオアメンボ（絶滅危惧類）、シロウミアメンボ（絶滅危惧類）の他、ケシウミアメンボなど沿岸性のウミアメンボ類が生息している。
375	壱岐島の河川	長崎県	壱岐郡	河川	淡水魚類	壱岐島（谷江川、梅ノ木川、幡鉾川）	在来タナゴ類（カゼトゲタナゴ、セボシタビラなど）、アリアケギバチ、メダカなど九州要素淡水魚類が生息し種の多様性が高い。
					淡水貝類	壱岐島の河川（谷江川、梅ノ木川、幡鉾川）	トンガリササノハガイ（準絶滅危惧）の西限。
376	壱岐島石影浦	長崎県	壱岐郡	サンゴ礁	サンゴ	壱岐のサンゴ礁	壱岐（石影浦）は対馬と並ぶサンゴ礁の北限域である。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
377	対馬河流域	長崎県	上県郡、下県郡	河川	爬虫両生類	対馬河流域	ツシマサンショウウオ(日本固有種)の生息地。
					昆虫類	対馬河流域	オオアメンボ、シマアメンボ、タニガワミズギワカメムシなどの水生半翅類も豊富。
378	対馬・ ^{アソウ} 浅茅湾および綱浦	長崎県	下県郡美津島町・豊玉町	浅海域	サンゴ	対馬のサンゴ礁	対馬(綱浦)は壱岐と並ぶサンゴ礁の北限域である。
					昆虫類	対馬・浅茅湾	シオアメンボ(絶滅危惧 類)3カ所、シロウミアメンボ(絶滅危惧 類)十数カ所、ケシウミアメンボの生息地。ヒヌマイトトンボ。雄と同色型の雌のヒヌマイトトンボがいる。
379	対馬・田ノ浜	長崎県	上県郡上県町	その他の湿地	昆虫類	対馬・田ノ浜	対馬では唯一、抽水植物が発達する広い湿地。対馬では少なくなったタイコウチが生息し、最近ではエサキアメンボも見つかり、豊富な水生半翅類相を示している。また、タイリクアカネやタイリクアキアカネなど、大陸と関連がある昆虫が多い。
380	七ツ釜鍾乳洞の地下水系	長崎県	西彼杵郡西海町	地下水系	淡水貝類	七ツ釜鍾乳洞の地下水系	ナナツガマホラアナミジンナ・ナナツガマミジンツボ(絶滅危惧 類)の模式および唯一の生息地。
381	コウジロ 神代川	長崎県	南高来郡国見町	河川	淡水藻類	神代川	絶滅危惧 類のオキチモズク(紅藻)が生育。
382	島原半島南部沿岸	長崎県	南高来郡南有馬町	藻場	海草	島原半島南部	島原半島南部にある有明海最大のアマモ場。
383	平尾免地先沿岸	長崎県	松浦市	藻場	海藻	平尾免地先沿岸	イトテングサ(群落を形成)。
384	志津川	熊本県	阿蘇郡南小国町	河川	淡水藻類	志津川	絶滅危惧 類のオキチモズク(紅藻)が生育。
385	江津湖・上江津湖水系	熊本県	熊本市	湖沼、湧水池	水草	江津湖水系	ヒラモ、ヒメバイカモは、現在ではこの水系にしか自生しない。九州の湧水植生の代表。
					淡水藻類	上江津湖	絶滅危惧 類のスイゼンジノリ(藍藻)の唯一の生育地。
386	菊池川・白川・緑川河口	熊本県	山鹿市、玉名郡横島町・天水町、熊本市、玉名市、宇土市	河川、河口干潟のある河口域	淡水藻類	菊池川	絶滅危惧 類および国天然記念物のチスジノリ(紅藻)の生育地。
					シギ・チドリ類	白川河口・緑川河口	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、シロチドリでは最小推定個体数の1%以上、ソリハシシギ、ハマシギでは0.25%が記録されている。RDB種はホウロクシギが記録されている。
					淡水魚類	緑川(感潮域)	アリアケシラウオ、アリアケヒメシラウオの生息地。
					底生動物	菊池川河口～塩屋海岸	希少種タケノコカワニナ、センベシアワモチが多産。シイノミミガイの有明海唯一の現存生息地。
					底生動物	緑川河口～住吉神社付近	塩性湿地固有の絶滅危惧種が多産。泥干潟にはササゲミミエガイが多産。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
387	不知火干潟周辺	熊本県	下益城郡松橋町、宇土郡不知火町、発白郡竜北町・鏡町	河口干潟のある河口域	シギ・チドリ類	不知火干潟（大野川・砂川河口）	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多い。RDB種のホウロクシギが記録されている。
					その他鳥類	不知火干潟（大野川・砂川河口）	ズグロカモメの渡来地。
					底生動物	大野川河口	有明海を代表する種、クロヘナタリ、シマヘナタリ、アズキカワザンショウ、シオマネキ、アリアケガニ、ムツゴロウが豊富に生息する。有明海でも現在分布が限られるウミマイマイも見られる。
					その他鳥類	氷川河口	クロツラヘラサギの渡来地。
388	クマ 球磨川河口	熊本県	八代市	河口干潟のある河口域	シギ・チドリ類	球磨川河口	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、シロチドリ、ソリハシシギ、キアシシギでは最小推定個体数の1%以上、ダイゼン、メダイチドリ、チュウシャクシギ、キアシシギ、ハマシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のヘラシギ、アカアシシギが記録されている。
					その他鳥類	球磨川河口	ズグロカモメの渡来地。
389	天草・大矢野島周辺沿岸	熊本県	天草郡大矢野町・松島町	藻場、干潟	海草	宮津湾	天然藻場と移植により修復した藻場であり、日本（太平洋）におけるアマモの分布最南端のまとまった藻場（アマモ）。イチマツノリの生育地。
					底生動物	永浦干潟	日本最大のハクセンシオマネキ生息地。
390	ツウジ 天草灘通詞島周辺沿岸	熊本県	天草郡五和町	藻場	海草、海藻	天草灘通詞島周辺	アマモ、ガラモ、カジメ・クロメ場などと混在し、地先の生物多様性が高い。通詞島：十数種のホンダワラ科海藻を産するが、ジョロモク、アカモク、ヤツマタモク、ノコギリモクなどが優占。
391	苓北町富岡地先沿岸	熊本県	天草郡苓北町	藻場	海藻	苓北町富岡地先沿岸	浅所のイソモク、マメタワラの外側にヤツマタモク、アカモクが帯状に分布。
392	天草牛深（片島、大島、桑島） 周辺沿岸	熊本県	牛深市	サンゴ礁	サンゴ	天草牛深（片島、大島、桑島）	種の多様性が高く、希少種を含む。
393	九州中央山地源流域のベッコウサンショウウオ等生息地	熊本県、宮崎県、鹿児島県		河川	爬虫両生類	九州中央山地源流域のベッコウサンショウウオ生息地	五ヶ瀬川、緑川、球磨川、一ツ瀬川、大淀川、川内川など各水系の源流域。ベッコウサンショウウオ（日本固有種）、ブチサンショウウオ（日本固有種）の生息地。
394	姫島周辺沿岸	大分県	東国東郡姫島村	藻場	海草、海藻	姫島周辺沿岸	ノコギリモク、ホンダワラ、トゲモクなど、アマモ、ガラモ、カジメ・クロメ場などと混在し、地先の生物多様性が高い。
395	野依新池	大分県	中津市	湖沼	昆虫類	野依新池	ベッコウトンボ、コバネアオイトトンボ、オオキトンボ、ベニイトトンボ、ネアカヨシヤンマなどの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
396	中津海岸・宇佐海岸	大分県	中津市、宇佐市、豊後高田市	干潟、浅海域	シギ・チドリ類	中津干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、ダイゼン、チュウシャクシギ、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。
					シギ・チドリ類	宇佐海岸	春秋の渡期の種数・個体数が比較的多く、ダイゼン、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギが記録されている。
					その他鳥類	中津干潟	ズグロカモメの渡来地。
					淡水魚類	豊前海沿岸および別府湾北部	アオギスの生息地。山国川、駅館川、桂川、八坂川などの河口域やその周辺沿岸。
					底生動物	中津港周辺	強内湾性の貝類（ヒロクチカノコ、クロヘナタリ、シマヘナタリ、サキクロタマツメタ、オカミミガイ、タイラギ、ムラサキガイ、イチョウシラトリなど）が豊富。
397	アジム 安心院町のため池群	大分県	宇佐郡安心院町	ため池	昆虫類	安心院町水田用溜池	安心院町・日指ダム周辺に広がる溜池群で、絶滅危惧種のイトアメンボをはじめとして水生昆虫類が多く生息している。
398	守江湾（八坂川河口）	大分県	中津市、宇佐市、豊後高田市、杵築市	干潟、浅海域	シギ・チドリ類	守江湾(八坂川河口)	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多い。ダイゼン、メダイチドリ、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のコシャクシギ、アカアシシギ、ホウロクシギが記録されている。
					淡水魚類	豊前海沿岸および別府湾北部	アオギスの生息地。山国川、駅館川、桂川、八坂川などの河口域やその周辺沿岸。
					底生動物	守江湾	前浜干潟ではカプトガニ、アオギスといった希少種が生息。ツバサゴカイ、ハマグリ、カガミガイ、オサガニといった他の地域では少ない種が豊富に見られる。八坂川河口では、塩性湿地にオカミミガイ類が豊富。
399	小深江漁港周辺干潟	大分県	速見郡日出町	干潟	底生動物	小深江漁港周辺干潟	シオマネキ、ハクセンシオマネキに加え、センベリアワモチ、イチョウシラトリなど希少貝類が豊富。
400	小田の池	大分県	大分郡湯布院町	中間湿原、湖沼	湿原植生	小田の池	泥炭層の発達する湖成湿原。ヌマガヤ・ヌマクロボスゲ群落、ミカツキグサ・コアナミズゴケ群落などの泥炭層湿原群落。ヌマガヤ、ミツガシワ、マアザミ、コアナミズゴケ、ハリミズゴケなど。ヨシ群落、ヌマガヤ・マアザミ群落、オニナルコスゲ群落、カサスゲ群落、ヤマドリゼンマイ群落、クログワイ群落、フトイ群落などの泥炭層周辺部群落や池沼群落。ヨシ、マアザミ、オニナルコスゲ、カサスゲ、フトイ、クログワイ、ハンカイソウ、ヤマドリゼンマイなど。
					水草	小田の池	北方寒冷地要素（ミツガシワ、コタヌキモ）の南限生育地。湿原植生も豊か。
401	金鱗湖周辺の温泉水路	大分県	大分郡湯布院町	水路	淡水貝類	金鱗湖周辺の温泉水路	オンセンミズゴマツボ（絶滅危惧類）の模式産地かつ現存生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
402	九重火山群湿原（西千里浜、坊がツル、タデ原）	大分県	玖珠郡九重町、直入郡久住町	中間湿原	湿原植生	九重火山群湿原（西千里浜、坊がツル、タデ原）	火山山頂帯や山麓湧水地に形成された湿原。（西千里浜）コケモモ・ヒメミズゴケ群落、ニッコウコウガイゼキショウ群落、クジュウイヌノヒゲ群落。コケモモ、ニッコウコウガイゼキショウ、クジュウイヌノヒゲ、エゾシロネ、ヒメミズゴケなど。（坊がツル）ヌマガヤ・ヒメミズゴケ群落、ヌマガヤ・ヌマクロボスゲ群落、ヤチカワズスゲ群落、ツクシイヌイ群落。ヌマガヤ、ヌマクロボスゲ、ヤチカワズスゲ、ヤマアゼスゲ、タニカワズスゲ、ツクシイヌイ、リュウキンカ、ヒメミズゴケ、オオミズゴケなど。（タデ原）ヨシ・アカバナ群落、ヌマガヤ・ヒメミズゴケ群落、ノリウツギ・ヒメミズゴケ群落。ヨシ、ヌマガヤ、ノリウツギ、ヤマアゼスゲ、ヤチカワズスゲ、エゾツリスゲ、キスゲ、リュウキンカ、クサレダマ、アカバナ、シモツケソウ、ヒメミズゴケ、オオミズゴケなど。
403	松岡・敷戸のため池群	大分県	大分市	ため池	ガン・カモ類	松岡・敷戸の溜池群	オシドリの渡来地。オシドリの日本越冬個体群の1%を優に越える。
404	エダ家田・川坂湿原	宮崎県	宮崎県東臼杵郡北川町	湧水地、放棄水田	水草	家田・川坂湿原	希少種・固有種の水生植物が多く、新種も発見されている。
405	門川湾・御銚ヶ浦（細島港）	宮崎県	東臼杵郡門川町、日向市	藻場	海藻	門川湾・御銚ヶ浦（細島港）	（門川港）カジメ（南限）、クロメ、トゲモク（南限、秋に成熟する個体群）、ヤツマタモクなど・海中林。（御銚ヶ浦（細島港））：アラメ場。太平洋側の多年生アマモの南限、1999年におけるクロメの南限。
406	島浦島周辺沿岸	宮崎県	延岡市、東臼杵郡北浦町	サンゴ礁、藻場	サンゴ	延岡島浦	希少種を含む。
					海草、海藻	島浦島-阿蘇	アマモ、ウミヒルモ、ワカメ、ヒロメ、シマウラモク、オバクサなど。ワカメ場、テングサ場。
407	宮崎市周辺の砂浜海岸	宮崎県	児湯郡都農町・川南町・高鍋町・新富町、宮崎郡佐土原町、宮崎市	砂浜、浅海域	ウミガメ	宮崎市周辺の砂浜海岸	アカウミガメの主要な産卵地である。
408	五ヶ瀬川、 ^{ホオリ} 祝子川、北川の感潮域	宮崎県	延岡市	河口干潟のある河口域	底生動物	五ヶ瀬川、祝子川、北川の感潮域	清浄な河口汽水域を持ち、ヨシ原も豊富。希少種、タケノコカワニナ、カワスナガニが多産する。他にイドミズハゼ、トゲアシヒライソガニモドキ、タイワンヒライソモドキといった貴重種も生息する。
409	日南市～南郷町ため池群	宮崎県	日南市、南那珂郡南郷町	ため池	水草	日南市～南郷町ため池群	ミズキンバイ、ミズスギナ、シナミズニラなどの希少種が生育する良好なため池群。
410	大淀川水系岩瀬川オオヨドカワゴロモ自生地	宮崎県	小林市	河川	水草	大淀川水系岩瀬川オオヨドカワゴロモ自生地	オオヨドカワゴロモ（1999年に新種として記載）の唯一の自生地。しかし、危機的状況。
411	宮崎市湧水地帯のオオイタサンショウウオ生息地	宮崎県	宮崎市	湧水地	爬虫両生類	宮崎市湧水地帯のオオイタサンショウウオ生息地	オオイタサンショウウオ（日本固有種）の生息地。
412	青島周辺沿岸	宮崎県	宮崎市	藻場	海藻	青島周辺沿岸	ヤタバグサ（希少種）、ユイキリ、ワカメ、タマハハキモク（南限）、ホンダワラ属の1種の生育地。
413	本城川河口～千野川河口	宮崎県	串間市	河口干潟のある河口域	底生動物	本城川河口～千野川河口	多様な塩生植物に加え、タケノコカワニナ、ハザクラガイ、フトヘナタリなどの希少種が生息。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
414	都井岬周辺沿岸	宮崎県	串間市	藻場	海草、海藻	都井岬周辺沿岸	コアマモ、ヒラネジモク（南限、秋に成熟する個体群があり重要）、ヨレモクモドキ（南限）、タマナシモク（南限付近）など。九州南部では藻場の消失が著しく、貴重なガラモ場。
415	栄松地先沿岸	宮崎県	南那珂郡南郷町、日南市	藻場	海草	栄松地先沿岸	多年生アマモの南限。
416	志布志町のカワゴケソウ類自生地	鹿児島県	曽於郡志布志町	河川	水草	安楽川、前川のカワゴケソウ類自生地	カワゴロモが自生する。温帯域にカワゴケソウ科植物が生育することは世界的に見てもきわめて稀。安楽川（ウスカワゴロモ）、前川（ウスカワゴロモ）。
417	大隈半島のカワゴケソウ類自生地	鹿児島県	肝属郡大根占町・根占町・田代町	河川	水草	神ノ川、雄川のカワゴケソウ類自生地	カワゴケソウとカワゴロモが自生する。温帯域にカワゴケソウ科植物が生育することは世界的に見てもきわめて稀。神ノ川（カワゴロモ）・雄川（カワゴロモ、タシロカワゴケソウ）。
418	薩摩半島のカワゴケソウ類自生地	鹿児島県	川辺郡川辺町、揖宿郡額娃町	河川	水草	万之瀬川のカワゴケソウ類自生地	カワゴケソウが自生する。温帯域にカワゴケソウ科植物が生育することは世界的に見てもきわめて稀。万之瀬川（マノセカワゴケソウ）。
						馬渡川のカワゴケソウ類自生地	カワゴケソウが自生する。温帯域にカワゴケソウ科植物が生育することは世界的に見てもきわめて稀。馬渡川（トキワカワゴケソウ）。
419	センダイ川内川のカワゴケソウ類およびチスジノリ生育地	鹿児島県	薩摩郡宮之城町、伊佐郡菱刈町	河川	水草	川内川のカワゴケソウ類自生地	カワゴケソウが自生する。温帯域にカワゴケソウ科植物が生育することは世界的に見てもきわめて稀。川内川（カワゴケソウ）。
					淡水藻類	川内川のチスジノリ生育地	絶滅危惧 類および国天然記念物のチスジノリ（紅藻）の生育地。
420	長島周辺沿岸	鹿児島県	出水郡長島町	藻場	海草、海藻	長島周辺沿岸	アマモ、ガラモ場などと混在し、地先の生物多様性が高い、ワカメ生育地。
421	アクネ阿久根地先沿岸	鹿児島県	阿久根市	藻場	海藻	阿久根地先沿岸	亜熱帯性ホンダワラ属の種を含む大面積のガラモ場。（注）この藻場はアオウミガメの採食海域である可能性が高いと思われ、今後の注目が必要。
422	イズミ出水干拓地	鹿児島県	出水市、出水郡高尾野町	河口干潟のある河口域、水田	その他鳥類	出水	ナベヅル・マナヅルの渡来地。
423	クシキノ串木野市羽島地先沿岸	鹿児島県	串木野市	藻場	海藻	串木野市羽島地先沿岸	マメタワラ、ヤツマタモク等のほか、亜熱帯性のフタエモクなどが優占種となっている。
424	イムタ蘭牟田池	鹿児島県	薩摩郡祁答院町	低層湿原、湖沼	湿原植生	蘭牟田池	ジャヤナギ群落など。ジュンサイ、コタヌキモ、ハデフラスコモなど。
					昆虫類	蘭牟田池	ベッコウトンボの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
425	鹿児島湾（桜島漁港・浜町・鴨池港・生見のアマモ場群落、重富海岸、天降川河口、喜入町メヒルギ林湿地、岩崎川、鈴川、米倉川など）	鹿児島県	始良郡始良町・隼人町、国分市、指宿郡喜入町	河口干潟のある河口域、藻場、マングローブ林	底生動物	天降川河口域とその周辺	日本在来のハマグリ ¹ の健在 ² 地。希少二枚貝のハザクラガイ、ユウシオガイ、マゴコロガイも多い。ヒラタブンブクが高密度に生息するところもある。オサガニも多い。
					底生動物	重富海岸	鹿児島湾内に残された自然干潟。種の多様性が高い。
					海草	鹿児島湾沿岸の1年生アマモ場群落	真性の1年生アマモ場群落。桜島漁港：1年生アマモの大きな藻場（1年生だが草丈2m以上、貴重なアマモ場）。浜町：アマモ場。鴨池港：アマモの南限、1年生アマモの南限。生見：アマモの南限、1年生アマモの南限の群落。
					マングローブ林	岩崎川	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。国天然記念物。
					マングローブ林	鈴川	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。
					マングローブ林	米倉川	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。国天然記念物。
					甲殻類	喜入町のメヒルギ林湿地	喜入町のメヒルギは、分布最北限のマングローブとして注目され、国の特別天然記念物に指定されている。この生育域は面積的に小さいが重要。そこには、イワガニ類が生息している。
底生動物	喜入町メヒルギ林湿地	ウミナガサの個体数密度が極めて高い。ハクセンシオマネキの群生地でもある。希少二枚貝のマゴコロガイも多く、本種の南限地でもある。ゴカイ科の未記載種が多い。					
426	志布志湾沿岸	鹿児島県	肝属郡東串良町・高山町	河口干潟のある河口域	底生動物	志布志湾沿岸	シオマネキ、ハクセンシオマネキの多産地。日本在来のハマグリ ¹ の健在 ² 産地でもある。
427	鰻池	鹿児島県	指宿郡山川町	湖沼	昆虫類	鰻池	固有種のベニトンボ。古くから生息が知られており、南西諸島に分布を拡げている種とはDNAが違うのではないかと予測される。
					淡水貝類	鰻池	エゾチビマメシジミの模式産地。
428	万之瀬川河口・吹上浜海岸	鹿児島県	加世田市、日置郡金峰町・日吉町	河口干潟のある河口域、砂浜	シギ・チドリ類	万之瀬川河口（吹上浜海岸）	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、ミヤコドリでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のセイタカシギ、ヘラシギ、カラフトアオアシシギ、ホウロクシギが記録されている。
					その他鳥類	万之瀬川河口	クロツラヘラサギの渡来地。
					ウミガメ	吹上浜・日吉町海岸・加世田市海岸	アカウミガメの重要な繁殖地。2000年にそれぞれ、24回（吹上町）、68回（金峰町）、26回（日吉町海岸）の産卵が確認された。
					底生動物	万之瀬川河口、吹上浜	絶滅寸前のフタハピンノの健在産地。河口外側の干潟には、ナミノコガイが多産する。
429	大浦川河口	鹿児島県	川辺郡大浦町	マングローブ林	マングローブ林	大浦川河口	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
430	種子島の砂浜海岸とサンゴ礁	鹿児島県	西之表市、熊毛郡中種子町・南種子町	砂浜、サンゴ礁	サンゴ	種子島大塩屋港	種の多様性が高く、希少種を含む。
					サンゴ	種子島熊野港	種の多様性が高い。
					サンゴ	種子島住吉	希少種を含む。
					ウミガメ	西之表市海岸	アカウミガメの繁殖地。2000年の鹿児島県の調べでは、53回の産卵が報告されている。
					ウミガメ	長浜海岸	アカウミガメの繁殖地。2001年の調査で200以上の産卵が記録され、今後が注目される。
431	種子島のマングローブ林（湊川、大浦川）	鹿児島県	西之表市、熊毛郡南種子島町	マングローブ林	マングローブ林	湊川	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。
					マングローブ林	大浦川	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。
432	イッソウ一湊川のカワゴケソウ類自生地	鹿児島県	熊毛郡上屋久町	河川	水草	一湊川のカワゴケソウ自生地	カワゴロモが自生する。温帯域にカワゴケソウ科植物が生育することは世界的に見てもぎわめて稀。一湊川（ヤクシマカワゴロモ）
433	屋久島 ^{ミヤノウラ} （宮之浦川）	鹿児島県	熊毛郡屋久町・上屋久町	河川	淡水魚類	屋久島（宮之浦川）	本州要素のアユの南限生息地。
434	屋久島西部海岸	鹿児島県	熊毛郡屋久町・上屋久町	砂浜、浅海域	ウミガメ	屋久島西部海岸	北太平洋で最もアカウミガメが高密度で産卵する砂浜およびそこに至る海域。
435	屋久島栗生塚崎	鹿児島県	熊毛郡屋久町	サンゴ礁	サンゴ	屋久島栗生塚崎	種の多様性が高い。
436	栗生川	鹿児島県	熊毛郡屋久町	マングローブ林	マングローブ林	栗生川	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。
437	屋久島 ^{ハナノエゴウ} 花之江河周辺	鹿児島県	熊毛郡屋久町	高層湿原	湿原植生	屋久島花之江河周辺	南限の高層湿原。
					爬虫両生類	屋久島花之江河周辺	ヤクシマタゴガエル(日本固有亜種)の生息地。
					淡水貝類	花之江河	ハバマメシジミの模式および唯一の生息地。
438	コシキ ^{ナマコ} 甌島周辺沿岸（海鼠池、貝池を含む）	鹿児島県	薩摩郡上甌村・里村・鹿島村・下甌村	海跡湖、藻場、浅海域	海藻	上甌島海鼠池	マメタワラ類似種が生育するとされる。砂洲(?)によって外海と隔離された特殊な環境。1970年からの磯焼け発生後に、まとまった規模で残された藻場として重要。なお、台湾澎湖島で産卵したアオウミガメを衛星で追跡したところ、甌島周辺海域にしばらく留まっていたことが明らかになっている。調査結果次第ではアオウミガメの採食藻場がある可能性もあり、要注目。
					底生動物	海鼠池、貝池	人為的影響の少ない海跡湖。ミヤコドリ(貝)の数少ない生息地の一つ。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
439	奄美大島南部の渓流域	鹿児島県	大島郡大和村・宇検村・住用村・瀬戸内町	河川	爬虫両生類	奄美大島南部の渓流域	アマミハナサキガエル(日本固有種)、オットンガエル(日本固有種)、イシカワガエル(日本固有種)、ガラスヒバア(日本固有種)、ヒメハブ(日本固有種)、イボイモリ(日本固有種)、シリケンイモリ(日本固有種)の生息地。
					昆虫類	奄美大島南部の渓流域	エグリタマミズムシ(絶滅危惧類)、アマミダルマガムシ、アマミチビミズムシなどの固有の昆虫が多い。
440	スミヨウ 住用湾流入河川および河口部 (住用川・役勝川河口および城 ウナイ 内海)	鹿児島県	大島郡住用村	マングロー ブ林、河川	マングローブ林	城内海	メヒルギ、オヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。
					マングローブ林	住用川	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					マングローブ林	役勝川	メヒルギ、オヒルギ、サキシマスオウノキ、シマシラキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					淡水魚類	住用川	キバラヨシノボリ、リュウキュウアユの生息地。
					甲殻類	住用村のマングローブ 湿地と流入河川	住用村の住用川と役勝川の河口には、マングローブが大規模に発達している。両河川にはRDB記載の絶滅危惧種リュウキュウアユ(淡水魚類)が生息し、マングローブ周辺が冬場の稚魚の成育場所になっている。また、そこは川と海とを行き来して生活する甲殻類や魚類の稚仔魚や幼生の成育場所になっている。また両流入河川には、RDB記載種のリュウキュウサワガニ・サカモトサワガニ・アマミナミサワガニなどが生息している。
底生動物	住用川河口	広大なマングローブ林を擁し、林内には希少巻貝類を多産する。					
441	住用村の止水域	鹿児島県	大島郡住用村	ため池	昆虫類	住用村の止水域	ハネナガチョウトンボ。日本唯一の生息地。1993年に発見され数も少なくないが、以前からいたものなのか、南方から飛来して土着したものなのかは不明。
442	カサリ 笠利湾	鹿児島県	大島郡笠利町・龍郷町	浅海域	底生動物	笠利湾	潮間帯でシャミセンガイ類が見られる日本で唯一の場所。ドロアワモチ、タテジマコムシ、ヒメギボシムシなど貴重種の多様性がきわめて高い。
443	勝浦川下流域の農業用水系	鹿児島県	大島郡瀬戸内町	水路	淡水貝類	勝浦川下流域の農業用水系	アマミカワニナ(絶滅危惧類)、カノコガイ類の生息地。
444	徳之島山地水域	鹿児島県	大島郡徳之島町・天城町・伊仙町	河川	昆虫類	徳之島山地水域	エグリタマミズムシ(絶滅危惧類)を産する。
					爬虫両生類	徳之島山地水域	アマミハナサキガエル(日本固有種)、アマミアオガエル(種として日本固有)、イボイモリ(日本固有種)、オビトカゲモドキ(種として日本固有)の生息地。
					甲殻類	秋利神川と流域	秋利神川は徳之島の川で最も流程が長く、上流部は自然が残っている。この川と川岸にはRDB記載の甲殻類が3種(リュウキュウサワガニ・サカモトサワガニ・アマミナミサワガニ)、魚類では希少種のキバラヨシノボリが、それぞれ生息しているので、流域全体が重要。
445	徳之島神之嶺、カンニシ港	鹿児島県	大島郡徳之島町	サンゴ礁	サンゴ	徳之島神之嶺、カンニシ港	種の多様性が高い。
446	ヤカタカタバル 屋嘉田潟原	沖縄県	国頭郡恩納村	塩性湿地、藻場	底生動物	屋嘉田潟原	塩性湿地から海草藻場までの生息環境が残され、底生動物の種の多様性も高い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
447	オククビ 億首川流域	沖縄県	国頭郡金武町	マングローブ林	マングローブ林	億首川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギモドキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					昆虫類	億首川流域	下流の並里から漢那ダムを含めた喜瀬武原にかけての1帯である。もっとも良好な湿地は米軍基地内にあるが、周辺地域（基地外）にも湿地的環境があちこちにみられる。かつて、タガメやタイワンコオイムシが記録された沖縄では数少ない地域の1つで、現在でもヒメミズカマキリ（沖縄県RDBの希少種）、トゲミズギワカメムシなど水生半翅類も多い。
					底生動物	億首川河口	河口干潟から前浜干潟までの様々な生息環境を擁し、それにとまって底生動物の種の多様性が極めて高い。護岸工事等の人為的な破壊が、沖縄本島の中では、比較的少ない、自然度の高い河口域である。
448	ヤンバル河川群	沖縄県	国頭郡国頭村・大宜味村・東村	河川	淡水魚類	ヤンバル河川群	キバラヨシノボリ、アオバラヨシノボリ、アヤヨシノボリ、ヒラヨシノボリなどヨシノボリ類固有種が多種生息する。
					爬虫両生類	ヤンバルの渓流域	ナミエガエル(日本固有種)、ハナサキガエル(日本固有種)、イシカワガエル(日本固有種)、リュウキュウヤマガメ(日本固有種)、ホルストガエル(日本固有種)、イボイモリ(日本固有種)、シリケンイモリ(日本固有種)、クロイワトカゲモドキ(種として日本固有)の生息地。
					昆虫類	ヤンバル河川群	カラスヤンマ、オキナワミナミヤンマ、オキナワサラサヤンマ、リュウキュウカトリヤンマ、リュウキュウトンボ、オキナワコヤマトンボ、オオハラビロトンボ、アオビタイトンボなどの生息地。
449	沖縄本島東沿岸（ ^{ハノコ} 辺野古～漢那）	沖縄県	名護市、国頭郡宜野座村	藻場	海草	沖縄本島東部沿岸（辺野古～漢那）	ボウバアマモ、リュウキュウアマモ、ベニアマモなどの大きな群落。アマモ類を餌にする特別天然記念物のジユゴンは、この海域で発見例が多い。沖縄島北東部の沖には藻場が存在し、そこにアオウミガメの大規模な餌場があるらしいことがこれまでの調査から推定される。
450	キンバル 慶武原川	沖縄県	国頭郡宜野座村	マングローブ林	マングローブ林	慶武原川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。
451	^{ゲサン} 東村の慶佐次マングローブと流入河川	沖縄県	国頭郡東村	マングローブ林、河川	マングローブ林	慶佐次川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。国天然記念物。
					甲殻類	東村の慶佐次マングローブと流入河川	慶佐次マングローブはすでに国の特別天然記念物に指定されているが、汽水性の新種のテッポウエビ類(4種)やミナミトビハゼやトビハゼなどの魚類も多い。流入河川にはRDB記載種(アラモトサワガニ・サカモトサワガニ・オキナワミナミサワガニ)が生息しているので、流域全体が重要。
452	キショカ 喜如嘉（水田地帯）	沖縄県	国頭郡大宜味村	水田	昆虫類	喜如嘉（水田地帯）	喜如嘉集落付近から広い谷沿いの地域で、水が豊富で水田や休耕地が多くみられる。トンボ類、水生半翅類の多様性が高く、個体数も多い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
453	大浦湾および大浦川	沖縄県	名護市	マングローブ林、河川	マングローブ林	大浦川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の種の多様性が高い。市天然記念物。
					昆虫類	大浦川・湾	大浦川の上流域ではリュウキュウハグロントンボ、オキナワリモントンボ、カラスヤンマ等の注目すべきトンボ類をはじめとした流水性昆虫が豊富である。また、マングローブ林前後の水溜まりには止水性昆虫の種の多様性が高い。汽水域に生息するキバナガミズギワゴミムシの生息地。
					底生動物	大浦湾	マングローブ林内にシマカノコ、マングローブアマガイ、オイランカワザンショウ、カタシノノミミガイ、ゴマセンベリアワモチなどの危急種が多い。
454	ヤガジ屋我地（羽地内海を含む）	沖縄県	名護市	干潟、マングローブ林	マングローブ林	羽地内海（饒平名）	メヒルギ、オヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					マングローブ林	羽地内海（我部）	メヒルギ、オヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					その他鳥類	屋我地	ベニアジサシ、エリグロアジサシの繁殖地。シギ・チドリ類の渡来地。
					底生動物	羽地内海	希少巻貝の多様性が極めて高い。オオズングリアゲマキの国内唯一の生息地。ミニカドカドも世界唯一の生息地。
455	アミスガー・ハマサ	沖縄県	国頭郡今帰仁村	湧水	淡水藻類	アミスガー	絶滅危惧 類のシマチスジノリ（紅藻）が生育。
					淡水藻類	ハマサ	絶滅危惧 類のシマチスジノリ（紅藻）が生育。
456	ミンナ水納島周辺沿岸	沖縄県	国頭郡本部町	サンゴ礁	サンゴ	水納島	裾礁。種の多様性が高い。
457	残波岬地先沿岸	沖縄県	中頭郡読谷村	サンゴ礁	サンゴ	残波岬	裾礁。種の多様性が高い。
458	藪地島周辺沿岸	沖縄県	中頭郡与那城村	藻場	海藻	藪地島周辺沿岸	ホンダワラ属、クビレミドロ（絶滅危惧 類）の最大の生育地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
459	中城湾	沖縄県	中頭郡勝連町・北中城村・中城村、具志川市、沖縄市、島尻郡与那原町・佐敷町	海岸湿地及び干潟、藻場	海草、海藻	中城湾北部（泡瀬、久場沖など）	沖縄島東岸（太平洋）側の大きな海草藻場。リュウキュウスガモ、リュウキュウアマモ、ベニアマモなど海草8種からなる。イソスギナ。熱帯産のヒメウミヒルモの日本では数少ない生育地。泡瀬干潟にはクビレミドロ（絶滅危惧類）が生育。
					シギ・チドリ類	泡瀬干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、ムナグロでは最小推定個体数の1%以上、キアシシギでは0.25%以上が記録されている。ムナグロの越冬数は日本最大である。RDB種のアカアシシギ、ホウロクシギが記録されている。
					昆虫類	中城湾北部	キバナガミズギワゴミムシ、ケシウミアメンボなどが生息する。
					底生動物	泡瀬～川田～勝連町南原～北中城村～中城村（中城湾北域）	中城湾はトカゲハゼ、キララハゼの日本唯一の生息地であり、トビハゼ、マサゴハゼの日本での分布南限地。ナカグスクオサガニの日本唯一の生息地。泡瀬は特に希少貝類が豊富。
					海藻	中城湾南部	ヒジキ（南限、葉が紡錘形ではなく扁平）、フタエヒイラギモク、ボタンアオサ（群落を形成）、ハイテングサ（群落を形成）シオグサ属の1種（未記載種、淡水産のカモジシオグサと近縁、潮間帯上部の淡水がしみ出る場所に生育、他の地域では分布が確認されていない）
					シギ・チドリ類	佐敷干潟	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多い。RDB種のアカアシシギが記録されている。
					甲殻類	中城湾と干潟	中城湾は好漁場になっていて、有用魚介類の放流も行われている。この湾の南の佐敷町から与那原町にかけての砂泥干潟には絶滅危惧種のトカゲハゼや地域個体群のシオマネキが生息している。しかし、近年干潟の埋め立てが進行し、これらの貴重種の生存が危惧されているため、要注目。
					底生動物	与那原海岸～佐敷（中城湾南域）	中城湾はトカゲハゼ、キララハゼの日本唯一の生息地であり、トビハゼ、マサゴハゼの分布南限地。ミナミオサガニ、シモフリシオマネキなどのカニ類やコハクオカミミガイ、イチョウシラトリなどの貝類に貴重種が多い。
460	漫湖 ラムサール条約登録湿地	沖縄県	那覇市	河口干潟、マングローブ林	シギ・チドリ類	漫湖	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、ムナグロ、メダイチドリ、ダイシャクシギ、キアシシギ、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のアカアシシギ、セイタカシギ、ホウロクシギが記録されている。
					その他鳥類	漫湖	クロツラヘラサギ、ズグロカモメの渡来地。
					甲殻類	漫湖	干潟にはゴカイ類・二枚貝類・オサガニ類などが多く、渡り鳥の格好の餌になっている。2000年の調査でアシハラガニモドキの仲間のヒメアシハラガニモドキが湾と陸との境から発見された。このカニは日本初記録種である。
					底生動物	漫湖	絶滅危惧種が数多く記録される。特にモモイロサギガいの国内唯一の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
461	具志干潟～大嶺岬周辺沿岸	沖縄県	那覇市	干潟	シギ・チドリ類	具志干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、キアシシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のアカアシシギ、セイタカシギ、ホウロクシギが記録されている。
					昆虫類	具志干潟～大嶺岬	岩礁地帯の潮間帯にはキバナガミズギワゴミムシが生息する。
					底生動物	具志～大嶺	絶滅危惧種が数多く記録される。
462	ヤフソウガ 屋富祖井	沖縄県	島尻郡具志頭村	湧水	淡水藻類	屋富祖井	絶滅危惧 類のシマチスジノリ（紅藻）が生育。
463	与根干潟	沖縄県	島尻郡豊見城村	干潟	底生動物	与根干潟	オオツヤウロコガイ、コハクオカミミガイ、イチョウシラトリなどの希少種が18種も生息する。
464	瀬底島の小湿地および周辺沿岸	沖縄県	国頭郡本部町	藻場、湿地	海草	瀬底島地先沿岸	ウミヒルモ、ヒメウミヒルモ（トゲウミヒルモ）の生育地
					爬虫両生類	瀬底島の小湿地	イボイモリ(日本固有種)、シリケンイモリ(日本固有種)、クロイワトカゲモドキ(種として日本固有)、オキナワアオガエル(種として日本固有)の生息地。
465	塩川	沖縄県	国頭郡本部町	藻場	海藻	塩川	アマアオサ、シオカワモッカ（沖縄県の危急種）。塩川（塩分の高い川）は天然記念物。アオサ場。
466	セーファウタキ 斉場御獄	沖縄県	島尻郡知念村	その他の湿地	爬虫両生類	斉場御獄	クロイワトカゲモドキ(種として日本固有)、シリケンイモリ(日本固有種)、オキナワアオガエル(種として日本固有)、ヒメハブ(日本固有種)、ハイ(日本固有種)の生息地。
467	トナキ 渡名喜島周辺沿岸	沖縄県	島尻郡渡名喜村	サンゴ礁	サンゴ	渡名喜島	裾礁。種の多様性・自然度が高い。
468	南大東島の池と洞窟群	沖縄県	島尻郡南大東村	マングローブ林、湖沼、地下水系	マングローブ林	大池	オヒルギ群落。
					昆虫類	南大東島の池	池にはコフキオオメトンボやヒメミズカマキリが生息する。
					甲殻類	南大東島の池と洞窟群	南大東島はかつて環礁であったのが隆起した「隆起環礁」の島で、鍋底状の中央部には大小の池が発達している。大池周辺にはオヒルギが生育し、国の天然記念物に指定されている。また、この島には多くの洞窟が発達し、水のある洞内には危急種のドウクツヌマエビとオハグロテッポウエビおよび希少種のアシナガヌマエビが、それぞれ生息している。
469	慶良間諸島渡嘉敷島の山地水域	沖縄県	島尻郡渡嘉敷村	河川、その他の湿地	爬虫両生類	渡嘉敷島の山地水域	リュウキュウヤマガメ(日本固有種)、ホルストガエル(日本固有種)、イボイモリ(日本固有種)、シリケンイモリ(日本固有種)、マダラトカゲモドキ(種として日本固有)の生息地。
470	慶良間諸島周辺沿岸	沖縄県	島尻郡座間味村・渡嘉敷村	サンゴ礁、砂浜、浅海域	サンゴ	慶良間諸島	裾礁。種の多様性が高く、希少種を含む代表的な地域。幼生供給源として重要。自然度が高い。
					ウミガメ	慶良間諸島屋嘉比島および久場島周辺海域	屋嘉比島はアオウミガメ、アカウミガメの重要な産卵地であるとともに、アカマタ(ナミヘビ科の1種)がふ化幼体を食べに海岸に降りてくるといふ、貴重な生態が見られる。また、周囲のサンゴ礁も発達している。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
471	久米島の溪流・湿地	沖縄県	島尻郡具志川村、仲里村	河川、その他の湿地	昆虫類	久米島白瀬川流域	クメジマボタルの生息地。
					爬虫両生類	久米島の溪流・湿地	キクザトサワヘビ(日本固有種)、リュウキュウヤマガメ(日本固有種)、ヤマシナトカゲモドキ(種として日本固有)の生息地。
472	ヤビシ八重干瀬	沖縄県	平良市	サンゴ礁	サンゴ	八重干瀬	離礁。自然度が高い。
473	宮古島中北部の湿地	沖縄県	平良市	その他の湿地	爬虫両生類	宮古島中北部の湿地	ミヤコヒバア(日本固有種)、ヒメヘビ(日本固有種)、ミヤコヒキガエル(日本固有種)の生息地。
474	宮古島の洞窟群と湧泉群	沖縄県	平良市、宮古郡城辺町	地下水系	甲殻類	宮古島の洞窟群と湧泉群	宮古島は河川が少ないかわり、地下河川がよく発達している。また、有水の洞窟が多く、そこにはレッドデータブック記載の2希少種(アシナガヌマエビ・サキシマヌマエビ)、平良市保全種のオカガニ、宮古島固有で平良市保全種のホリアナメシジミなどが生息している。また、近年城辺町の湧泉から新種のサワガニが発見されている。
475	池間島湿原と周辺サンゴ礁	沖縄県	平良市	干潟、サンゴ礁、その他の湿地	昆虫類	池間湿原	宮古諸島の中では、水生昆虫が豊富な場所で、貴重な環境である。リュウキュウベニイトトンボ、ムスジイトトンボ、台湾ウチワヤンマ、アオビタイトンボ、アメイトトンボ、セスジアメンボ、チビコツブゲンゴロウ、コクロヒラタガムシ、クロヒラタガムシ他、確認された水生昆虫は多い。中でもヒメフチトリゲンゴロウ、コガタノゲンゴロウ、トビイロゲンゴロウのような大型種が多く生息できる自然の良好な池である。
					甲殻類	池間島湿原と周辺サンゴ礁	池間島湿原は、かつて海水が流入する内湾であったが、漁港工事に伴って湾口が閉ざされて淡水化した。その後、水草が繁茂し湿地の大半が埋まり、北西部に淡水域が残っている。そこには、トンボ類や外来種のテラピアやグッピーが繁殖し、カモ類やサギ類などの渡り鳥の餌場や休憩地になっている。また、湿地とその周辺には平良市の保全種になっているオカガニが多く生息している。このオカガニは6～10月にかけての満月前後に、ゾエア幼生を海に放しに大群で降海する習性がある。砂礫干潟には、RDB記載種のルリマダラシオマネキが生息している。池間島の海岸や海域は真っ白な砂浜とサンゴ礁が発達しているの、海域も含めた地域が重要。
476	島尻入江	沖縄県	平良市	マングローブ林	マングローブ林	島尻入江	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林(生態系)の代表的・固有的な分布地。
					甲殻類	宮古島の島尻のマングローブ	島尻のマングローブは、宮古島では最も規模が大きく、近年土砂の堆積が進行し、樹木も広がっている。そこにはノコギリガザミ類やミナミクロダイなどの有用水産動物が多い。
477	宮古島東部(アガリヘンナザキ東平安名崎)沿岸	沖縄県	宮古郡城辺町	藻場	海藻	宮古島東部(東平安名崎)	ホンダワラ属(亜熱帯域の大規模なガラモ場として重要)。
478	カデカリ嘉手刈入江	沖縄県	宮古郡下地町	マングローブ林	マングローブ林	嘉手刈入江	メヒルギ、オヒルギ、ヒルギダマシの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林(生態系)の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
479	与那覇湾およびその周辺	沖縄県	平良市、宮古郡下地町	干潟、藻場、浅海域	海草、海藻	与那覇湾沖（与那覇湾および来間島との間の海域）	（与那覇湾）リュウキュウスガモ、リュウキュウアマモなど8種の海草の混生藻場。ウミヒルモの生育地。クビズタ（北限）。なお、与那覇湾の岩礁性海岸にミヤコトカゲ（爬虫類）生息。
					シギ・チドリ類	与那覇湾沿岸	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ムナグロでは最小推定個体数の1%以上、メダイチドリ、チュウシャクシギ、ダイシャクシ、キアシシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のコシャクシギ、アカアシシギが記録されている。
480	イラブ伊良部島の入江	沖縄県	宮古郡伊良部町	マングローブ林	マングローブ林	伊良部島の入江	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生育地。
481	平久保半島北東沿岸	沖縄県	石垣市	サンゴ礁	サンゴ	平久保半島北東岸	裾礁。種の多様性が高い。
482	嘉良川	沖縄県	石垣市	マングローブ林	マングローブ林	嘉良川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生育地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
483	フキドウ吹通川河口域およびその沿岸	沖縄県	石垣市	マングローブ林、藻場	マングローブ林	吹通川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギモドキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					海草	吹通川河口沿岸	石垣島でウミショウブの分布が確認されている貴重な場所。8種（ウミショウブ・リュウキュウスガモ・リュウキュウベニアマモ・ベニアマモ・ボウバアマモ・ウミヒルモ・ウミジグサ・ホソバウミジグサ）の海草の混生藻場の最も外側、礁縁に近い場所にウミショウブが生育。ベントスについても予備的調査あり。熱帯性海草藻場で日本（太平洋）におけるウミショウブの分布最北端
					昆虫類	吹通川河口域	モモアカナナホシキンカメムシが多産する。
					甲殻類	吹通マングローブと流入河川	吹通マングローブ湿地は、水生動物からみると、流入河川にはRDB記載の4希少種（ミナミオニヌマエビ・コソノヌマエビ・ヤエヤマサワガニ・ヤエヤママガニ）が生息し、流域全体が重要。
484	カピラ川平湾、米原地先沿岸	沖縄県	石垣市	藻場、サンゴ礁	海藻	川平湾～米原地先沿岸	ホンダワラ属、シマテングサの生育地。
					サンゴ	川平湾	裾礁。種の多様性が高い。
					サンゴ	米原	裾礁。種の多様性が高い。
					底生動物	川平湾	極めて多様な内湾環境を持ち、底生動物相も極めて豊富。
485	カピラ湧水および川平の水田	沖縄県	石垣市	湧水地、水田	淡水藻類	カピラ	絶滅危惧 類のオオイシソウモドキ（紅藻）の全国でも希少な生育地（県内唯一）。
486	御神崎～石崎地先沿岸	沖縄県	石垣市	サンゴ礁	サンゴ	御神崎 - 石崎	裾礁。種の多様性が高い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
487	ナグラ 名蔵湾および名蔵川集水域	沖縄県	石垣市	河口干潟のある河口域、マングローブ林、河川、水田、藻場	爬虫両生類	於茂登岳の溪流および湿地	コガタナハナサキガエル(日本固有種)、オオハナサキガエル(日本固有種)、ヤエヤマハラブチガエル、ヤエヤマヒバア(日本固有種)、セマルハコガメ(日本固有種)の生息地。
					昆虫類	桴海於茂登・於茂登山麓白水地区	ヒメイトトンボ、コナカハグロトンボ、ヤエヤマサナエ、ヒメホソサナエ、サキシマヤンマ、イシガキヤンマ、ヒナヤマトンボ、サキシマヤマトンボ、オオキイロトンボなどの生息地。
					水草	石垣島の水田・湿地	ブネラ湿地に代表される河川流域の湿地と圃場整備前の水田はヒメシロアサザ、トリゲモ類はじめ絶滅危惧種が生育。開発の進行で危機的状况のため要注目。
					マングローブ林	名蔵(アンバル)	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林(生態系)の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					海草、海藻	名蔵湾	8種の海草が混生藻場を形成。過去に海草類の生態分布、密度、現存量の季節変化、魚類群落、ベントス群落も調査され、多様性が高い。コエビ類では日本初記録の熱帯出現。熱帯性海草藻場(リュウキュウスガモ・リュウキュウベニアマモ・ベニアマモ・ボウバアマモ・ウミヒルモ・ウミジグサ・ホソバウミジグサ)。ウミヒルモ、ウミショウブの生育地。リュウキュウアマモ。カサノリ群落。
					シギ・チドリ類	網張	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多い。RDB種のセイタカシギ、アカアシシギが記録されている。
					甲殻類	名蔵川アンバルと流域	アンバルはマングローブ樹種と規模と成因・鳥類・魚介類など独特で、重要な湿地である。特に、水生動物では、大型巻貝のキバウミニナや唯一の海産ヌマエビで希少種のマングローブヌマエビの分布北限になっている。流入河川には、RDB記載の6種(イシガキヌマエビ・コツノヌマエビ・ツブテナガエビ・ヤエヤマサワガニ・ミヤザキサワガニ・ヤエヤママガニ)が生息しているので、流域全体が重要。
底生動物	名蔵湾	広大なマングローブ湿地を擁し、底生動物相が豊富。					
488	ミヤラ 宮良湾・宮良川河口域	沖縄県	石垣市	河口干潟のある河口域、マングローブ林、河川	マングローブ林	宮良川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林(生態系)の代表的・固有的な分布地。国天然記念物。
					シギ・チドリ類	宮良湾・白保海岸	春秋の渡り期の種数・個体数が多く、メダイチドリでは最小推定個体数の1%以上、ムナグロ、シロチドリ、キョウジョシギ、キアシシギが0.25%以上記録されている。RDB種のセイタカシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、オオジシギが記録されている。
					淡水魚類	宮良川	キバラヨシノボリ、ヒラヨシノボリの生息地。
					甲殻類	宮良川マングローブと流入河川	宮良川の甲殻類には、国や沖縄県のRDB記載の6種(イシガキヌマエビ・コツノヌマエビ・ミナミオニヌマエビ・ヤエヤマサワガニ・ミヤザキサワガニ・ヤエヤママガニ)と魚類2種(キバラヨシノボリ・タナゴモドキ)が生息しているので、流域全体が重要。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
489	シラホ 白保海岸とその沿岸	沖縄県	石垣市	藻場、サンゴ礁	海草	白保地先沿岸	ウミヒルモ、ウミショウブ、リュウキュウスガモ、リュウキュウアマモ、ポウバアマモの生育地。
					サンゴ	白保	裾礁。種の多様性が高く、希少種を含む。
					シギ・チドリ類	宮良湾・白保海岸	春秋の渡り期の種数・個体数が多く、メダイチドリでは最小推定個体数の1%以上、ムナグロ、シロチドリ、キョウジョシギ、キアシシギが0.25%以上記録されている。RDB種のセイタカシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、オオジシギが記録されている。
490	石西礁湖	沖縄県	八重山郡竹富町	サンゴ礁	サンゴ	石西礁湖	準堡礁。種の多様性が高く、希少種を含む代表的な地域。幼生供給源として重要。自然度が高い。
491	西表島山地水域および平地部天然陸水域	沖縄県	八重山郡竹富町	河川	爬虫両生類	西表島山地水域および平地部天然陸水域	コガタハナサキガエル(日本固有種)、オオハナサキガエル(日本固有種)、ヤエヤマハラブチガエル、ヤエヤマヒバア(日本固有種)、セマルハコガメ(日本固有種)の生息地。
					淡水魚類	西表島の河川	ナガレフウライボラなど亜熱帯性淡水魚類の多様性が高い。特に浦内川ではテッポウウオ、ウラウチフエダイが生息。また、大見謝川、仲間川の支流にはツバサハゼが生息。
					昆虫類	西表島山地水域	溪流性および湿地性の昆虫が多様で、質・量とも豊富である。ヤエヤマハナダカトンボ、ヒナヤマトンボ、イリオモテミナミヤンマ、アシブトカタビロアメンボ、イリオモテケシカタビロアメンボ、フタイロコチビズムシ、ヒラシマナガレカタビロアメンボ、ケシミズカメムシ、トゲミズギワカメムシ、アトホシヒラタマメゲンゴロウ、ヤエヤマコオナガミズマシ、ヤエヤマアシナガミゾドロムシなど多くが八重山諸島固有の水棲昆虫類が豊富に生息している。ヒメシュモクバエ、メダカチビドロムシなど水辺の種、ベニジョウカイ、ヒメヤツボシハンミョウなど森林性の種をはじめとして、多くの種が豊富に生息する。
492	大正池付近	沖縄県	八重山郡竹富町	湖沼	昆虫類	大正池付近(大富林道)	ホソアカトンボ、オオハラビロトンボ、キヒロハラビロトンボ、コフキオオメトンボ(1996年以降定着か?)、オオメトンボ、アメイロトンボ、ミナミトンボ、リュウキュウカトリヤンマ。
493	ナカマ 仲間川	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ林、河川	マングローブ林	仲間川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林(生態系)の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。国天然記念物。
					淡水魚類	西表島の河川	ナガレフウライボラなど亜熱帯性淡水魚類の多様性が高い。特に浦内川ではテッポウウオ、ウラウチフエダイが生息。また、大見謝川、仲間川の支流にはツバサハゼが生息。
					甲殻類	仲間川マングローブと流入河川	仲間川やその支流にはRDB記載の3希少種(コツノヌマエビ・ショキタテナガエビ・ヤエヤマサワガニ)が生息しているため、流域全体が重要。また、近年、仲間川支流から新種らしきカワリヌマエビの一種も発見されている。
					底生動物	仲間川河口～後良川河口～前良川河口	日本で最大級のマングローブ湿地を擁する。マングローブ湿地固有の底生動物の種の多様性大。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
494	シイラ 後良川・ アイラ 相良川・ マイラ 前良川	沖縄県	八重山郡竹富町	マングロー ブ林、河川	マングローブ林	後良川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					マングローブ林	相良川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					マングローブ林	前良川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					甲殻類	後良川・前良川マング ロ-ブと流入河川	両河口のマングローブ域にはシオマネキ類・コメツキガニ類・イワガニ類・ワタリガニ類・オウギガニ類・ヤドカリ類・アナジャコ類などほとんどの汽水域性のカニ類が生息している。特に、河口部の外干潟では、干潮時にヒメシオマネキとミナミコメツキガニの大群が見られる。このマングローブ湿地は、古見集落の民謡でシオマネキ類・クマドリオウギガニ・ノコギリガザミ類などを歌った「ヤクジャマ節」の発祥の地でもある。また、流入河川には、RDB記載の希少種のエビ類(コツノヌマエビ・ミナミオニヌマエビ・ショキタテナガエビ)やサワガニ類(ヤエヤマサワガニ・ヤエヤマヤマガニ)が生息している。
			底生動物	仲間川河口～後良川河 口～前良川河口	日本で種の最大級のマングローブ湿地を擁する。マングローブ湿地固有の底生動物の種の多様性大。		
495	ユブ 由布島および干潟	沖縄県	八重山郡竹富町	マングロー ブ林	マングローブ林	由布島および干潟	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
496	小浜島（細崎 - アカヤ崎）	沖縄県	八重山郡竹富町	マングロー ブ林	マングローブ林	細崎 - アカヤ崎	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
497	船浦湾と流入河川	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ林、河川	マングローブ林	船浦湾	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、ニッパヤシの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					甲殻類	船浦湿地と流入河川	船浦湾には大小3つの河川(西田川・ヒナイ川・ヤッサ川)が流入し、マングローブがよく発達している。特に、ニッパヤシは船浦が分布北限になっている。その林内・水路・外干潟には熱帯系の魚類が多く、満潮時にはサメやエイの仲間も回遊してくる。林内やその周辺には国や沖縄県のRDB記載の5種(マングローブヌマエビ・シモフリシオマネキ・ヒラモクスガニ・イリオモテメコブシガニ・ヤシガニ)が生息している。また、流入河川と周辺陸域には国や沖縄県のRDB記載の5種(コツノヌマエビ・ショキタテナガエビ・ヤエヤマサワガニ・ヤエヤマヤマガニ・ヤシガニ)や天然記念物の4オカヤドカリ類(オカヤドカリ・ナキオカヤドカリ・オオナキオカヤドカリ・コムラサキオカヤドカリ)も生息しているため、流域全体が重要。
					底生動物	船浦	広大なマングローブ湿地を持ち、湿地内にはキバウミニナが高密度に生息。干潟域にはカニノテムシロやタテジマコムシが多数生息。
498	浦内川	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ林、河川	マングローブ林	浦内入江（浦内川）	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					淡水魚類	西表島の河川	ナガレフウライボラなど亜熱帯性淡水魚類の多様性が高い。特に浦内川ではテッポウウオ、ウラウチフエダイが生息。また、大見謝川、仲間川の上流にはツバサハゼが生息。
					甲殻類	浦内川マングローブと流入河川	浦内川の汽水域には周縁性魚類や甲殻類が多く、淡水域には希少種や危急種に該当する甲殻類やハゼ類が生息しているため、流域全体が重要。特に、マングローブ水路には南方系のテッポウウオやウラウチフエダイなど、河川上流部には河川陸封性のショキタテナガエビやコツノヌマエビおよびヤエヤマサワガニなど、それぞれ貴重種が生息している。
					底生動物	浦内川河口	マングローブ湿地固有の底生動物が豊富。ノコハオサガニが潮間帯で見られる日本唯一の場所。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
499	西表島南西部海域および河口域	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ林、砂浜、藻場、サンゴ礁	ウミガメ	西表島南西部海域	八重山諸島でも最もアオウミガメが多く生息する海域で、湾奥の藻場を餌場としていることが解っている。自然度も高い。西表島の南岸、特に通称タカハマ、ワカレハマと呼ばれている砂浜は、西南諸島では最もアオウミガメが高密度で産卵する砂浜である。また、道路や集落等は全くなく極めて自然度の高い場所だと思われる。その沖合いには、礁原が広がっている。
					サンゴ	崎山湾	種の多様性・自然度が高い。
					海草	崎山湾	ウミシヨウブの純群落。
					海草	網取湾	リュウキュウスガモ、リュウキュウアマモ、ウミシヨウブの群落。
					サンゴ	網取湾	種の多様性が高く、希少種を含む。
					マングローブ林	アヤンダ川	メヒルギ、オヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					マングローブ林	ウダラ川	メヒルギ、オヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					マングローブ林	クイラ川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
マングローブ林	仲良川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。					
500	与那国島の湿地・河川	沖縄県	八重山郡与那国町	河川、その他の湿地	昆虫類	比川付近、樽舞湿原	カタブル浜奥にある東西約1 km の湿地で、トンボ類をはじめとして、水生・半水生昆虫が多数生息している。半翅類昆虫ではエサキタイコウチ、湿性植物を寄主とする種など、独特の相を示している。
					淡水貝類	比川湧水地	ヨナクニカタヤマガイ（絶滅危惧 類）、オキナワミズゴマツボ（絶滅危惧類）の生息地。マメシジミ類も生息。
					昆虫類	与那国島田原川・祖納	アカナガイトンボの生息地。絶滅危惧 類のトゲアシアメンボが周縁部に生息し、沖縄県のRDB記載種であるタイワタガメの採集記録もある。
					淡水貝類	田原川	ヨシカワニナ・スグカワニナ（絶滅危惧 類）、カノコガイ類の生息地。
					爬虫両生類	久部良岳山腹の湿地・河川	ヨナグニシュウダ（日本固有亜種）、ミヤラヒメヘビ（日本固有亜種）の生息地。